

大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町の奄美大島4
町村は、男女共同参画計画策定に向けて住民の意
識や現状を把握するため、共同で調査を実施しまし
た。

男女共同参画に関 する住民意識調査

報告書

2024 年 3 月

宇検村

目 次

I 調査の概要	1	4 職業生活について	34
1 調査の目的	1	(1) 職場における性別による格差の状況	34
2 調査の方法	1	(2) 女性が職業生活で能力を発揮するために必要なこと	36
3 回答者の属性	1	5 ジェンダーに起因する暴力について	38
4 本書を読むに当たっての注意事項	4	(1) 交際相手や元交際相手から暴力を受けた経験	38
5 主に参考とした調査	4	(2) 配偶者や元配偶者からの暴力を受けた経験	40
		(3) 暴力を受けたときの相談先	44
II 調査結果			
1 男女の地位の平等感と固定的な性別役割分担意識について	5	6 男性の生きづらさや不便さについて	46
(1) 各分野の男女の地位の平等感	5	(1) 男性としての生きづらさや不便さの有無	46
(2) 男女の地位が不平等と感じていること	13	(2) 男性として生きづらさや不便さを感じること	48
(3) 女性が職業を持つことに対する考え	15	(3) 男性として生きづらさや不便さを感じたエピソード	49
(4) 固定的な性別役割分担意識	17	7 生活上の困難について	50
(5) 性別による固定的な役割分担を肯定する理由	19	(1) 相談窓口に必要な配慮	50
(6) 性別による固定的な役割分担を否定する理由	21	(2) 生活上の不安や困難	52
2 家庭生活・地域活動について	23	8 役場の男女共同参画施策について	59
(1) 家事、育児、介護・看護、地域活動における夫婦の役割分担	23	男女共同参画社会を実現するために役場が力を入れていくべきこと	59
(2) 男性が家庭や地域活動に積極的に参加するために必要なこと	29	9 男女共同参画社会の実現に向けての意見・要望	62
3 子育てに関する考え方について	31	調査票	63

I 調査の概要

1 調査の目的

住民の男女平等感やジェンダーに関する意識、家庭や職場、地域における現状、抱えている困難な問題を把握し、男女共同参画社会の形成に向けた施策や地域づくりの参考にする。

2 調査の方法

- (1) 対 象 18 歳以上の宇検村に居住する住民全員
- (2) 抽出方法 住民基本台帳から抽出
- (3) 回収状況 配布数：1,413
回収数：521（回収率 36.9%）
有効回収数：508（有効回収率 36.0%）
- (4) 調査期間 2023 年 9 月 6 日～11 月 7 日
- (5) 調査方法 大和村、瀬戸内町、龍郷町の 3 町村と同じ調査票により共同で実施。
集落区長経由で調査票を配布し、郵送により回収。

3 回答者の属性

(1) 性別

性別は、「女性」が 48.2%、「男性」が 49.4%となっている。

図表 1-1 性別

宇検村		女性	男性	それ以外	無回答
今回調査	(n=508)	48.2%	49.4%	0.0%	2.4%
前回調査	(n=1,055)	52.4%	42.1%	0.0%	5.5%
奄美大島4町村	(n=2,147)	51.7%	46.1%	0.1%	2.1%
県調査	(n=2,094)	57.3%	41.8%	0.0%	0.9%
内閣府調査	(n=2,847)	53.9%	46.1%	0.0%	0.0%

(2) 年代

年代は、「70 代」（28.0%）の割合が最も高く、次いで「60 代」（25.2%）、「50 代」（14.8%）。60 代から年代が下がるほど構成比は低くなっている。

図表 1-2 年代

宇検村			18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答
今回調査	総計	(n=508)	2.8%	3.0%	7.9%	14.8%	25.2%	28.0%	12.2%	6.3%
	女性	(n=245)	2.4%	3.7%	9.0%	14.3%	25.3%	27.8%	13.5%	4.1%
	男性	(n=251)	3.2%	2.4%	7.2%	15.9%	26.3%	29.5%	11.2%	4.4%
奄美大島 4 町村	総計	(n=2,147)	5.0%	7.7%	11.9%	15.1%	22.7%	20.9%	11.1%	5.5%
	女性	(n=1,109)	5.2%	8.7%	12.4%	15.0%	23.6%	19.7%	12.2%	3.3%
	男性	(n=990)	4.9%	6.9%	11.7%	16.1%	22.7%	23.1%	10.1%	4.4%
県調査	総計	(n=2,094)	6.4%	9.0%	15.1%	14.9%	23.6%	30.0%		0.9%
	女性	(n=1,200)	7.5%	9.6%	16.1%	15.9%	23.1%	27.2%		0.3%
	男性	(n=875)	5.2%	8.2%	14.2%	13.8%	24.9%	33.6%		0.1%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	9.5%	10.8%	15.6%	17.6%	17.7%	19.1%	9.7%	0.0%

(3) 結婚の状況

結婚の状況については、「結婚している」の割合（70.5%）が最も高く、次いで「離別・死別」（15.4%）。

図表 1-3 結婚の状況

宇検村			結婚している	事実婚	離別・死別	未婚	無回答
今回調査	総計	(n=508)	70.5%	0.4%	15.4%	7.1%	6.7%
	女性	(n=245)	69.8%	0.0%	20.4%	4.9%	4.9%
	男性	(n=251)	74.1%	0.8%	11.2%	9.6%	4.4%
奄美大島4町村	総計	(n=2,147)	62.4%	1.2%	17.0%	14.2%	5.3%
	女性	(n=1,109)	60.6%	1.2%	22.8%	12.2%	3.2%
	男性	(n=990)	66.7%	1.2%	11.2%	17.0%	3.9%
県調査	総計	(n=2,094)	70.4%	0.9%	13.8%	14.0%	1.0%
	女性	(n=1,200)	65.8%	1.2%	17.7%	15.3%	0.2%
	男性	(n=875)	78.1%	0.5%	8.5%	12.6%	0.5%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	65.8%	1.9%	12.8%	19.2%	0.2%

(4) 世帯構成

世帯構成については、「夫婦世帯」の割合（50.2%）が最も高く、次いで、「二世世代世帯（親と子など）」（20.3%）、「単身世帯」（14.4%）。

図表 1-4 世帯構成

宇検村		単身世帯	夫婦世帯	二世世代世帯	三世世代世帯	その他	無回答
今回調査	(n=508)	14.4%	50.2%	20.3%	1.4%	2.0%	11.8%
奄美大島4町村	(n=2,147)	20.1%	38.8%	28.5%	1.5%	2.0%	9.0%
県調査	(n=2,094)	13.8%	41.2%	37.4%	3.5%	1.5%	2.6%

(5) 夫婦の就労状況

夫婦の就労状況については、男女とも「二人とも仕事がある」（女性 46.2%、男性 45.7%）、「どちらも仕事がない」（女性 20.5%、男性 27.7%）の順に割合が高い。次いで、女性は「配偶者（パートナー）のみ仕事がある」（14.0%）、男性は「自分のみ仕事がある」（15.4%）。

図表 1-5 夫婦の就労状況

宇検村			二人とも仕事がある	自分のみ仕事がある	配偶者のみ仕事がある	どちらも仕事がない	その他	無回答
今回調査	総計	(n=360)	45.8%	11.7%	10.3%	24.2%	0.3%	7.8%
	女性	(n=171)	46.2%	7.6%	14.0%	20.5%	0.6%	11.1%
	男性	(n=188)	45.7%	15.4%	6.9%	27.7%	0.0%	4.3%
奄美大島4町村	総計	(n=1,365)	50.7%	11.2%	9.8%	18.6%	1.2%	8.5%
	女性	(n=685)	52.8%	7.2%	12.3%	16.4%	1.5%	9.9%
	男性	(n=672)	49.0%	15.2%	7.3%	20.8%	0.9%	6.8%
県調査	総計	(n=2,094)	49.6%	12.6%	12.0%	24.6%	0.0%	1.2%
	女性	(n=1,200)	52.1%	6.4%	15.4%	24.5%	0.0%	1.6%
	男性	(n=875)	46.7%	19.9%	8.0%	24.6%	0.0%	0.7%

(6) 仕事の状況

仕事の状況については、女性は「無職（主婦・学生を含む。）」の割合（46.5%）が最も高く、次いで「非正規の社員・職員・従業員（以下、「非正規雇用者」という。）」（21.6%）、「役員・正規の社員・職員・従業員（以下、「正規雇用者」という。）」（18.8%）、男性は「無職（主夫・学生を含む。）」の割合（38.6%）が最も高く、次いで「正規雇用者」（31.5%）。

図表 1-6 仕事の状況

宇検村			正規雇用者	非正規雇用者	自営業主	家族従事者	無職	その他	無回答
今回調査	総計	(n=508)	24.6%	16.7%	6.1%	1.8%	41.5%	1.2%	8.1%
	女性	(n=245)	18.8%	21.6%	4.5%	2.0%	46.5%	0.8%	5.7%
	男性	(n=251)	31.5%	12.7%	8.0%	1.6%	38.6%	1.6%	6.0%
奄美大島 4 町村	総計	(n=2,147)	27.4%	17.2%	9.2%	1.5%	36.3%	1.4%	7.0%
	女性	(n=1,109)	21.4%	23.2%	7.5%	1.6%	39.7%	1.8%	4.9%
	男性	(n=990)	35.3%	11.3%	11.4%	1.4%	33.9%	1.1%	5.6%
県調査	総計	(n=2,094)	30.2%	18.7%	11.2%	2.6%	34.8%	0.0%	2.5%
	女性	(n=1,200)	23.4%	25.3%	6.8%	3.6%	39.1%	0.0%	1.8%
	男性	(n=875)	39.7%	9.6%	17.4%	1.3%	29.0%	0.0%	3.1%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	35.6%	16.6%	6.9%	2.5%	35.3%	2.6%	0.5%

※本書では、「自営業主」と「家族従事者」を合わせて「自営業者」とする。

(7) 子どもの年齢

「2008 年 4 月 1 日以前生まれの既婚の子ども」がいる人の割合（24.4%）が最も高く、次いで「2008 年 4 月 1 日以前生まれの未婚の子ども（学生を除く。）」がいる人（16.3%）。

図表 1-7 子どもの年齢（複数回答）

宇検村			乳幼児	小学生	中学生	高校・高専生・専門学校・短大・大学生	未婚の子ども	既婚の子ども
今回調査	総計	(n=508)	5.1%	5.9%	3.0%	6.5%	16.3%	24.4%
	女性	(n=245)	5.3%	7.8%	3.3%	5.7%	16.3%	24.5%
	男性	(n=251)	5.2%	4.4%	2.8%	7.6%	17.1%	25.5%
奄美大島 4 町村	総計	(n=2,147)	7.1%	7.2%	3.6%	7.4%	17.5%	20.5%
	女性	(n=1,109)	7.7%	8.1%	3.5%	6.8%	18.1%	21.3%
	男性	(n=990)	6.8%	6.5%	3.8%	8.4%	17.5%	20.6%
県調査	総計	(n=2,094)	9.9%	9.9%	6.3%	9.8%	25.5%	38.5%
	女性	(n=1,200)	9.6%	9.8%	6.3%	10.4%	26.1%	39.3%
	男性	(n=875)	10.5%	10.3%	6.4%	9.3%	25.3%	38.3%

注：「小学生」：2011 年 4 月 2 月～2017 年 4 月 1 日生まれ

「中学生」：2008 年 4 月 2 月～2011 年 4 月 1 日生まれ

「未婚の子ども」：2008 年 4 月 1 日以前生まれの未婚（学生除く）

「既婚の子ども」：2008 年 4 月 1 日以前生まれで既婚（学生除く）

4 本書を読むに当たっての注意事項

(1) 設問内容

報告書のⅢでは、調査票の設問内容を簡潔にし、【 】内に調査票の該当する設問番号を記載した。(調査票は巻末に掲載)

(2) 有効回答者

調査票の設問及び属性の回答率が低い回答者についても、その回答をできる限り生かすために集計に含めた。

(3) 属性による分析

ア 無回答者

性別や年齢、結婚・職業の状況などの属性の未回答者については、属性別の分析からは除外した。

イ 年代

- ・ 年齢は、2023年7月1日現在の満年齢。
- ・ 18歳と19歳の回収数(サンプル数)は少ないことから、20代と合わせて年代別の分析を行った。
- ・ 前回調査(2013年度実施)、県及び内閣府の調査では80歳以上を含めて「70歳以上」としているが、今回調査では「70代」と「80歳以上」に分けて分析した。

(4) 算出数字

- ・ 内訳の占める割合は百分率で算出し、小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%にならない場合がある。
- ・ 複数回答が可能な設問については、調査回答者又は当該設問の回答対象者のうち該当する選択肢を回答した人の割合を算出した。
- ・ 表中の網掛けの数値は、属性の内訳の中で最も割合が高い数値。
- ・ 総計には「性別」や「年代」など属性が不明な回答者が含まれるため、属性別の合計と異なる場合がある。
- ・ 図表の()内数字は、各設問の回答対象者数。回答数が少ない属性の内訳については、統計的誤差が生じる可能性が高いため分析の対象外とした。

(5) その他記述

選択肢に「その他(具体的に)」がある設問については、その主な記述を掲載した。

(6) 自由記述

- ・ 1人の回答が複数のテーマにわたる場合は、原文の趣旨を損なわないように回答内容を分け、それぞれを1件とした。
- ・ 一部の回答については、設問に該当する部分を原文の趣旨を損なわないように抜粋した。

5 主に参考とした調査

- | | |
|--|---------------|
| ・『男女共同参画に関する住民意識調査』(宇検村 2023年度) | ※「今回調査」と表記 |
| ・『男女共同参画に関する村民意識調査』(宇検村 2013年度) | ※「前回調査」と表記 |
| ・『男女共同参画に関する町民意識調査報告書』(大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町 2023年度)の集計 | ※「奄美大島4町村」と表記 |
| ・『男女共同参画に関する県民意識調査』(鹿児島県 2021年度) | ※「県調査」と表記 |
| ・『男女共同参画社会に関する世論調査』(内閣府 2022年度) | ※「内閣府調査」と表記 |
| ・『男女間における暴力に関する調査』(内閣府 2020年度) | ※「内閣府DV調査」と表記 |

II 調査結果

1 男女の地位の平等感と固定的な性別役割分担意識について

(1) 各分野の男女の地位の平等感

Q1 「家庭生活」、「職場」、「学校教育の場」、「政治の場」、「法律や制度の上」、「社会通念・慣習・しきたりなど」及び「自治会やPTAなどの地域活動の場」の7分野と「町全体で見た場合」の、男女の地位の平等感【問1】

- ①男性の方が非常に優遇されている 『男性が非常に優遇』
 ②どちらかといえば男性の方が優遇されている 『どちらかといえば男性優遇』 →①+②『男性優遇』
 ③平等である 『平等』
 ④女性の方が非常に優遇されている 『女性が非常に優遇』
 ⑤どちらかといえば女性の方が優遇されている 『どちらかといえば女性優遇』 →④+⑤『女性優遇』

ア 総計 (図表 1-(1)-1)

- 分野別の男女の地位の平等感について訊いたところ、『平等』と回答した割合が最も高い分野は「学校教育の場」(67.9%)で、次いで「法律や制度の上」(50.4%)、「地域活動の場」(49.6%)。
- 『男性優遇』と回答した割合が最も高い分野は、「政治の場」(70.5%)。次いで「社会通念・慣習・しきたりなど」(65.7%)、「家庭生活」(51.6%)、「職場」(45.1%)。うち、『男性の非常に優遇』と回答した割合が高い分野は、「政治の場」(25.8%)、「社会通念・慣習・しきたりなど」(16.3%)。
- 『女性優遇』と回答した割合は、最も高い分野で5.1%。うち『女性が非常に優遇』と回答した人は、すべての分野でほとんどいない。
- 「村全体で見た場合」では、『平等』と『男性優遇』と回答した割合は、44.5%と48.6%となっている。

図表 1-(1)-1 各分野と村全体で見た場合の男女の地位の平等感【総計、奄美大島4町村】

宇検村			男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性のほうが優遇されている	平等である	どちらかといえば女性のほうが優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	無回答	男性優遇	女性優遇
今回調査	家庭生活	(n=508)	8.3%	43.3%	42.7%	4.3%	0.4%	1.0%	51.6%	4.7%
	職場	(n=508)	8.3%	36.8%	44.3%	3.7%	0.4%	6.5%	45.1%	4.1%
	学校教育の場	(n=508)	2.6%	15.6%	67.9%	2.8%	0.2%	11.0%	18.1%	3.0%
	政治の場	(n=508)	25.8%	44.7%	24.6%	1.0%	0.0%	3.9%	70.5%	1.0%
	法律や制度の上	(n=508)	10.0%	29.5%	50.4%	5.1%	0.0%	4.9%	39.6%	5.1%
	社会通念・慣習・しきたりなど	(n=508)	16.3%	49.4%	29.1%	1.0%	0.2%	3.9%	65.7%	1.2%
	自治会やPTAなどの地域活動の場	(n=508)	7.3%	32.7%	49.6%	4.9%	0.2%	5.3%	40.0%	5.1%
	村全体で見た場合	(n=508)	9.1%	39.6%	44.5%	2.8%	0.2%	3.9%	48.6%	3.0%
奄美大島4町村	家庭生活	(n=2,147)	9.2%	46.1%	39.1%	3.7%	0.6%	1.3%	55.3%	4.3%
	職場	(n=2,147)	9.7%	41.0%	39.4%	4.5%	0.4%	5.1%	50.7%	4.8%
	学校教育の場	(n=2,147)	2.3%	18.2%	68.0%	2.8%	0.2%	8.4%	20.5%	3.1%
	政治の場	(n=2,147)	29.5%	45.7%	20.4%	1.0%	0.1%	3.2%	75.3%	1.2%
	法律や制度の上	(n=2,147)	10.7%	33.3%	46.2%	6.1%	0.5%	3.3%	44.0%	6.5%
	社会通念・慣習・しきたりなど	(n=2,147)	21.1%	48.5%	24.2%	1.8%	0.4%	4.1%	69.5%	2.1%
	自治会やPTAなどの地域活動の場	(n=2,147)	7.8%	34.5%	46.6%	5.8%	0.4%	4.8%	42.3%	6.2%
	町村全体で見た場合	(n=2,147)	9.7%	45.6%	38.2%	2.2%	0.1%	4.1%	55.3%	2.3%

イ 性別（図表 1-(1)-2～9）

- 全ての分野において、『平等』と回答した割合は男性が女性より高く、『男性優遇』と回答した割合は女性が男性より高くなっている。特に「法律や制度の上」で男女の差が大きく、『平等』と回答した割合は男性が女性より 20.2 ポイント高く、『男性優遇』と回答した割合は女性が男性より 14.6 ポイント高い。次いでその差が大きい分野は「家庭生活」（『平等』13.5 ポイント、『男性優遇』10.6 ポイント）と「政治の場」（『平等』13.5 ポイント、『男性優遇』9.0 ポイント）。
- 男女とも『男性優遇』と回答した割合が最も高い分野は、「政治の場」（女性 75.5%、男性 66.5%）、次いで「社会通念・慣習・しきたりなど」（女性 68.6%、男性 63.7%）、「家庭生活」（女性 57.6%、男性 47.0%）。
- 男性では、「地域活動の場」で『女性優遇』と回答した割合が最も高い（6.8%）。
- 「村全体で見た場合」においては、『平等』と回答した割合は男性より女性が低く（女性 35.9% 男性 51.0%）、その差は 15.1 ポイント、『男性優遇』と回答した割合は女性の方が高く（女性 54.3% 男性 44.6%）、その差は 9.7 ポイントとなっている。

ウ 奄美大島 4 町村・県・内閣府調査との比較（図表 1-(1)-2～9）

- 奄美大島 4 町村の調査と比較すると、「学校教育の場」以外の分野で『平等』と回答した割合が高く、すべての分野で『男性優遇』と回答した割合が低いが、その差は「村全体で見た場合」でも大きく、『平等』が 6.3 ポイント、『男性優遇』が 6.7 ポイントとなっている。
- 県調査にある「家庭生活」「職場」「学校教育の場」「法律や制度の上」「社会通念・慣習・しきたりなど」の分野で比較すると、『平等』と回答した割合は「家庭生活」以外は高い。特に「職場」と「法律や制度の上」で高く、その差は 16.7 ポイントと 15.5 ポイント。一方、『男性優遇』と回答した人の割合は、「家庭生活」「法律や制度の上」で高いが、その差は 5.0 ポイント以下。
- 内閣府調査の 7 分野と比較すると、『平等』と回答した割合は「学校教育の場」以外は高い。一方、『男性優遇』と回答した割合はすべての分野で低く、特に「職場」「政治の場」「社会通念・慣習・しきたりなど」で 15 ポイント以上の差がある。

図表 1-(1)-2 家庭生活における男女の地位の平等感【総計、性別、奄美大島 4 町村・県・内閣府調査】

字検村			男性の方が 非常に優遇 されている	どちらかといえば 男性のほうが優 遇されている	平等である	どちらかといえば 女性のほうが優 遇されている	女性の方が 非常に優遇 されている	無回答	男性優遇	女性優遇
今回調査	総計	(n=508)	8.3%	43.3%	42.7%	4.3%	0.4%	1.0%	51.6%	4.7%
	女性	(n=245)	10.2%	47.3%	35.5%	5.3%	0.4%	1.2%	57.6%	5.7%
	男性	(n=251)	6.8%	40.2%	49.0%	3.2%	0.0%	0.8%	47.0%	3.2%
奄美大島 4 町村	総計	(n=2,147)	9.2%	46.1%	39.1%	3.7%	0.6%	1.3%	55.3%	4.3%
	女性	(n=1,109)	11.8%	50.0%	33.4%	3.4%	0.3%	1.1%	61.9%	3.7%
	男性	(n=990)	6.4%	42.7%	45.1%	3.8%	0.6%	1.4%	49.1%	4.4%
県調査	総計	(n=2,094)	7.5%	37.2%	42.8%	3.9%	0.9%	9.7%	44.7%	4.8%
	女性	(n=1,200)	9.9%	40.9%	36.9%	3.1%	1.0%	8.2%	50.8%	4.1%
	男性	(n=875)	4.3%	33.0%	51.2%	5.0%	0.8%	5.6%	37.3%	5.8%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	9.0%	50.8%	31.7%	7.0%	1.0%	0.6%	59.8%	8.0%
	女性	(n=1,534)	12.1%	56.3%	25.6%	4.6%	0.7%	0.7%	68.4%	5.3%
	男性	(n=1,313)	5.3%	44.4%	38.8%	9.7%	1.4%	0.5%	49.7%	11.1%

※「無回答」には「わからない」を含む。以下、同様。

図表 1-(1)-3 職場における男女の地位の平等感【総計、性別、奄美大島 4 町村・県・内閣府調査】

字検村			男性の方が 非常に優遇 されている	どちらかといえば 男性のほうが優 遇されている	平等である	どちらかといえば 女性のほうが優 遇されている	女性の方が 非常に優遇 されている	無回答	男性優遇	女性優遇
今回調査	総計	(n=508)	8.3%	36.8%	44.3%	3.7%	0.4%	6.5%	45.1%	4.1%
	女性	(n=245)	11.0%	35.1%	39.6%	4.5%	0.4%	9.4%	46.1%	4.9%
	男性	(n=251)	6.0%	38.2%	49.4%	3.2%	0.4%	2.8%	44.2%	3.6%
奄美大島 4 町村	総計	(n=2,147)	9.7%	41.0%	39.4%	4.5%	0.4%	5.1%	50.7%	4.8%
	女性	(n=1,109)	11.2%	41.5%	37.2%	3.9%	0.3%	6.0%	52.7%	4.1%
	男性	(n=990)	8.3%	40.6%	42.5%	5.2%	0.3%	3.1%	48.9%	5.5%
県調査	総計	(n=2,094)	8.1%	41.2%	27.6%	5.5%	0.8%	16.8%	49.3%	6.3%
	女性	(n=1,200)	10.8%	40.7%	25.9%	4.3%	0.6%	17.9%	51.5%	4.9%
	男性	(n=875)	4.7%	42.5%	30.2%	7.4%	1.1%	14.1%	47.2%	8.5%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	16.0%	48.1%	26.4%	6.5%	1.2%	1.8%	64.1%	7.7%
	女性	(n=1,534)	19.2%	50.3%	22.5%	4.6%	0.8%	2.5%	69.5%	5.4%
	男性	(n=1,313)	12.3%	45.5%	31.0%	8.8%	1.6%	0.9%	57.8%	10.4%

図表 1-(1)-4 学校教育の場における男女の地位の平等感【総計、性別、奄美大島4町村・県・内閣府調査】

宇検村			男性の方が 非常に優遇 されている	どちらかといえば 男性のほうが優 遇されている	平等である	どちらかといえば 女性のほうが優 遇されている	女性の方が 非常に優遇 されている	無回答	男性優遇	女性優遇
今回調査	総計	(n=508)	2.6%	15.6%	67.9%	2.8%	0.2%	11.0%	18.1%	3.0%
	女性	(n=245)	4.1%	15.1%	64.1%	2.9%	0.4%	13.5%	19.2%	3.3%
	男性	(n=251)	1.2%	16.3%	72.1%	2.8%	0.0%	7.6%	17.5%	2.8%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	2.3%	18.2%	68.0%	2.8%	0.2%	8.4%	20.5%	3.1%
	女性	(n=1,109)	2.9%	21.9%	62.9%	3.0%	0.1%	9.2%	24.8%	3.1%
	男性	(n=990)	1.8%	14.3%	74.6%	2.6%	0.2%	6.4%	16.2%	2.8%
県調査	総計	(n=2,094)	0.9%	12.2%	57.9%	2.4%	0.2%	26.4%	13.1%	2.6%
	女性	(n=1,200)	1.2%	14.9%	53.9%	2.2%	0.1%	27.8%	16.1%	2.3%
	男性	(n=875)	0.6%	8.8%	64.1%	2.7%	0.5%	23.4%	9.4%	3.2%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	3.0%	21.5%	68.1%	4.7%	0.6%	2.1%	24.5%	5.3%
	女性	(n=1,534)	4.3%	25.1%	63.2%	4.0%	0.3%	3.0%	29.4%	4.3%
	男性	(n=1,313)	1.5%	17.3%	73.7%	5.5%	0.9%	1.1%	18.8%	6.4%

図表 1-(1)-5 政治の場における男女の地位の平等感【総計、性別、奄美大島4町村・内閣府調査】

宇検村			男性の方が 非常に優遇 されている	どちらかといえば 男性のほうが優 遇されている	平等である	どちらかといえば 女性のほうが優 遇されている	女性の方が 非常に優遇 されている	無回答	男性優遇	女性優遇
今回調査	総計	(n=508)	25.8%	44.7%	24.6%	1.0%	0.0%	3.9%	70.5%	1.0%
	女性	(n=245)	33.9%	41.6%	17.6%	0.8%	0.0%	6.1%	75.5%	0.8%
	男性	(n=251)	18.3%	48.2%	31.1%	1.2%	0.0%	1.2%	66.5%	1.2%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	29.5%	45.7%	20.4%	1.0%	0.1%	3.2%	75.3%	1.2%
	女性	(n=1,109)	34.5%	46.2%	14.5%	0.9%	0.2%	3.7%	80.7%	1.1%
	男性	(n=990)	24.2%	45.9%	26.9%	0.9%	0.0%	2.1%	70.1%	0.9%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	46.4%	41.5%	9.6%	1.4%	0.3%	0.8%	87.9%	1.7%
	女性	(n=1,534)	52.2%	39.2%	6.7%	0.7%	0.1%	1.2%	91.4%	0.8%
	男性	(n=1,313)	39.6%	44.2%	13.0%	2.2%	0.5%	0.4%	83.8%	2.7%

図表 1-(1)-6 法律や制度の上における男女の地位の平等感【総計、性別、奄美大島4町村・県・内閣府調査】

宇検村			男性の方が 非常に優遇 されている	どちらかといえば 男性のほうが優 遇されている	平等である	どちらかといえば 女性のほうが優 遇されている	女性の方が 非常に優遇 されている	無回答	男性優遇	女性優遇
今回調査	総計	(n=508)	10.0%	29.5%	50.4%	5.1%	0.0%	4.9%	39.6%	5.1%
	女性	(n=245)	12.7%	34.7%	40.4%	4.9%	0.0%	7.3%	47.3%	4.9%
	男性	(n=251)	7.2%	25.5%	60.6%	5.2%	0.0%	1.6%	32.7%	5.2%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	10.7%	33.3%	46.2%	6.1%	0.5%	3.3%	44.0%	6.5%
	女性	(n=1,109)	13.3%	39.5%	37.8%	5.1%	0.2%	4.1%	52.8%	5.3%
	男性	(n=990)	7.7%	26.3%	56.4%	7.1%	0.7%	1.9%	33.9%	7.8%
県調査	総計	(n=2,094)	6.1%	32.7%	34.9%	5.0%	0.8%	20.5%	38.8%	5.8%
	女性	(n=1,200)	8.5%	37.1%	28.2%	2.8%	0.3%	23.2%	45.6%	3.1%
	男性	(n=875)	3.0%	27.4%	44.6%	8.0%	1.4%	15.6%	30.4%	9.4%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	11.7%	40.6%	37.0%	8.3%	1.4%	1.1%	52.3%	9.7%
	女性	(n=1,534)	15.8%	46.5%	30.0%	5.5%	0.6%	1.6%	62.3%	6.1%
	男性	(n=1,313)	6.9%	33.6%	45.1%	11.7%	2.3%	0.5%	40.5%	14.0%

図表 1-(1)-7 社会通念・慣習・しきたりなどにおける男女の地位の平等感【総計、性別、奄美大島4町村・県・内閣府調査】

宇検村			男性の方が 非常に優遇 されている	どちらかといえば 男性のほうが優 遇されている	平等である	どちらかといえば 女性のほうが優 遇されている	女性の方が 非常に優遇 されている	無回答	男性優遇	女性優遇
今回調査	総計	(n=508)	16.3%	49.4%	29.1%	1.0%	0.2%	3.9%	65.7%	1.2%
	女性	(n=245)	19.6%	49.0%	25.3%	0.8%	0.4%	4.9%	68.6%	1.2%
	男性	(n=251)	13.5%	50.2%	32.3%	1.2%	0.0%	2.8%	63.7%	1.2%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	21.1%	48.5%	24.2%	1.8%	0.4%	4.1%	69.5%	2.1%
	女性	(n=1,109)	24.7%	48.6%	19.8%	1.8%	0.5%	4.6%	73.3%	2.3%
	男性	(n=990)	17.3%	49.3%	28.6%	1.6%	0.1%	3.1%	66.6%	1.7%
県調査	総計	(n=2,094)	15.6%	53.3%	15.1%	1.9%	0.2%	13.9%	68.9%	2.1%
	女性	(n=1,200)	21.1%	53.1%	10.9%	1.0%	0.1%	13.9%	74.2%	1.1%
	男性	(n=875)	8.5%	54.5%	20.9%	3.2%	0.5%	12.5%	63.0%	3.7%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	24.1%	57.8%	12.9%	3.1%	0.3%	1.9%	81.9%	3.4%
	女性	(n=1,534)	29.1%	57.0%	9.9%	1.9%	0.2%	2.0%	86.1%	2.1%
	男性	(n=1,313)	18.2%	58.7%	16.4%	4.4%	0.4%	1.9%	76.9%	4.8%

図表 1-(1)-8 自治会やPTAなどの地域活動の場における男女の地位の平等感【総計、性別、奄美大島4町村・内閣府調査】

宇検村			男性の方が 非常に優遇 されている	どちらかといえば 男性のほうが優 遇されている	平等である	どちらかといえば 女性のほうが優 遇されている	女性の方が 非常に優遇 されている	無回答	男性優遇	女性優遇
今回調査	総計	(n=508)	7.3%	32.7%	49.6%	4.9%	0.2%	5.3%	40.0%	5.1%
	女性	(n=245)	9.8%	37.1%	44.5%	3.7%	0.0%	4.9%	46.9%	3.7%
	男性	(n=251)	5.2%	29.1%	53.8%	6.4%	0.4%	5.2%	34.3%	6.8%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	7.8%	34.5%	46.6%	5.8%	0.4%	4.8%	42.3%	6.2%
	女性	(n=1,109)	10.2%	38.8%	41.2%	4.6%	0.2%	5.0%	49.0%	4.8%
	男性	(n=990)	5.5%	30.0%	53.1%	7.0%	0.6%	3.8%	35.5%	7.6%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	10.2%	37.6%	40.2%	8.8%	1.1%	2.1%	47.8%	9.9%
	女性	(n=1,534)	13.6%	41.7%	34.7%	7.3%	0.6%	2.2%	55.3%	7.9%
	男性	(n=1,313)	6.2%	32.8%	46.7%	10.6%	1.6%	2.1%	39.0%	12.2%

図表 1-(1)-9 村全体で見た場合における男女の地位の平等感【総計、性別、奄美大島4町村調査】

宇検村			男性の方が 非常に優遇 されている	どちらかといえば 男性のほうが優 遇されている	平等である	どちらかといえば 女性のほうが優 遇されている	女性の方が 非常に優遇 されている	無回答	男性優遇	女性優遇
今回調査	総計	(n=508)	9.1%	39.6%	44.5%	2.8%	0.2%	3.9%	48.6%	3.0%
	女性	(n=245)	13.5%	40.8%	35.9%	4.1%	0.0%	5.7%	54.3%	4.1%
	男性	(n=251)	5.2%	39.4%	51.0%	1.6%	0.4%	2.4%	44.6%	2.0%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	9.7%	45.6%	38.2%	2.2%	0.1%	4.1%	55.3%	2.3%
	女性	(n=1,109)	12.3%	48.3%	32.6%	2.0%	0.0%	4.8%	60.6%	2.0%
	男性	(n=990)	7.0%	42.9%	44.3%	2.4%	0.2%	3.1%	49.9%	2.6%

エ 性・年代別（図表 1-(1)-10～13）

（ア）概要

- ・ 29 歳以下の男女は『平等』と回答した割合が高く、30 代の女性は『男性優遇』と回答した割合が高い傾向にある。
- ・ ほぼすべての年代で、『女性優遇』と回答した割合が『男性優遇』や『平等』を下回り、『女性が非常に優遇』と回答した人はほとんどいないが、40 代の男性は『どちらかといえば女性優遇』の割合が「地域活動の場」で 27.8%、「職場」と「法律や制度の上」で 16.7%など、他の年代より高い傾向にある。

（イ）家庭生活

『男性優遇』と回答した割合は、女性では 30、50、60 代で 6 割を超え、30 代が 77.7%で最も高い。40 代も 59.1%。男性では、70 代が 51.3%で回答した割合が最も高い。一方、『平等』と回答した割合が高いのは、29 歳以下の男女。（女性 66.7%、男性 75.0%）

（ウ）職場

『男性優遇』と回答した割合は、女性では 40 代が 59.0%で最も高く、30 代と 60 代も 5 割を超える。男性では 70 代が 51.4%で最も高い。一方、『平等』と回答した割合は、29 歳以下の男性が 75.0%、女性が 66.7%。50 代の女性と 30～50 代の男性も 5 割を超えている。

（エ）学校教育の場

『平等』と回答した割合は、29 歳以下の女性で 100.0%、40 代の男女と 30 代の男性も 8 割を超えている。一方、女性では 30 代の 33.3%、60 代の 24.2%、男性では 80 代以上の 25.0%が『男性優遇』と回答している。

（オ）政治の場

『男性優遇』と回答した割合は、女性では 40 代が 90.9%で最も高く、50 代以下で 8 割、60、70 代で 7 割を超えている。男性では 70 代が 75.7%で最も高い。また、女性の 40、60、30 代の順に『男性が非常に優遇』と回答した割合が高く、4 割を超えている。一方、30 代の男性の 83.3%が『平等』と回答している。

（カ）法律や制度の上

男性では、すべての年代で『平等』と回答した割合が『男性優遇』より高く、30 代では 100.0%。一方、女性では 29 歳以下の 83.3%が『平等』と回答しているが、30～70 代の女性は『平等』より『男性優遇』と回答した割合が高く、30～60 代では 5 割を超えている。

（キ）社会通念、慣習・しきたりなど

『平等』と回答した割合は、29 歳未満の男女で 6 割を超え、30 代と 80 代以上の男性で 5 割以上。一方、『男性優遇』と回答した割合は 30、40、60 代の女性で 8 割を超え、50 代の女性と 60 代の男性で 7 割を超えている。うち『男性が非常に優遇』と回答した割合が、30 代の女性で 5 割、40 代の女性で 4 割を超えている。

（ク）地域活動の場

30、60、70 代の女性と 30 代の男性で『平等』より『男性優遇』と回答した割合が高い一方、その他の性・年代では『平等』と回答した割合の方が高く、29 歳以下の男女と 80 歳以上で 6 割を超えている。

（ケ）村全体で見た場合

29 歳以下の女性、30 代以下と 80 代以上の男性で、『平等』と回答した割合が 6 割を超えている。一方、30～50 代の女性の 6 割以上が『男性優遇』と回答し、30 代の女性は約 9 割、40 代は約 7 割。

図表 1-(1)-10 家庭生活と職場における男女の地位の平等感【性・年代別】

		サンプル数	家庭生活						職場						
			男性の方が非常に優遇されている	どちらが優遇されれば男性のほうが	平等である	どちらが優遇されれば女性のほうが	女性の方が非常に優遇されている	無回答	男性の方が非常に優遇されている	どちらが優遇されれば男性のほうが	平等である	どちらが優遇されれば女性のほうが	女性の方が非常に優遇されている	無回答	
総計		508	42	220	217	22	2	5	42	187	225	19	2	33	
		100.0%	8.3%	43.3%	42.7%	4.3%	0.4%	1.0%	8.3%	36.8%	44.3%	3.7%	0.4%	6.5%	
性・年代別	女性	245	25	116	87	13	1	3	27	86	97	11	1	23	
		100.0%	10.2%	47.3%	35.5%	5.3%	0.4%	1.2%	11.0%	35.1%	39.6%	4.5%	0.4%	9.4%	
		18～29歳	6	2	4	0	0	0	0	2	4	0	0	0	
		100.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
		30～39歳	9	3	4	2	0	0	0	2	3	3	1	0	0
		100.0%	33.3%	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	33.3%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
		40～49歳	22	2	11	8	1	0	0	1	12	8	1	0	0
		100.0%	9.1%	50.0%	36.4%	4.5%	0.0%	0.0%	4.5%	54.5%	36.4%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%
		50～59歳	35	5	17	11	1	1	0	7	8	18	2	0	0
		100.0%	14.3%	48.6%	31.4%	2.9%	2.9%	0.0%	20.0%	22.9%	51.4%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%
		60～69歳	62	2	36	17	6	0	1	5	28	26	1	1	1
		100.0%	3.2%	58.1%	27.4%	9.7%	0.0%	1.6%	8.1%	45.2%	41.9%	1.6%	1.6%	1.6%	1.6%
		70～79歳	68	6	31	28	2	0	1	8	19	20	5	0	16
		100.0%	8.8%	45.6%	41.2%	2.9%	0.0%	1.5%	11.8%	27.9%	29.4%	7.4%	0.0%	0.0%	23.5%
		80歳以上	33	3	12	15	2	0	1	2	10	15	0	0	6
		100.0%	9.1%	36.4%	45.5%	6.1%	0.0%	3.0%	6.1%	30.3%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%
	男性	251	17	101	123	8	0	2	15	96	124	8	1	7	
		100.0%	6.8%	40.2%	49.0%	3.2%	0.0%	0.8%	6.0%	38.2%	49.4%	3.2%	0.4%	2.8%	2.8%
		18～29歳	8	1	0	6	1	0	0	0	1	6	1	0	0
		100.0%	12.5%	0.0%	75.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	75.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
		30～39歳	6	1	2	3	0	0	0	0	1	3	1	1	0
		100.0%	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%
		40～49歳	18	1	7	10	0	0	0	0	5	10	3	0	0
		100.0%	5.6%	38.9%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.8%	55.6%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
		50～59歳	40	1	19	19	1	0	0	3	13	24	0	0	0
		100.0%	2.5%	47.5%	47.5%	2.5%	0.0%	0.0%	7.5%	32.5%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		60～69歳	66	4	29	29	3	0	1	3	28	31	2	0	2
		100.0%	6.1%	43.9%	43.9%	4.5%	0.0%	1.5%	4.5%	42.4%	47.0%	3.0%	0.0%	3.0%	3.0%
		70～79歳	74	5	33	33	2	0	1	3	35	33	0	0	3
		100.0%	6.8%	44.6%	44.6%	2.7%	0.0%	1.4%	4.1%	47.3%	44.6%	0.0%	0.0%	4.1%	4.1%
		80歳以上	28	3	7	18	0	0	0	4	8	13	1	0	2
		100.0%	10.7%	25.0%	64.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	46.4%	3.6%	0.0%	0.0%	7.1%

図表 1-(1)-11 学校教育と政治の場における男女の地位の平等感【性・年代別】

		サンプル数	学校教育の場						政治の場					
			男性の方が非常に優遇されている	どちらが優遇されれば男性のほうが	平等である	どちらが優遇されれば女性のほうが	女性の方が非常に優遇されている	無回答	男性の方が非常に優遇されている	どちらが優遇されれば男性のほうが	平等である	どちらが優遇されれば女性のほうが	女性の方が非常に優遇されている	無回答
総計		508	13	79	345	14	1	56	131	227	125	5	0	20
		100.0%	2.6%	15.6%	67.9%	2.8%	0.2%	11.0%	25.8%	44.7%	24.6%	1.0%	0.0%	3.9%
性・年代別	女性	245	10	37	157	7	1	33	83	102	43	2	0	15
		100.0%	4.1%	15.1%	64.1%	2.9%	0.4%	13.5%	33.9%	41.6%	17.6%	0.8%	0.0%	6.1%
		18～29歳	6	0	6	0	0	0	2	3	1	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
		30～39歳	9	0	3	2	0	1	4	4	1	0	0	0
		100.0%	0.0%	33.3%	33.3%	22.2%	0.0%	11.1%	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
		40～49歳	22	1	2	18	1	0	0	11	9	2	0	0
		100.0%	4.5%	9.1%	81.8%	4.5%	0.0%	0.0%	50.0%	40.9%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
		50～59歳	35	1	4	26	1	1	2	13	16	6	0	0
	100.0%	2.9%	11.4%	74.3%	2.9%	2.9%	5.7%	37.1%	45.7%	17.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
	60～69歳	62	2	13	42	1	0	4	29	19	12	0	2	
	100.0%	3.2%	21.0%	67.7%	1.6%	0.0%	6.5%	46.8%	30.6%	19.4%	0.0%	0.0%	3.2%	
	70～79歳	68	4	10	34	1	0	19	19	29	9	2	9	
	100.0%	5.9%	14.7%	50.0%	1.5%	0.0%	27.9%	27.9%	42.6%	13.2%	2.9%	0.0%	13.2%	
	80歳以上	33	1	4	22	0	0	6	4	15	10	0	4	
	100.0%	3.0%	12.1%	66.7%	0.0%	0.0%	18.2%	12.1%	45.5%	30.3%	0.0%	0.0%	12.1%	
	男性	251	3	41	181	7	0	19	46	121	78	3	0	3
		100.0%	1.2%	16.3%	72.1%	2.8%	0.0%	7.6%	18.3%	48.2%	31.1%	1.2%	0.0%	1.2%
		18～29歳	8	0	6	0	0	2	3	0	4	0	0	1
		100.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	37.5%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	12.5%
30～39歳		6	0	5	0	0	0	0	1	5	0	0	0	
100.0%		0.0%	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
40～49歳		18	0	2	15	1	0	0	1	12	4	1	0	
100.0%		0.0%	11.1%	83.3%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	66.7%	22.2%	5.6%	0.0%	0.0%	
50～59歳		40	0	7	29	1	0	3	4	20	14	1	1	
100.0%		0.0%	17.5%	72.5%	2.5%	0.0%	7.5%	10.0%	50.0%	35.0%	2.5%	0.0%	2.5%	
60～69歳		66	2	8	50	2	0	4	12	34	20	0	0	
100.0%	3.0%	12.1%	75.8%	3.0%	0.0%	6.1%	18.2%	51.5%	30.3%	0.0%	0.0%	0.0%		
70～79歳	74	0	13	53	2	0	6	17	39	16	1	1		
100.0%	0.0%	17.6%	71.6%	2.7%	0.0%	8.1%	23.0%	52.7%	21.6%	1.4%	0.0%	1.4%		
80歳以上	28	0	7	17	1	0	3	6	10	12	0	0		
100.0%	0.0%	25.0%	60.7%	3.6%	0.0%	10.7%	21.4%	35.7%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%		

図表 1-(1)-12 法律や制度の上と社会通念・慣習・しきたりなどにおける男女の地位の平等感【性・年代別】

	サンプル数	法律や制度の上						社会通念・慣習・しきたりなど					
		男性の方が非常に優遇さ	どちらが優遇されれば男性の	平等である	どちらが優遇されれば女性の	女性の方が非常に優遇さ	無回答	男性の方が非常に優遇さ	どちらが優遇されれば男性の	平等である	どちらが優遇されれば女性の	女性の方が非常に優遇さ	無回答
総計	508	51	150	256	26	0	25	83	251	148	5	1	20
	100.0%	10.0%	29.5%	50.4%	5.1%	0.0%	4.9%	16.3%	49.4%	29.1%	1.0%	0.2%	3.9%
性・年代別	女性	245	31	85	99	12	0	18	48	120	62	2	1
		100.0%	12.7%	34.7%	40.4%	4.9%	0.0%	7.3%	19.6%	49.0%	25.3%	0.8%	0.4%
	18～29歳	6	0	1	5	0	0	1	1	4	0	0	0
		100.0%	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～39歳	9	0	6	3	0	0	5	4	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40～49歳	22	4	8	10	0	0	9	12	1	0	0	0
		100.0%	18.2%	36.4%	45.5%	0.0%	0.0%	40.9%	54.5%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	50～59歳	35	4	14	14	2	0	10	16	8	0	0	1
		100.0%	11.4%	40.0%	40.0%	5.7%	0.0%	28.6%	45.7%	22.9%	0.0%	0.0%	2.9%
	60～69歳	62	7	24	22	5	0	10	40	11	0	0	1
		100.0%	11.3%	38.7%	35.5%	8.1%	0.0%	16.1%	64.5%	17.7%	0.0%	0.0%	1.6%
	70～79歳	68	11	20	24	4	0	10	29	22	1	0	6
		100.0%	16.2%	29.4%	35.3%	5.9%	0.0%	14.7%	42.6%	32.4%	1.5%	0.0%	8.8%
	80歳以上	33	3	7	18	1	0	4	14	13	0	1	4
		100.0%	9.1%	21.2%	54.5%	3.0%	0.0%	12.1%	42.4%	39.4%	0.0%	3.0%	12.1%
	男性	251	18	64	152	13	0	4	34	126	81	3	7
		100.0%	7.2%	25.5%	60.6%	5.2%	0.0%	1.6%	13.5%	50.2%	32.3%	1.2%	2.8%
	18～29歳	8	0	1	5	1	0	1	1	5	0	0	0
		100.0%	0.0%	12.5%	62.5%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～39歳	6	0	0	6	0	0	0	1	3	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40～49歳	18	1	4	10	3	0	0	1	11	5	1	0
		100.0%	5.6%	22.2%	55.6%	16.7%	0.0%	0.0%	5.6%	61.1%	27.8%	5.6%	0.0%
	50～59歳	40	2	12	23	2	0	1	6	19	12	2	1
		100.0%	5.0%	30.0%	57.5%	5.0%	0.0%	2.5%	15.0%	47.5%	30.0%	5.0%	2.5%
	60～69歳	66	7	19	37	2	0	1	14	34	17	0	1
		100.0%	10.6%	28.8%	56.1%	3.0%	0.0%	1.5%	21.2%	51.5%	25.8%	0.0%	1.5%
	70～79歳	74	3	23	43	5	0	0	8	42	21	0	3
		100.0%	4.1%	31.1%	58.1%	6.8%	0.0%	0.0%	10.8%	56.8%	28.4%	0.0%	4.1%
	80歳以上	28	3	2	22	0	0	1	1	15	0	0	0
		100.0%	10.7%	7.1%	78.6%	0.0%	0.0%	3.6%	3.6%	42.9%	53.6%	0.0%	0.0%

図表 1-(1)-13 地域活動の場と町全体で見た場合における男女の地位の平等感【性・年代別】

	サンプル数	自治会やPTAなどの地域活動の場						村全体で見た場合					
		男性の方が非常に優遇さ	どちらが優遇されれば男性の	平等である	どちらが優遇されれば女性の	女性の方が非常に優遇さ	無回答	男性の方が非常に優遇さ	どちらが優遇されれば男性の	平等である	どちらが優遇されれば女性の	女性の方が非常に優遇さ	無回答
総計	508	37	166	252	25	1	27	46	201	226	14	1	20
	100.0%	7.3%	32.7%	49.6%	4.9%	0.2%	5.3%	9.1%	39.6%	44.5%	2.8%	0.2%	3.9%
性・年代別	女性	245	24	91	109	9	0	12	33	100	88	10	14
		100.0%	9.8%	37.1%	44.5%	3.7%	0.0%	4.9%	13.5%	40.8%	35.9%	4.1%	5.7%
	18～29歳	6	0	2	4	0	0	0	0	4	0	0	0
		100.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～39歳	9	1	4	4	0	0	5	3	1	0	0	0
		100.0%	11.1%	44.4%	44.4%	0.0%	0.0%	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	40～49歳	22	0	11	11	0	0	2	13	6	1	0	0
		100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	9.1%	59.1%	27.3%	4.5%	0.0%	0.0%
	50～59歳	35	3	13	17	2	0	4	18	10	2	0	1
		100.0%	8.6%	37.1%	48.6%	5.7%	0.0%	11.4%	51.4%	28.6%	5.7%	0.0%	2.9%
	60～69歳	62	8	27	25	1	0	8	24	28	2	0	0
		100.0%	12.9%	43.5%	40.3%	1.6%	0.0%	12.9%	38.7%	45.2%	3.2%	0.0%	0.0%
	70～79歳	68	8	22	27	5	0	8	24	23	4	0	9
		100.0%	11.8%	32.4%	39.7%	7.4%	0.0%	11.8%	35.3%	33.8%	5.9%	0.0%	13.2%
	80歳以上	33	2	9	17	0	0	5	10	14	0	0	4
		100.0%	6.1%	27.3%	51.5%	0.0%	0.0%	15.2%	30.3%	42.4%	0.0%	0.0%	12.1%
	男性	251	13	73	135	16	1	13	99	128	4	1	6
		100.0%	5.2%	29.1%	53.8%	6.4%	0.4%	5.2%	39.4%	51.0%	1.6%	0.4%	2.4%
	18～29歳	8	0	3	5	0	0	1	2	5	0	0	0
		100.0%	0.0%	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～39歳	6	1	2	2	0	0	0	2	4	0	0	0
		100.0%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	40～49歳	18	0	4	9	5	0	0	7	10	1	0	0
		100.0%	0.0%	22.2%	50.0%	27.8%	0.0%	0.0%	38.9%	55.6%	5.6%	0.0%	0.0%
	50～59歳	40	2	14	18	4	0	2	18	20	0	0	0
		100.0%	5.0%	35.0%	45.0%	10.0%	0.0%	5.0%	45.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60～69歳	66	5	20	38	1	0	6	26	32	2	0	0
		100.0%	7.6%	30.3%	57.6%	1.5%	0.0%	9.1%	39.4%	48.5%	3.0%	0.0%	0.0%
	70～79歳	74	3	22	41	2	1	3	33	32	1	1	4
		100.0%	4.1%	29.7%	55.4%	2.7%	1.4%	4.1%	44.6%	43.2%	1.4%	1.4%	5.4%
	80歳以上	28	0	6	18	2	0	0	9	19	0	0	0
		100.0%	0.0%	21.4%	64.3%	7.1%	0.0%	0.0%	32.1%	67.9%	0.0%	0.0%	0.0%

オ 性別による固定的な役割分担に対する考え方別（図表 1-(1)-14）

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方の賛否別で各分野における男女の地位の平等感をみると、「家庭生活」「政治」「法律や制度」「社会通念・慣習・しきたりなど」「自治会や PTA など地域活動」の分野及び「村全体で見た場合」で、この考え方に「賛成」と回答した人が、「反対」と回答した人より『平等』と回答した割合は高くなっている。この傾向は、特に、「社会通念・慣習・しきたりなど」と「政治の場」で顕著にみられる。

また、すべての分野で、その考え方に「反対」と回答した人が、「賛成」と回答した人より『男性優遇』と回答した人の割合が高くなっている。「反対」又は「どちらかといえば反対」と「賛成」又は「どちらかといえば賛成」と回答した人についても、「家庭生活」以外は同様の傾向にある。

図表 1-(1)-14 男女の地位の平等感【性別による固定的な役割分担の考え方別】

宇検村			男性の方が 非常に優遇 されている	どちらかといえば 男性のほうが優 遇されている	平等である	どちらかといえば 女性のほうが優 遇されている	女性の方が 非常に優遇 されている	無回答	男性 優遇	女性 優遇
家庭生活	賛成	(n=31)	16.1%	29.0%	51.6%	3.2%	0.0%	0.0%	45.2%	3.2%
	どちらかといえば賛成	(n=131)	7.6%	51.1%	34.4%	6.1%	0.8%	0.0%	58.8%	6.9%
	どちらかといえば反対	(n=193)	6.2%	42.0%	45.6%	4.1%	0.5%	1.6%	48.2%	4.7%
	反対	(n=141)	10.6%	44.0%	41.1%	3.5%	0.0%	0.7%	54.6%	3.5%
職場	賛成	(n=31)	16.1%	12.9%	58.1%	6.5%	3.2%	3.2%	29.0%	9.7%
	どちらかといえば賛成	(n=131)	7.6%	40.5%	40.5%	4.6%	0.0%	6.9%	48.1%	4.6%
	どちらかといえば反対	(n=193)	7.8%	42.5%	39.9%	2.1%	0.5%	7.3%	50.3%	2.6%
	反対	(n=141)	8.5%	33.3%	49.6%	4.3%	0.0%	4.3%	41.8%	4.3%
学校教育の 場	賛成	(n=31)	3.2%	6.5%	80.6%	3.2%	0.0%	6.5%	9.7%	3.2%
	どちらかといえば賛成	(n=131)	2.3%	15.3%	69.5%	4.6%	0.0%	8.4%	17.6%	4.6%
	どちらかといえば反対	(n=193)	2.6%	18.7%	64.2%	1.0%	0.0%	13.5%	21.2%	1.0%
	反対	(n=141)	2.8%	14.2%	71.6%	2.8%	0.7%	7.8%	17.0%	3.5%
政治の場	賛成	(n=31)	16.1%	32.3%	45.2%	3.2%	0.0%	3.2%	48.4%	3.2%
	どちらかといえば賛成	(n=131)	19.1%	46.6%	28.2%	2.3%	0.0%	3.8%	65.6%	2.3%
	どちらかといえば反対	(n=193)	24.4%	49.7%	21.2%	0.5%	0.0%	4.1%	74.1%	0.5%
	反対	(n=141)	37.6%	39.0%	20.6%	0.0%	0.0%	2.8%	76.6%	0.0%
法律や制度 の上	賛成	(n=31)	12.9%	16.1%	64.5%	3.2%	0.0%	3.2%	29.0%	3.2%
	どちらかといえば賛成	(n=131)	9.2%	30.5%	50.4%	5.3%	0.0%	4.6%	39.7%	5.3%
	どちらかといえば反対	(n=193)	9.8%	30.6%	48.7%	5.2%	0.0%	5.7%	40.4%	5.2%
	反対	(n=141)	11.3%	30.5%	50.4%	5.7%	0.0%	2.1%	41.8%	5.7%
社会通念・ 慣習・しきた りなど	賛成	(n=31)	16.1%	25.8%	51.6%	0.0%	0.0%	6.5%	41.9%	0.0%
	どちらかといえば賛成	(n=131)	7.6%	57.3%	27.5%	1.5%	0.0%	6.1%	64.9%	1.5%
	どちらかといえば反対	(n=193)	15.5%	51.8%	29.0%	0.5%	0.5%	2.6%	67.4%	1.0%
	反対	(n=141)	27.0%	46.8%	24.1%	1.4%	0.0%	0.7%	73.8%	1.4%
自治会や PTAなどの 地域活動の 場	賛成	(n=31)	9.7%	12.9%	61.3%	6.5%	0.0%	9.7%	22.6%	6.5%
	どちらかといえば賛成	(n=131)	9.2%	28.2%	48.1%	6.9%	0.8%	6.9%	37.4%	7.6%
	どちらかといえば反対	(n=193)	6.2%	37.3%	49.2%	3.6%	0.0%	3.6%	43.5%	3.6%
	反対	(n=141)	7.1%	37.6%	48.9%	5.0%	0.0%	1.4%	44.7%	5.0%
村全体で見た 場合	賛成	(n=31)	9.7%	22.6%	61.3%	0.0%	0.0%	6.5%	32.3%	0.0%
	どちらかといえば賛成	(n=131)	8.4%	38.9%	42.7%	3.8%	0.8%	5.3%	47.3%	4.6%
	どちらかといえば反対	(n=193)	7.8%	42.5%	44.6%	2.6%	0.0%	2.6%	50.3%	2.6%
	反対	(n=141)	12.1%	43.3%	40.4%	2.8%	0.0%	1.4%	55.3%	2.8%

(2) 男女の地位が不平等と感じていること

Q2 男女の地位が不平等と感じていること（自由記述）【問2】

男女の地位が不平等と感じていることを聞いたところ、39 件の回答があり、主なものは以下のとおり。内訳は、「家庭生活」に関することが6件、「職場」に関することが4件、「政治・行政の場」に関することが2件、「社会通念・慣習・しきたりなど」に関することが5件、「自治会やPTAなどの地域活動」に関することが6件、「全体・その他」が15件となっている。

■ 家庭生活（6件）

- ・収入が高い方が偉いと思っている男性が多い気がする。女性はパートで収入は少ないが、仕事が終わったら夕食作りもしているのに、夫は帰ってきてビール。一番不平等を感じる。(40代女性)
- ・女性の方が家事・育児・介護の負担が重い。(40代女性)
- ・掃除や後片付けは女性の仕事だと思う男性が多い。家事のほとんどを女性がやっている。(60代女性)
- ・男の人は飲んだくれて、女の人は家事をしているのは不平等だと思う。(50代女性)
- ・家事・育児は女性がして当然だと思われる。(40代女性)
- ・家事・子育ては女がするものと思っている。(30代女性)

■ 職場（4件）

- ・給料の差(20代女性)
- ・職場での出世は男の方が一般的に早い。(70代男性)
- ・職場において男女同じ内容の仕事をしていても給与面で差がある。(50代女性)
- ・上司世代の男性には小さな子どもがいても仕事をしなくてはならないという意識がある。その世代の意識改革をしないと、若手は気持ちよく働けない。(30代女性)

■ 学校教育の場、法律や制度の上（0件）

■ 政治・行政の場（2件）

- ・男性が男性優位のようにするのをやめてほしい。特に議員に女性を入れるべきで、議員候補や議長・副議長選出について企業が口を出すのは良くない。(60代男性)
- ・村議員の選出(60代男性)

■ 社会通念・慣習・しきたりなど（5件）

- ・集落行事でも男性は座って飲み、女性が炊事をしている。(40代女性)
- ・村の集会所の席順(70代男性)
- ・集落の会で女性が同じ席に座らない(座りたがらない)。(50代男性)
- ・集落の集まりでは男性が主体とみられる。70歳過ぎの人が昔の人の話をしながら変えようとするのが全く無で、島（シマ）根性丸出し。(60代女性)
- ・地域の行事後の反省会では、女性が子ども達の子守、男性は飲みという印象が強い。(30代女性)

■ 自治会やPTAなどの地域活動の場（6件）

- ・女性は（体育祭、運動会の）マスゲーム参加が必須なこと。豊年祭の報酬が青壮年団より婦人会は少ない。(20代女性)
- ・地域の作業は性別で分けられていることが多いが、個々の能力や適性で分担を決めても良いのではと思うことがある。また、話し合いの場などで同様の意見であっても女性の方が軽んじられていると感じることもある。一方、男性というだけで責任のある役職に当たりがちで、負担に思う男性もいるのではないかなと思う。(40代女性)
- ・区長の選出(60代男性)
- ・地域活動の場で女性が発言すると「おなぐがぁ〜」（女のくせに）という声を未だによく聞き、女性というだけで軽視される。田舎は特にそれを強く感じる。とても不平等だし、その考えそのものが過疎化を進める。東京都知事が女性なのを見ると勇気づけられる。少しでも発言や活動の自由を求めるなら、やっぱり都会でないと思う。それがUターン者が来ない原因の大きなひとつとも思う！！(40代女性)
- ・男性の方が地域での活動が多く、家を空ける時間も長くなり、子育て等が女性中心になりがち。女性の活動を増やすといいのではという意見もあるが、なかなかできにくい環境がある。(50代男性)
- ・マスゲーム(20代男性)

■全体・その他（15 件）

- ・ 移住者にとっては、衝撃的なくらいに男性優位な場所なのに、違和感を持っている人がいないことに驚いた。他では今どきお茶くみは見かけないし、女性だけのマスゲームは戦争を思い出すもの。(50 代女性)
- ・ 一人で生きていく場合は、男は孤独になりがち。(70 代男性)
- ・ 何かにつけて性別で役割が決められている。(50 代女性)
- ・ 仕事をしていても、遊んでいても、先に男に声がかかる。(70 代男性)
- ・ 自分自身に「男の人がこうすべき、女の人はこちらあるべき」という考えがあるので、平等であることに少し疑問がある。子ども達は、私たちとは違う価値観で育っているので、平等であることに気を配らないといけないと思っている。(40 代女性)
- ・ 女性は社会進出の機会が少ない。(50 代男性)
- ・ 昔は男性が優遇されていたが、現代社会において女性も強くなり平等である。(70 代男性)
- ・ 村の役員は各団体のリーダー以外はみんな男性で、偏った考え方になる。(70 代女性)
- ・ 男女区別なく意見を言うことができていると思う。(70 代男性)
- ・ 男の仕事、女の仕事などの区別があるように感じる。(60 代男性)
- ・ 男性は自分を優先できる。(50 代女性)
- ・ 男性優遇の方が女性より何かにつけて安心感があります。(70 代女性)
- ・ 地位ではなく、やらないといけないことで比べると、男性の方が大変だと思った。(年代不明女性)
- ・ 料理は女性がするものだという圧を感じる時がある。接待も男性がやって良い。(60 代女性)
- ・ 男女不平等の前に、年功序列が強すぎて、今の時代では古すぎる。その制度に甘えて仕事をしていない、仕事ができなさすぎる人を見かけるが、内地でそんな仕事の仕方をしていたら、即クビレベルの人が多いい。本人がそのことに気づいていないことが本当にもずい。男女不平等の前に一人一人が成長するべき。このアンケートの質問内容が低レベル過ぎて意味がない。(年代・性別不明)

(3) 女性が職業を持つことに対する考え

Q3 一般的に女性が職業をもつことに対する考えについて【問3】

- ① 女性は職業をもたない方がよい
- ② 結婚するまでは職業をもつ方がよい
- ③ 子どもができるまでは職業をもつ方がよい
- ④ 子どもができて、ずっと職業をもち続ける方がよい
- ⑤ 子どもができた後職業をやめ、子どもが大きくなったら職業をもつ方がよい

ア 総計 (図表 1-(3)-1)

- ・ 女性が職業をもつことについて聞いたところ、「子どもができて、ずっと職業をもち続ける方がよい」(63.8%)と回答した割合が最も高く、次いで「子どもができた後職業をやめ、子どもが大きくなったら職業をもつ方がよい」(17.1%)となっている。
- ・ 「子どもができるまで」や「結婚するまで」と回答した割合は低く(8.1%と 4.1%)、「職業をもたないほうがよい」と回答した人はほとんどいない。

イ 性別、性・年代別、性・職業別 (図表 1-(3)-1,2)

- ・ 「子どもができて、ずっと職業をもち続ける方がよい」と回答した割合が、男女とも最も高く(女性 64.9%、男性 64.5%)、どの年代でも最も高い。
- ・ 性・年代別では、「子どもができて、ずっと職業をもち続ける方がよい」と回答した割合は、男女とも 40～60 代で 7 割を超えており、特に 50 代が最も高い。一方、「子どもができた後職業をやめ、子どもが大きくなったら職業をもつ方がよい」と回答した割合は、30 代の男性が最も高い(33.3%)ものの、他の年代では男性より女性の方が高い。また、80 代以上の男性の 4 割近くが、「結婚するまでは職業をもつ方がいい」又は「子どもができるまでは職業をもつ方がいい」と回答している。
- ・ 職業別では、「子どもができて、ずっと職業をもち続ける方がよい」と回答した割合は、女性の「正規雇用者」が最も高く(78.3%)、次いで男性の「自営業者」。男女の「非正規雇用者」と男性の「正規雇用者」も 7 割を超えている。「子どもができた後職業をやめ、子どもが大きくなったら職業をもつ方がよい」と回答した割合は、女性の「自営業者」で高い(31.3%)。

ウ 奄美大島 4 町村・県・内閣府調査との比較 (図表 1-(3)-1)

- ・ 奄美大島 4 町村の調査と比較すると、女性で「子どもができて、ずっと職業をもち続ける方がよい」と回答した割合が 5.2 ポイント低く、「子どもができた後職業をやめ、子どもが大きくなったら職業をもつ方がよい」が 4.7 ポイント高いが、男性に大きな差はない。
- ・ 県調査、内閣府調査と比較すると、総計及び男女とも『子どもができて、ずっと職業をもち続ける方がよい』と回答した割合が高く、『子どもができた後職業をやめ、子どもが大きくなったら職業をもつ方がよい』が低い。

図表 1-(3)-1 女性が職業をもつことに対する考え【総計、性別、奄美大島 4 町村、県・内閣府調査】

宇検村			女性は職業をもたないほうがよい	結婚するまでは職業をもつ方がよい	子どもができるまでは、職業をもつ方がよい	子どもができて、ずっと職業をもち続ける方がよい	子どもができた後職業をやめ、子どもが大きくなったら職業をもつ方がよい	無回答
今回調査	総計	(n=508)	2.2%	4.1%	8.1%	63.8%	17.1%	4.7%
	女性	(n=245)	2.0%	2.0%	8.2%	64.9%	19.6%	3.3%
	男性	(n=251)	2.0%	5.6%	8.0%	64.5%	14.3%	5.6%
奄美大島 4 町村	総計	(n=2,147)	1.4%	3.7%	7.6%	66.1%	16.5%	4.7%
	女性	(n=1,109)	1.3%	2.1%	6.7%	70.1%	15.3%	4.6%
	男性	(n=990)	1.4%	5.3%	8.7%	63.2%	17.0%	4.4%
県調査	総計	(n=2,094)	0.2%	2.1%	4.3%	52.3%	29.4%	11.6%
	女性	(n=1,200)	0.2%	2.2%	4.3%	51.8%	29.4%	12.2%
	男性	(n=875)	0.2%	2.2%	4.1%	52.9%	29.7%	10.8%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	0.7%	2.6%	7.7%	59.5%	27.1%	2.4%
	女性	(n=1,534)	0.6%	2.4%	6.3%	61.3%	27.0%	2.4%
	男性	(n=1,313)	0.9%	2.7%	9.4%	57.4%	27.3%	2.3%

図表 1-(3)-2 女性が職業をもつことに対する考え【性・年代別、性・職業別】

			サ ン プ ル 数	な 女 性 は う 職 業 を も た	業 結 を 婚 も す つ 方 ま が で よ い 職	方 で 子 が は ど よ、 い 職 が 業 で を き も る つ ま	い も も 子 ち、 ど 続 ず も け っ が る と で 方 職 業 を き よ を	よ ら も 職 業 を も き や が も く め つ な、 き 方 子 た ら	無 回 答
総計			508 100.0%	11 2.2%	21 4.1%	41 8.1%	324 63.8%	87 17.1%	24 4.7%
性・ 年代別	女性		245 100.0%	5 2.0%	5 2.0%	20 8.2%	159 64.9%	48 19.6%	8 3.3%
		18～29歳	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	3 50.0%	1 16.7%	1 16.7%
		30～39歳	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	6 66.7%	2 22.2%	0 0.0%
		40～49歳	22 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 72.7%	4 18.2%	2 9.1%
		50～59歳	35 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	27 77.1%	8 22.9%	0 0.0%
		60～69歳	62 100.0%	2 3.2%	1 1.6%	2 3.2%	47 75.8%	9 14.5%	1 1.6%
		70～79歳	68 100.0%	1 1.5%	2 2.9%	12 17.6%	37 54.4%	13 19.1%	3 4.4%
		80歳以上	33 100.0%	2 6.1%	2 6.1%	3 9.1%	18 54.5%	7 21.2%	1 3.0%
	男性		251 100.0%	5 2.0%	14 5.7%	20 8.2%	162 66.1%	36 14.7%	14 5.7%
		18～29歳	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 50.0%	1 12.5%	3 37.5%
		30～39歳	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	3 50.0%	2 33.3%	0 0.0%
		40～49歳	18 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	13 72.2%	3 16.7%	1 5.6%
		50～59歳	40 100.0%	1 2.5%	2 5.0%	0 0.0%	31 77.5%	5 12.5%	1 2.5%
		60～69歳	66 100.0%	3 4.5%	0 0.0%	5 7.6%	50 75.8%	8 12.1%	0 0.0%
		70～79歳	74 100.0%	0 0.0%	6 8.1%	5 6.8%	44 59.5%	13 17.6%	6 8.1%
		80歳以上	28 100.0%	1 3.6%	5 17.9%	6 21.4%	13 46.4%	2 7.1%	1 3.6%
性・ 職業別	女性	正規雇用者	46 100.0%	1 2.2%	0 0.0%	1 2.2%	36 78.3%	7 15.2%	1 2.2%
		非正規雇用者	53 100.0%	1 1.9%	0 0.0%	2 3.8%	39 73.6%	8 15.1%	3 5.7%
		自営業者	16 100.0%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%	8 50.0%	5 31.3%	1 6.3%
		無職	114 100.0%	2 1.8%	3 2.6%	16 14.0%	66 57.9%	24 21.1%	3 2.6%
	男性	正規雇用者	79 100.0%	2 2.5%	1 1.3%	3 3.8%	56 70.9%	13 16.5%	4 5.1%
		非正規雇用者	32 100.0%	1 3.1%	2 6.3%	1 3.1%	23 71.9%	4 12.5%	1 3.1%
		自営業者	24 100.0%	0 0.0%	1 4.2%	1 4.2%	18 75.0%	3 12.5%	1 4.2%
		無職	97 100.0%	2 2.1%	10 10.3%	11 11.3%	57 58.8%	11 11.3%	6 6.2%

※「自営業者」には家族従業員を含み、「無職」には主婦・主夫及び学生を含む。

(4) 固定的な性別役割分担意識

Q4 「男性(夫)は外で働き、女性(妻)は家庭を守るべきである」といった性別を理由に役割を固定的にわけ考える考え方（固定的性別役割分担）について【問4】

- ①賛成
 ②どちらかという賛成 ①+②『肯定』
 ③どちらかという反対
 ④反対 ③+④『否定』

ア 総計 (図表 1-(4)-1)

- 「男性(夫)は外で働き、女性(妻)は家庭を守るべきである」といった性別を理由に役割を固定的にわけ考える考え方について訊いたところ、「どちらかという反対」と回答した割合(38.0%)が最も高く、次いで「反対」(27.8%)。
- 「反対」と「どちらかという反対」を合わせた『否定』(65.7%)の割合が、「どちらかという賛成」と「賛成」を合わせた『肯定』(31.9%)の割合より33.8ポイント高くなっている。

イ 性別 (図表 1-(4)-1)

- 男女とも「どちらかという反対」(女性 36.7%、男性 38.6%)と回答した割合が最も高く、「反対」と合わせて女性の約7割、男性の約6割が『否定』と回答している。
- 男女とも『否定』が『肯定』を上回っているが、女性の方がその差は大きい(女性 45.3ポイント、男性 23.9ポイント)。

ウ 前回調査との比較 (図表 1-(4)-1)

- 前回調査と比較すると、男女とも無回答の割合が低下し、「どちらかといえば反対」と回答した割合が約30ポイントと高くなったものの、「どちらかといえば賛成」と回答した割合も10ポイント以上上昇し、「反対」と「賛成」の割合は同程度となっている。
- その結果、『否定』と回答した割合は大きく上昇したものの、『肯定』も上昇。

エ 奄美大島4町村・県・内閣府調査との比較 (図表 1-(4)-1)

- 奄美大島4町村の調査と比較すると、男女とも『否定』と回答した割合が低く、『肯定』と回答した割合が高くなっている。
- 県調査及び内閣府調査と比較すると、男女とも同程度。

図表 1-(4)-1 性別による固定的な役割分担に対する考え方【総計、性別、前回調査、奄美大島4町村、県・内閣府調査】

宇検村			賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	無回答	肯定	否定
今回調査	総計	(n=508)	6.1%	25.8%	38.0%	27.8%	2.4%	31.9%	65.7%
	女性	(n=245)	5.3%	20.8%	36.7%	34.7%	2.4%	26.1%	71.4%
	男性	(n=251)	7.2%	29.9%	38.6%	22.3%	2.0%	37.1%	61.0%
前回調査	総計	(n=1,055)	10.7%	12.8%	8.9%	28.6%	39.0%	23.5%	37.5%
	女性	(n=444)	9.0%	10.5%	9.2%	32.2%	39.1%	19.5%	41.4%
	男性	(n=553)	13.7%	15.8%	9.5%	27.0%	34.0%	29.5%	36.5%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	4.0%	23.8%	36.4%	34.0%	1.9%	27.8%	70.4%
	女性	(n=1,109)	2.9%	19.2%	35.8%	40.1%	2.0%	22.1%	75.9%
	男性	(n=990)	4.9%	28.6%	36.9%	28.2%	1.4%	33.5%	65.1%
県調査	総計	(n=2,094)	4.0%	31.5%	35.7%	24.7%	4.1%	35.5%	60.4%
	女性	(n=1,200)	3.5%	27.4%	38.2%	26.6%	4.3%	30.9%	64.8%
	男性	(n=875)	4.7%	37.3%	31.9%	22.4%	3.8%	41.9%	54.3%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	4.0%	29.4%	38.2%	26.1%	2.2%	33.4%	64.3%
	女性	(n=1,534)	3.0%	25.4%	40.4%	29.0%	2.2%	28.4%	69.4%
	男性	(n=1,313)	5.3%	34.2%	35.6%	22.7%	2.2%	39.5%	58.3%

オ 性・年代別 (図表 1-(4)-2)

- 「反対」と回答した割合は30代と40代の女性(66.7%、63.6%)で高い。
- 「どちらかといえば反対」を合わせた『否定』と回答した割合は40代の女性(86.4%)が最も高く、30代、50代の女性と男性の29歳以下も7割を超えている。
- 『肯定』と回答した割合は、30代男性(66.7%)が最も高く、70代男性と80代男女で4割を超えている。

図表 1-(4)-2 性別による固定的な役割分担に対する考え方【性・年代別】

		サ ン プ ル 数	賛 成	い ど え ち ば ら 賛 か 成 と	い ど え ち ば ら 反 か 対 と	反 対	無 回 答	『肯定』	『否定』
総計		508	31	131	193	141	12	31.9%	65.7%
		100.0%	6.1%	25.8%	38.0%	27.8%	2.4%		
性 ・ 年 代 別	女性	245	13	51	90	85	6	26.1%	71.4%
		100.0%	5.3%	20.8%	36.7%	34.7%	2.4%		
		18～29歳	6	0	1	3	1	16.7%	66.7%
			100.0%	0.0%	16.7%	50.0%	16.7%		
		30～39歳	9	0	2	6	0	22.2%	77.8%
			100.0%	0.0%	22.2%	66.7%	0.0%		
		40～49歳	22	1	1	14	1	9.1%	86.4%
			100.0%	4.5%	4.5%	63.6%	4.5%		
		50～59歳	35	0	8	16	0	22.9%	77.1%
			100.0%	0.0%	22.9%	45.7%	0.0%		
		60～69歳	62	1	11	25	0	19.4%	80.6%
			100.0%	1.6%	17.7%	40.3%	0.0%		
		70～79歳	68	8	15	30	2	33.8%	63.2%
			100.0%	11.8%	22.1%	44.1%	2.9%		
		80歳以上	33	2	12	12	2	42.4%	51.5%
			100.0%	6.1%	36.4%	36.4%	6.1%		
	男性	251	18	75	97	56	5	37.1%	61.0%
		100.0%	7.2%	29.9%	38.6%	22.3%	2.0%		
		18～29歳	8	1	1	4	0	25.0%	75.0%
			100.0%	12.5%	12.5%	50.0%	0.0%		
		30～39歳	6	2	2	1	0	66.7%	33.3%
			100.0%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%		
		40～49歳	18	4	2	6	1	33.3%	61.1%
			100.0%	22.2%	11.1%	33.3%	5.6%		
		50～59歳	40	1	11	15	0	30.0%	70.0%
			100.0%	2.5%	27.5%	37.5%	0.0%		
		60～69歳	66	1	18	31	1	28.8%	69.7%
			100.0%	1.5%	27.3%	47.0%	1.5%		
		70～79歳	74	3	28	30	3	41.9%	54.1%
			100.0%	4.1%	37.8%	40.5%	4.1%		
		80歳以上	28	3	10	12	0	46.4%	53.6%
			100.0%	10.7%	35.7%	42.9%	0.0%		

(5) 性別による固定的な役割分担を肯定する理由

Q5 Q4で「賛成」又は「どちらかといえば賛成」と回答した人のそう考える理由（複数回答）【問5】

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| ①日本の伝統的な考え方や男女・夫婦の在り方だと思ふから | 『伝統的な考え方や在り方だ』 |
| ②自分の父親は外で働き、母親は家を守っているから・いたから | 『親がそう(だった)』 |
| ③男性が外で働いた方が、多くの収入が得られると思ふから | 『収入が多く得られる』 |
| ④女性が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思ふから | 『子どもの成長などにとって良い』 |
| ⑤育児・介護・家事と両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思ふから | 『女性が働き続けることは大変』 |
| ⑥性別によって特性や能力、向き・不向きが違うと思ふから | 『性別によって特性や能力は違う』 |
| ⑦その他 | |

ア 総計 (図表 1-(5)-1)

- ・「男性(夫)は外で働き、女性(妻)は家庭を守るべきである」といった性別を理由に役割を固定的にわけようとする考え方について、「賛成」と「どちらかといえば賛成」と回答した人にその理由を聞いたところ、『子どもの成長などにとって良い』と回答した割合が最も高く(50.6%)、次いで『女性が働き続けることが大変』(36.4%)、『収入が多く得られる』(29.6%)。

イ 性別、性・年代別 (図表 1-(5)-1,2)

- ・総計同様、男女とも『子どもの成長などにとって良い』と回答した割合が最も高く、次いで『女性が働き続けることは大変』、『収入が多く得られる』。ただし、男性の方が『子どもの成長などにとって良い』と回答した割合が女性より高く(女性45.3%、男性52.7%)、女性の方が『女性が働き続けることは大変』と回答した割合が男性より高い(女性40.6%、男性33.3%)。
- ・サンプル数が一定数ある50代以上では、50代の男性と60代の女性で『子どもの成長などにとって良い』と回答した割合が高く(66.7%と58.3%)、50代の女性では『女性が働き続けることは大変』と回答した割合が高い(62.5%)。
- ・70代以上の男女で『収入が多く得られる』と回答した割合が高く(35.5%～46.2%)、80代の女性で『親がそう(だった)』(35.7%)、男性で『伝統的な考え方や在り方だ』(46.2%)と回答した割合が高い。
- ・『性別によって特性や能力は違う』と回答した割合は、50代の女性で5割、50代と60代の男性で約3割となっている。

ウ 奄美大島4町村調査との比較 (図表 1-(5)-1)

- ・総計の傾向は同様であるものの、『親がそう(だった)』以外の項目で回答した割合は高くなっており、特に『子どもの成長などにとって良い』について差が大きい。(8.6ポイント)
- ・男女とも『子どもの成長などにとって良い』と回答した割合が高い。(女性9.8ポイント、男性6.7ポイント)
- ・女性では、『伝統的な考え方や在り方だ』と回答した割合が高い。(9.6ポイント)
- ・男性では、『収入が多く得られる』と回答した割合が高い。(8.9ポイント)

エ 内閣府調査との比較 (図表 1-(5)-1)

- ・総計では、『子どもの成長などにとって良い』及び『女性が働き続けることは大変』と回答した割合は低く、『親がそう(だった)』と『伝統的な考え方や在り方だ』は高い。
- ・女性では、『女性が働き続けることは大変』と回答した割合が20.1ポイント低く、『親がそう(だった)』と『伝統的な考え方や在り方だ』がそれぞれ16.3ポイントと13.3ポイント高い。
- ・男性では、『女性が働き続けることは大変』と『子どもの成長などにとって良い』と回答した割合がそれぞれ18.8ポイントと10.6ポイント低い。

図表 1-(5)-1 性別による固定的な性別役割分担の考え方を肯定する理由（複数回答）【総計、性別、奄美大島4町村、内閣府調査】

宇検村			伝統的な考 えや在り方だ	親がそう(だっ た)	収入が多く得 られる	子どもの成長な どにとって良い	女性が働き続 けることは大変	性別によって特性 や能力は違う	その他	無回答
今回調査	総計	(n=162)	20.4%	16.7%	29.6%	50.6%	36.4%	22.8%	1.2%	1.2%
	女性	(n=64)	23.4%	23.4%	29.7%	45.3%	40.6%	21.9%	0.0%	3.1%
	男性	(n=93)	19.4%	11.8%	29.0%	52.7%	33.3%	23.7%	2.2%	0.0%
奄美大島 4町村	総計	(n=715)	14.3%	17.3%	22.8%	42.0%	34.1%	18.2%	1.3%	0.6%
	女性	(n=304)	13.8%	17.4%	26.3%	35.5%	36.8%	18.8%	0.7%	0.7%
	男性	(n=389)	14.1%	17.2%	20.1%	46.0%	32.1%	18.5%	1.8%	0.3%
内閣府調査	総計	(n=953)	11.1%	8.3%	32.1%	59.0%	56.0%	-	-	0.9%
	女性	(n=435)	10.1%	7.1%	34.7%	53.8%	60.7%	-	-	0.0%
	男性	(n=518)	12.0%	9.3%	29.9%	63.3%	52.1%	-	-	0.0%

※各項目回答者数÷Q4①②回答者数

図表 1-(5)-2 性別による固定的な性別役割分担の考え方を肯定する理由（複数回答）【性・年代別】

		サ ン プ ル 数	だ え 伝 や 統 在 的 り な 方 考	へ 親 だ が っ そ う 〜	得 収 ら 入 れ が る 多 く	と 長 子 っ な ど て ど も 良 に の い 成	は 続 女 大 け 性 変 る が こ 働 と き	力 て 性 は 特 別 違 性 に う や よ 能 っ	そ の 他	無 回 答
総計		162	33	27	48	82	59	37	2	2
		-	20.4%	16.7%	29.6%	50.6%	36.4%	22.8%	1.2%	1.2%
性・ 年 代 別	女性	64	15	15	19	29	26	14	0	2
		-	23.4%	23.4%	29.7%	45.3%	40.6%	21.9%	0.0%	3.1%
	18～29歳	1	0	0	1	1	0	0	0	0
		-	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～39歳	2	1	0	1	0	2	1	0	0
		-	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	40～49歳	2	0	0	0	1	1	1	0	0
		-	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	50～59歳	8	2	3	0	3	5	4	0	0
		-	25.0%	37.5%	0.0%	37.5%	62.5%	50.0%	0.0%	0.0%
	60～69歳	12	2	2	2	7	4	2	0	0
		-	16.7%	16.7%	16.7%	58.3%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%
	70～79歳	23	6	5	9	10	10	4	0	1
		-	26.1%	21.7%	39.1%	43.5%	43.5%	17.4%	0.0%	4.3%
	80歳以上	14	3	5	5	6	3	1	0	1
		-	21.4%	35.7%	35.7%	42.9%	21.4%	7.1%	0.0%	7.1%
	男性	93	18	11	27	49	31	22	2	0
		-	19.4%	11.8%	29.0%	52.7%	33.3%	23.7%	2.2%	0.0%
	18～29歳	2	0	0	0	0	1	1	0	0
		-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	30～39歳	4	1	0	2	2	1	1	0	0
		-	25.0%	0.0%	50.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	40～49歳	6	1	0	1	4	4	2	1	0
		-	16.7%	0.0%	16.7%	66.7%	66.7%	33.3%	16.7%	0.0%
	50～59歳	12	1	2	2	8	3	4	1	0
		-	8.3%	16.7%	16.7%	66.7%	25.0%	33.3%	8.3%	0.0%
	60～69歳	19	2	3	3	9	3	7	0	0
		-	10.5%	15.8%	15.8%	47.4%	15.8%	36.8%	0.0%	0.0%
	70～79歳	31	6	4	11	17	13	6	0	0
		-	19.4%	12.9%	35.5%	54.8%	41.9%	19.4%	0.0%	0.0%
	80歳以上	13	6	2	6	6	4	0	0	0
		-	46.2%	15.4%	46.2%	46.2%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%

「⑦その他」

- ・ ①逆でも良いと思う②少子化対策(40代男性)
- ・ 夫婦で話し合い、納得できるようにする。(50代男性)

(6) 性別による固定的な役割分担を否定する理由

Q6 Q4で「どちらかといえば反対」又は「反対」と回答した人のそう考える理由（複数回答）【問6】

①男女平等に反すると思うから	『男女平等に反する』
②自分の両親は共働きだから・だったから	『親が共働き（だった）』
③共働きする方が、多くの収入が得られると思うから	『共働きの方が収入が多い』
④女性が働いて能力を発揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから	『女性が能力を発揮したほうが個人にも社会にも良い』
⑤育児・介護・家事を男女で分担したり、職場環境や社会制度の整備などにより、女性が働き続けることは可能だと思うから	『男女の分担や職場環境・制度の整備等で女性が働き続けることは可能』
⑥個性や能力、向き・不向きは性別では決まらないと思うから	『個性や能力は性別では決まらない』
⑦その他	

ア 総計（図表 1-(6)-1）

- 性別によって固定的に役割をわける考え方について、「反対」と「どちらかといえば反対」と回答した人にその理由を聞いたところ、『男女の分担や職場環境・制度の整備等で女性が働き続けることは可能』と回答した割合(56.0%)が最も高く、次いで『個性や能力は性別では決まらない』(54.2%)。
- 『男女平等に反する』、『共働きの方が収入が多い』、『女性が能力を発揮したほうが個人にも社会にも良い』と回答した割合は約 3 割。

イ 性別・性・年代別（図表 1-(6)-1,2）

- 女性は、『個性や能力は性別では決まらない』と回答した割合が最も高く(62.3%)、30代で7割を超えている。次いで『男女の分担や職場環境・制度の整備等で女性が働き続けることは可能』(61.7%)となっており、40代と50代で7割を超えている。どちらの項目も男性より10ポイント以上高い。
- 男性では、『男女の分担や職場環境・制度の整備等で女性が働き続けることは可能』と回答した割合(50.3%)が最も高い。次いで『個性や能力は性別では決まらない』(47.1%)、『女性が能力を発揮したほうが個人にも社会にも良い』(43.8%)。前者は29歳以下、後者は50代が6割を超え、後者は全体で男性の方が女性より20.2ポイント高い。
- 『男女平等に反する』と回答した割合は30代の女性で7割を超えているが、全体では女性より男性の方が高く、40代男性は5割を超えている。

ウ 奄美大島4町村及び内閣府の調査との比較（図表 1-(6)-1）

- 奄美大島4町村の調査と比較すると、ほぼ同じ傾向になっている。
- 内閣府調査と比較すると、『男女の分担や職場環境・制度の整備等で女性が働き続けることは可能』と回答した割合が総計で37.6ポイント高い。特に女性は43.4ポイント高くなっている。一方、『共働きの方が収入が多い』と『女性が能力を発揮したほうが個人にも社会にも良い』は、女性でそれぞれ12.4ポイントと13.6ポイント低くなっている。

図表 1-(6)-1 性別による固定的な役割分担の考え方を否定する理由（複数回答）【総計、性別、奄美大島4町村、内閣府調査】

宇検村			男女平等 に反する	親が共働 き(だった)	共働き の方が収入 が多い	女性が能力を発 揮した方が個人に も社会にも良い	男女の分担や職場環境・ 制度の整備等で女性が働 き続けることは可能	個性や能力 は性別では 決まらない	その他	無回答
今回調査	総計	(n=334)	36.5%	5.7%	32.6%	33.2%	56.0%	54.2%	1.8%	1.5%
	女性	(n=175)	33.1%	6.3%	32.6%	24.0%	61.7%	62.3%	2.9%	1.7%
	男性	(n=153)	40.5%	5.2%	32.7%	43.8%	50.3%	47.1%	0.7%	1.3%
奄美大島 4町村	総計	(n=1,511)	35.5%	9.5%	31.0%	34.0%	55.8%	55.9%	3.5%	1.2%
	女性	(n=842)	35.2%	9.6%	31.2%	28.6%	60.9%	61.9%	3.8%	0.8%
	男性	(n=644)	36.5%	9.5%	30.9%	41.5%	49.5%	49.2%	3.1%	1.2%
内閣府調査	総計	(n=1,831)	35.7%	13.3%	44.8%	40.0%	18.4%	-	70.8%	0.9%
	女性	(n=1,065)	36.9%	13.8%	45.0%	37.6%	18.3%	-	74.9%	0.7%
	男性	(n=766)	33.9%	12.7%	44.5%	43.3%	18.5%	-	65.0%	1.2%

※各項目回答者数÷Q4③④回答者数

※内閣府調査の「その他」は、「固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから」

図表 1-(6)-2 性別による固定的な役割分担の考え方を否定する理由（複数回答）【性・年代別】

		サ ン プ ル 数	男 女 平 等 に 反 す る	た 親 が 共 働 き （ だ っ	が 共 多 働 い き の 方 が 収 入	社 し 女 会 た 性 に 方 が 能 良 個 力 を に 発 も 揮	け 等 環 男 る で こ 女 ・ の 性 制 分 は が 度 担 の や 可 働 の 能 き 整 職 場 備	で 個 は 性 決 や ま 能 ら な は 性 別	そ の 他	無 回 答
総計		334	122	19	109	111	187	181	6	5
		-	36.5%	5.7%	32.6%	33.2%	56.0%	54.2%	1.8%	1.5%
性 ・ 年 代 別	女性	175	58	11	57	42	108	109	5	3
		-	33.1%	6.3%	32.6%	24.0%	61.7%	62.3%	2.9%	1.7%
	18～29歳	4	1	0	1	1	2	2	2	0
		-	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	30～39歳	7	5	1	2	0	4	5	0	0
		-	71.4%	14.3%	28.6%	0.0%	57.1%	71.4%	0.0%	0.0%
	40～49歳	19	6	3	4	6	14	13	0	0
		-	31.6%	15.8%	21.1%	31.6%	73.7%	68.4%	0.0%	0.0%
	50～59歳	27	10	3	10	6	20	17	3	0
		-	37.0%	11.1%	37.0%	22.2%	74.1%	63.0%	11.1%	0.0%
	60～69歳	50	16	1	19	8	33	33	0	1
		-	32.0%	2.0%	38.0%	16.0%	66.0%	66.0%	0.0%	2.0%
	70～79歳	43	11	2	14	13	24	27	0	1
		-	25.6%	4.7%	32.6%	30.2%	55.8%	62.8%	0.0%	2.3%
	80歳以上	17	6	0	5	6	8	6	0	1
		-	35.3%	0.0%	29.4%	35.3%	47.1%	35.3%	0.0%	5.9%
	男性	153	62	8	50	67	77	72	1	2
		-	40.5%	5.2%	32.7%	43.8%	50.3%	47.1%	0.7%	1.3%
	18～29歳	6	2	1	0	0	3	4	0	0
		-	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%	66.7%	0.0%	0.0%
	30～39歳	2	1	1	0	1	0	1	0	0
		-	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	40～49歳	11	6	1	6	3	6	5	0	0
		-	54.5%	9.1%	54.5%	27.3%	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%
	50～59歳	28	12	0	13	18	15	16	0	0
		-	42.9%	0.0%	46.4%	64.3%	53.6%	57.1%	0.0%	0.0%
	60～69歳	46	18	1	15	22	22	19	1	1
		-	39.1%	2.2%	32.6%	47.8%	47.8%	41.3%	2.2%	2.2%
	70～79歳	40	16	0	13	16	22	19	0	1
		-	40.0%	0.0%	32.5%	40.0%	55.0%	47.5%	0.0%	2.5%
	80歳以上	15	5	3	2	4	6	5	0	0
		-	33.3%	20.0%	13.3%	26.7%	40.0%	33.3%	0.0%	0.0%

「⑦その他」

- ・ この考え方は男性も苦しむ人があると思うから。(50代女性)
- ・ 経済力の有無は性別ではないし、求める生活水準に合わせて働くかどうかは選択した方がいいと思うから。(20代女性)
- ・ 性別に問わず、家庭の役割は各家庭それぞれで違っていいと思う。(50代女性)
- ・ 働く人が半分になる。(60代男性)
- ・ 同じ人間として出来る人がやれば良い。LGBTQが普通の時代にこの質問自体妙。(50代女性)
- ・ 特に賛成も反対も思わない。本人達が納得していればどちらでも良いと思う。(20代女性)

2 家庭生活・地域活動について

(1) 家事、育児、介護・看護、地域活動における夫婦の役割分担

Q7 現在結婚（事実婚を含む。）している人の家事、育児、介護・看護、地域活動の参加における夫婦の分担の状況（育児と介護・看護については過去の経験も含む。）について【問9】

- ①配偶者(パートナー)で半分ずつ分担
- ②妻(女性/パートナー)の方が多く分担
※女性では「自分の方が配偶者(パートナー)より多く分担」、男性では「配偶者(パートナー)の方が自分より多く分担」
- ③夫(男性/パートナー)の方が多く分担
※女性では「配偶者(パートナー)の方が自分より多く分担」、男性では「自分の方が配偶者(パートナー)より多く分担」
- ④その他の方法で分担
- ⑤該当なし

ア 総計（図表 2-(1)-1）

- ・ 配偶者（事実婚のパートナーを含む。）がいる人に家庭生活や地域活動の参加についての夫婦の分担を聞いたところ、「妻の方が多く分担」と回答した割合は、「家事」(66.4%)、「育児」(54.4%)、「介護」(35.6%)で最も高くなっている。
- ・ 「夫の方が多く分担」と回答した割合が最も高いのは、「地域活動」(33.9%)。
- ・ 「半分ずつ分担」と回答した割合は、「地域活動」(25.8%) が最も高く、次いで「家事」(14.7%)、「介護・看護」(14.2%)、「育児」(13.6%)。
- ・ 「育児」では 15.6%、「介護・看護」では 32.5%が「該当なし」と回答しているため、実際に育児や介護・看護を行っている家庭では「育児」は約 7 割、「介護・看護」は約 6 割が「妻の方が多く分担」と回答していることになる。

図表 2-(1)-1 家庭生活・地域活動における夫婦の役割分担【総計】

宇検村			夫が多く分担	妻が多く分担	半分ずつ分担	その他の方法で分担	該当なし	無回答
今回調査	家事	(n=360)	11.1%	66.4%	14.7%	3.6%	0.0%	4.2%
	育児	(n=360)	4.2%	54.4%	13.6%	1.7%	15.6%	10.6%
	介護・看護	(n=360)	7.2%	35.6%	14.2%	1.1%	32.5%	9.4%
	地域活動	(n=360)	33.9%	27.2%	25.8%	1.7%	4.2%	7.2%

イ 性別（図表 2-(1)-2～5）

- ・ 「家事」「育児」「介護・看護」については、「妻が多く分担」と回答した割合が男性より女性の方が 8.6～10.2 ポイント高い。
- ・ 「地域活動」については、女性では「妻が多く分担」と回答した割合が 35.7%、男性は 19.7%となっている一方、「夫が多く分担」と回答した割合は女性が 26.9%、男性が 40.4%と逆転しており、男女間で認識のギャップがみられる。

ウ 奄美大島 4 町村（図表 2-(1)-5）

- ・ 奄美大島 4 町村の調査と比較すると、ほぼ同様の傾向だが、「家事」「育児」「介護・看護」については、「妻が多く分担」と回答した割合が女性では高く、男性では低くなっている。
- ・ 「地域活動」については、男女とも「夫が多く分担」と回答した割合が高くなっている。

エ 県調査との比較（図表 2-(1)-5）

- ・ 県調査と比較すると、「家事」「育児」「介護・看護」については、男女とも「妻が多く分担」と回答した割合が高く、「半分ずつ分担」と回答した割合が低い。割合は小さいものの、「夫が多く分担」と回答した割合は高くなっている。
- ・ 総計では、「家事」については「半分ずつ分担」と回答した割合が 14.2 ポイント低く、「育児」については、「妻が多く分担」と回答した割合が 16.0 ポイント高い。
- ・ 「地域活動」については、男女とも「妻が多く分担」と回答した割合は同程度である一方、「夫が多く分担」と回答した割合が 10.8 ポイント高く、「半分ずつ分担」と回答した人の割合が 5.9 ポイント低くなっている。

図表 2-(1)-2 家事における夫婦の役割分担【総計、性別、奄美大島4町村、県調査】

宇検村			夫が多く分担	妻が多く分担	半分ずつ分担	その他の方法で分担	該当なし	無回答
今回調査	総計	(n=360)	11.1%	66.4%	14.7%	3.6%	0.0%	4.2%
	女性	(n=171)	7.6%	71.9%	15.8%	1.2%	0.0%	3.5%
	男性	(n=188)	14.4%	61.7%	13.8%	5.9%	0.0%	4.3%
奄美大島 4町村	総計	(n=1,365)	8.6%	64.8%	17.6%	4.2%	0.0%	4.8%
	女性	(n=685)	7.0%	66.4%	18.4%	4.1%	0.0%	4.1%
	男性	(n=672)	10.4%	64.0%	17.0%	4.3%	0.0%	4.3%
県調査	総計	(n=1,493)	2.1%	63.2%	28.9%	0.5%	0.8%	4.5%
	女性	(n=803)	1.2%	67.9%	25.5%	0.2%	0.1%	5.0%
	男性	(n=687)	3.1%	58.1%	32.8%	0.9%	1.6%	3.6%

※前回調査は一部附帯計（以下、同様）

図表 2-(1)-3 育児における夫婦の役割分担【総計、性別、奄美大島4町村、県調査】

宇検村			夫が多く分担	妻が多く分担	半分ずつ分担	その他の方法で分担	該当なし	無回答
今回調査	総計	(n=360)	4.2%	54.4%	13.6%	1.7%	15.6%	10.6%
	女性	(n=171)	4.1%	59.1%	9.4%	1.2%	13.5%	12.9%
	男性	(n=188)	4.3%	50.5%	17.6%	2.1%	17.6%	8.0%
奄美大島 4町村	総計	(n=1,365)	4.1%	54.5%	13.3%	2.1%	18.2%	7.8%
	女性	(n=685)	4.4%	56.6%	12.3%	1.8%	17.8%	7.2%
	男性	(n=672)	3.9%	53.0%	14.6%	2.5%	18.5%	7.6%
県調査	総計	(n=1,493)	0.5%	38.4%	24.2%	0.1%	27.3%	9.5%
	女性	(n=803)	0.4%	43.1%	22.0%	0.2%	25.3%	9.0%
	男性	(n=687)	0.6%	33.0%	26.8%	0.0%	29.5%	10.0%

図表 2-(1)-4 介護・看護における夫婦の役割分担【総計、性別、奄美大島4町村、県調査】

宇検村			夫が多く分担	妻が多く分担	半分ずつ分担	その他の方法で分担	該当なし	無回答
今回調査	総計	(n=360)	7.2%	35.6%	14.2%	1.1%	32.5%	9.4%
	女性	(n=171)	5.3%	40.4%	14.0%	0.0%	28.7%	11.7%
	男性	(n=188)	9.0%	31.4%	14.4%	2.1%	36.2%	6.9%
奄美大島 4町村	総計	(n=1,365)	6.0%	35.9%	12.9%	1.2%	37.7%	6.3%
	女性	(n=685)	5.3%	38.8%	12.3%	1.2%	36.2%	6.3%
	男性	(n=672)	6.8%	33.3%	13.4%	1.3%	39.3%	5.8%
県調査	総計	(n=1,493)	2.6%	24.8%	20.0%	1.3%	42.8%	8.4%
	女性	(n=803)	1.1%	30.4%	16.6%	1.5%	42.2%	8.2%
	男性	(n=687)	4.4%	18.5%	24.2%	1.0%	43.4%	8.6%

図表 2-(1)-5 地域活動における夫婦の役割分担【総計、性別、奄美大島4町村、県調査】

宇検村			夫が多く分担	妻が多く分担	半分ずつ分担	その他の方法で分担	該当なし	無回答
今回調査	総計	(n=360)	33.9%	27.2%	25.8%	1.7%	4.2%	7.2%
	女性	(n=171)	26.9%	35.7%	25.1%	1.2%	1.8%	9.4%
	男性	(n=188)	40.4%	19.7%	26.6%	2.1%	6.4%	4.8%
奄美大島 4町村	総計	(n=1,365)	28.3%	30.8%	25.3%	2.0%	8.1%	5.6%
	女性	(n=685)	20.3%	37.8%	25.1%	1.9%	8.9%	6.0%
	男性	(n=672)	36.8%	24.0%	25.7%	2.1%	6.8%	4.6%
県調査	総計	(n=1,493)	23.1%	27.8%	31.7%	1.1%	10.9%	5.4%
	女性	(n=803)	16.4%	34.5%	31.9%	1.0%	10.5%	5.7%
	男性	(n=687)	31.0%	20.1%	31.6%	1.3%	11.4%	4.7%

オ 性・年代別、性・就労状況別、性・職業別（図表 2-(1)-6,7)

(ア) 家事

- ・「妻が多く分担」と回答した割合は、30～60 代の女性で 7 割を超え、40 代が最も高い(88.9%)。男性は 30 代が 100.0%、次いで 40 代が高い(66.7%)。
- ・「半分ずつ分担」と回答した割合が高いのは、29 歳以下の女性(50.0%)。次いで 80 歳以上の男性(25.0%)と 30 代の女性(22.2%)。
- ・「夫が多く分担」と回答した割合が高いのは、70 代と 60 代の男性(18.0%と 17.6%)。
- ・就業状況別では、「自分のみ仕事がある」女性の 84.6%、「配偶者のみ仕事がある」女性の 79.2%、「自分のみ仕事がある」男性の 72.4%が、「妻が多く分担」と回答している。一方、「妻のみ仕事がある」男性の 30.8%が「夫が多く分担」と回答。
- ・職業別では、女性は「非正規雇用者」と「正規雇用者」(76.9%、76.3%)、男性は「正規雇用者」(69.2%)が「妻が多く分担」と回答した割合が高い。

(イ) 育児

- ・「妻が多く分担」と回答した割合が高いのは、30 代の女性(88.9%)、30 代と 40 代の男性(100%、83.3%)。
- ・就業状況別では「自分のみ仕事がある」男女、職業別では「正規雇用者」の女性が、「妻が多く分担」と回答した割合が高い。

(ウ) 介護・看護

- ・「妻が多く分担」と回答した割合が高いのは 50 代女性。一方、60、70 代の女性と 60 代以上の男性は、他の年代に比べて「半分ずつ分担」と回答した割合が高い。
- ・就業状況別では、「自分のみ仕事がある」女性が、「妻が多く分担」と「半分ずつ分担」と回答した割合が他より高い。
- ・職業別では、「無職」の女性が「妻が多く分担」、「非正規雇用者」の男性が「半分ずつ分担」と回答した割合が他より高い。

(エ) 地域活動

- ・男性の 70 代以下は「妻が多く分担」より「夫が多く分担」と回答した割合が高いものの、30、50、70 代の女性は「妻が多く分担」と回答した割合の方が高い。40、50 代の女性と 30、40、60 代の男性の 3 割以上が「半分ずつ分担」と回答。
- ・男性は就業状況にかかわらず、「妻が多く分担」より「夫が多く分担」と回答した割合が高く、「配偶者のみ仕事がある」男性が 5 割を超えて最も高い。女性は「二人とも仕事がある」人が「夫が多く分担」と回答した割合が高く、「妻が多く分担」と回答した割合と同程度。
- ・職業別では、「非正規雇用者」の男女では「半分ずつ分担」、「自営業」の男女では「夫が多く分担」と回答した割合が他より高い。

図表 2-(1)-6 家事、育児における夫婦の役割分担【性・年代別、性・夫婦の就労別、性・職業別】

		サ ン プ ル 数	家事						育児						
			妻 が 多 く 分 担	半 分 づ つ 分 担	夫 が 多 く 分 担	そ の 他 の 方 法	該 当 な し	無 回 答	妻 が 多 く 分 担	半 分 づ つ 分 担	夫 が 多 く 分 担	そ の 他 の 方 法	該 当 な し	無 回 答	
総計		360	239	53	40	13	0	15	196	49	15	6	56	38	
		100.0%	66.4%	14.7%	11.1%	3.6%	0.0%	4.2%	54.4%	13.6%	4.2%	1.7%	15.6%	10.6%	
性・年代別	女性	171	123	27	13	2	0	6	101	16	7	2	23	22	
		100.0%	71.9%	15.8%	7.6%	1.2%	0.0%	3.5%	59.1%	9.4%	4.1%	1.2%	13.5%	12.9%	
	18～29歳	4	1	2	1	0	0	0	1	0	0	0	3	0	
	100.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%		
	30～39歳	9	7	2	0	0	0	0	8	0	1	0	0	0	
	100.0%	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	88.9%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%		
	40～49歳	18	16	1	1	0	0	0	13	4	0	0	1	0	
	100.0%	88.9%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	72.2%	22.2%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%		
	50～59歳	26	20	3	2	1	0	0	17	3	0	0	5	1	
	100.0%	76.9%	11.5%	7.7%	3.8%	0.0%	0.0%	65.4%	11.5%	0.0%	0.0%	19.2%	3.8%		
	60～69歳	49	37	7	4	0	0	1	30	2	3	1	9	4	
	100.0%	75.5%	14.3%	8.2%	0.0%	0.0%	2.0%	61.2%	4.1%	6.1%	2.0%	18.4%	8.2%		
	70～79歳	51	34	10	3	1	0	3	28	5	2	1	4	11	
	100.0%	66.7%	19.6%	5.9%	2.0%	0.0%	5.9%	54.9%	9.8%	3.9%	2.0%	7.8%	21.6%		
	80歳以上	13	8	2	1	0	0	2	4	2	0	0	1	6	
	100.0%	61.5%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	15.4%	30.8%	15.4%	0.0%	0.0%	7.7%	46.2%		
男性	188	116	26	27	11	0	8	95	33	8	4	33	15		
	100.0%	61.7%	13.8%	14.4%	5.9%	0.0%	4.3%	50.5%	17.6%	4.3%	2.1%	17.6%	8.0%		
	18～29歳	6	2	1	0	2	0	1	2	0	0	0	3	1	
	100.0%	33.3%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	16.7%		
	30～39歳	3	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	40～49歳	12	8	1	1	2	0	0	10	2	0	0	0	0	
	100.0%	66.7%	8.3%	8.3%	16.7%	0.0%	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	50～59歳	33	19	5	4	5	0	0	17	7	1	2	5	1	
	100.0%	57.6%	15.2%	12.1%	15.2%	0.0%	0.0%	51.5%	21.2%	3.0%	6.1%	15.2%	3.0%		
60～69歳	51	33	6	9	2	0	1	26	8	3	0	11	3		
100.0%	64.7%	11.8%	17.6%	3.9%	0.0%	2.0%	51.0%	15.7%	5.9%	0.0%	21.6%	5.9%			
70～79歳	61	38	7	11	0	0	5	31	10	2	2	10	6		
100.0%	62.3%	11.5%	18.0%	0.0%	0.0%	8.2%	50.8%	16.4%	3.3%	3.3%	16.4%	9.8%			
80歳以上	20	12	5	2	0	0	1	5	5	2	0	4	4		
100.0%	60.0%	25.0%	10.0%	0.0%	0.0%	5.0%	25.0%	25.0%	10.0%	0.0%	20.0%	20.0%			
性・夫婦の就労状況別	女性	二人とも仕事がある	79	58	11	9	1	0	50	8	4	1	11	5	
		100.0%	73.4%	13.9%	11.4%	1.3%	0.0%	0.0%	63.3%	10.1%	5.1%	1.3%	13.9%	6.3%	
		自分のみ仕事がある	13	11	2	0	0	0	0	9	1	0	0	3	0
		100.0%	84.6%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	69.2%	7.7%	0.0%	0.0%	23.1%	0.0%	
	配偶者のみ仕事がある	24	19	3	1	0	0	1	13	2	1	0	4	4	
	100.0%	79.2%	12.5%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%	54.2%	8.3%	4.2%	0.0%	16.7%	16.7%		
	どちらとも仕事がない	35	22	9	1	0	0	3	19	4	1	0	4	7	
	100.0%	62.9%	25.7%	2.9%	0.0%	0.0%	8.6%	54.3%	11.4%	2.9%	0.0%	11.4%	20.0%		
男性	二人とも仕事がある	86	52	14	11	7	0	2	46	17	3	2	13	5	
	100.0%	60.5%	16.3%	12.8%	8.1%	0.0%	2.3%	53.5%	19.8%	3.5%	2.3%	15.1%	5.8%		
	自分のみ仕事がある	29	21	2	2	3	0	1	20	3	1	1	4	0	
	100.0%	72.4%	6.9%	6.9%	10.3%	0.0%	3.4%	69.0%	10.3%	3.4%	3.4%	13.8%	0.0%		
配偶者のみ仕事がある	13	6	2	4	1	0	0	3	2	1	1	5	1		
100.0%	46.2%	15.4%	30.8%	7.7%	0.0%	0.0%	23.1%	15.4%	7.7%	7.7%	38.5%	7.7%			
どちらとも仕事がない	52	33	7	7	0	0	5	23	10	3	0	8	8		
100.0%	63.5%	13.5%	13.5%	0.0%	0.0%	9.6%	44.2%	19.2%	5.8%	0.0%	0.0%	15.4%	15.4%		
性・職業別	女性	正規雇用者	38	29	6	3	0	0	27	3	1	0	6	1	
		100.0%	76.3%	15.8%	7.9%	0.0%	0.0%	0.0%	71.1%	7.9%	2.6%	0.0%	15.8%	2.6%	
		非正規雇用者	39	30	4	4	1	0	0	24	5	2	0	5	3
		100.0%	76.9%	10.3%	10.3%	2.6%	0.0%	0.0%	61.5%	12.8%	5.1%	0.0%	12.8%	7.7%	
	自営業者	13	9	3	1	0	0	0	7	1	1	1	2	1	
	100.0%	69.2%	23.1%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	53.8%	7.7%	7.7%	7.7%	15.4%	7.7%		
	無職	79	54	14	5	0	0	6	42	7	3	0	10	17	
	100.0%	68.4%	17.7%	6.3%	0.0%	0.0%	7.6%	53.2%	8.9%	3.8%	0.0%	12.7%	21.5%		
男性	正規雇用者	65	45	8	5	5	0	2	40	11	0	2	9	3	
	100.0%	69.2%	12.3%	7.7%	7.7%	0.0%	3.1%	61.5%	16.9%	0.0%	3.1%	13.8%	4.6%		
	非正規雇用者	28	14	6	4	3	0	1	17	5	1	0	4	1	
	100.0%	50.0%	21.4%	14.3%	10.7%	0.0%	3.6%	60.7%	17.9%	3.6%	0.0%	14.3%	3.6%		
自営業者	16	11	1	3	1	0	0	4	3	2	1	5	1		
100.0%	68.8%	6.3%	18.8%	6.3%	0.0%	0.0%	25.0%	18.8%	12.5%	6.3%	31.3%	6.3%			
無職	73	43	9	14	2	0	5	30	12	5	1	15	10		
100.0%	58.9%	12.3%	19.2%	2.7%	0.0%	6.8%	41.1%	16.4%	6.8%	1.4%	20.5%	13.7%			

図表 2-(1)-7 介護・看護、地域活動への参加における夫婦の役割分担【性・年代別、性・夫婦の就労状況別、性・職業別】

		サ ン プ ル 数	介護・看護						地域活動					
			妻 が 多 く 分 担	半 分 ず つ 分 担	夫 が 多 く 分 担	で そ 分 他 の 方 法	該 当 な し	無 回 答	妻 が 多 く 分 担	半 分 ず つ 分 担	夫 が 多 く 分 担	で そ 分 他 の 方 法	該 当 な し	無 回 答
総計		360	128	51	26	4	117	34	98	93	122	6	15	26
		100.0%	35.6%	14.2%	7.2%	1.1%	32.5%	9.4%	27.2%	25.8%	33.9%	1.7%	4.2%	7.2%
性・年代別	女性	171	69	24	9	0	49	20	61	43	46	2	3	16
		100.0%	40.4%	14.0%	5.3%	0.0%	28.7%	11.7%	35.7%	25.1%	26.9%	1.2%	1.8%	9.4%
	18～29歳	4	0	0	0	0	4	0	0	1	3	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～39歳	9	3	0	1	0	3	2	5	1	3	0	0	0
		100.0%	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%	33.3%	22.2%	55.6%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	40～49歳	18	4	2	0	0	12	0	4	9	5	0	0	0
		100.0%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	22.2%	50.0%	27.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	50～59歳	26	14	2	0	0	9	1	11	9	4	2	0	0
		100.0%	53.8%	7.7%	0.0%	0.0%	34.6%	3.8%	42.3%	34.6%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%
	60～69歳	49	24	9	4	0	9	3	18	9	19	0	0	3
		100.0%	49.0%	18.4%	8.2%	0.0%	18.4%	6.1%	36.7%	18.4%	38.8%	0.0%	0.0%	6.1%
	70～79歳	51	20	10	2	0	10	9	20	12	9	0	2	8
		100.0%	39.2%	19.6%	3.9%	0.0%	19.6%	17.6%	39.2%	23.5%	17.6%	0.0%	3.9%	15.7%
	80歳以上	13	4	1	1	0	2	5	2	2	3	0	1	5
		100.0%	30.8%	7.7%	7.7%	0.0%	15.4%	38.5%	15.4%	15.4%	23.1%	0.0%	7.7%	38.5%
	男性	188	59	27	17	4	68	13	37	50	76	4	12	9
		100.0%	31.4%	14.4%	9.0%	2.1%	36.2%	6.9%	19.7%	26.6%	40.4%	2.1%	6.4%	4.8%
	18～29歳	6	0	0	0	0	5	1	2	0	3	0	0	1
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.3%	16.7%	33.3%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%
	30～39歳	3	1	0	0	0	2	0	0	1	2	0	0	0
		100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	40～49歳	12	4	1	0	0	6	1	4	4	4	0	0	0
		100.0%	33.3%	8.3%	0.0%	0.0%	50.0%	8.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	50～59歳	33	8	4	3	1	16	1	6	6	18	0	3	0
		100.0%	24.2%	12.1%	9.1%	3.0%	48.5%	3.0%	18.2%	18.2%	54.5%	0.0%	9.1%	0.0%
	60～69歳	51	20	8	4	1	13	5	7	19	21	1	2	1
		100.0%	39.2%	15.7%	7.8%	2.0%	25.5%	9.8%	13.7%	37.3%	41.2%	2.0%	3.9%	2.0%
	70～79歳	61	21	9	8	1	19	3	12	15	24	2	3	5
		100.0%	34.4%	14.8%	13.1%	1.6%	31.1%	4.9%	19.7%	24.6%	39.3%	3.3%	4.9%	8.2%
	80歳以上	20	4	5	2	0	7	2	5	5	4	0	4	2
		100.0%	20.0%	25.0%	10.0%	0.0%	35.0%	10.0%	25.0%	25.0%	20.0%	0.0%	20.0%	10.0%
性・夫婦の就労状況別	女性	79	27	11	5	0	28	8	24	24	27	1	1	2
		100.0%	34.2%	13.9%	6.3%	0.0%	35.4%	10.1%	30.4%	30.4%	34.2%	1.3%	1.3%	2.5%
	二人とも仕事がある	13	8	3	0	0	2	0	8	1	4	0	0	0
		100.0%	61.5%	23.1%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	61.5%	7.7%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	自分のみ仕事がある	24	11	2	1	0	8	2	9	5	7	1	0	2
		100.0%	45.8%	8.3%	4.2%	0.0%	33.3%	8.3%	37.5%	20.8%	29.2%	4.2%	0.0%	8.3%
	配偶者のみ仕事がある	35	17	4	1	0	7	6	13	9	5	0	2	6
		100.0%	48.6%	11.4%	2.9%	0.0%	20.0%	17.1%	37.1%	25.7%	14.3%	0.0%	5.7%	17.1%
	男性	86	27	14	7	0	32	6	17	28	34	0	5	2
		100.0%	31.4%	16.3%	8.1%	0.0%	37.2%	7.0%	19.8%	32.6%	39.5%	0.0%	5.8%	2.3%
	二人とも仕事がある	29	8	4	3	1	13	0	7	7	14	0	1	0
		100.0%	27.6%	13.8%	10.3%	3.4%	44.8%	0.0%	24.1%	24.1%	48.3%	0.0%	3.4%	0.0%
	自分のみ仕事がある	13	4	1	1	2	5	0	2	2	7	1	1	0
		100.0%	30.8%	7.7%	7.7%	15.4%	38.5%	0.0%	15.4%	15.4%	53.8%	7.7%	7.7%	0.0%
	配偶者のみ仕事がある	52	17	7	6	0	16	6	11	11	18	2	4	6
		100.0%	32.7%	13.5%	11.5%	0.0%	30.8%	11.5%	21.2%	21.2%	34.6%	3.8%	7.7%	11.5%
	どちら働きもない	38	16	6	1	0	12	3	16	9	12	0	0	1
		100.0%	42.1%	15.8%	2.6%	0.0%	31.6%	7.9%	42.1%	23.7%	31.6%	0.0%	0.0%	2.6%
性・職業別	女性	39	15	4	3	0	12	5	10	14	13	1	0	1
		100.0%	38.5%	10.3%	7.7%	0.0%	30.8%	12.8%	25.6%	35.9%	33.3%	2.6%	0.0%	2.6%
	正規雇用者	13	3	3	1	0	6	0	5	2	5	0	1	0
		100.0%	23.1%	23.1%	7.7%	0.0%	46.2%	0.0%	38.5%	15.4%	38.5%	0.0%	7.7%	0.0%
	非正規雇用者	29	12	1	2	0	19	12	28	18	16	1	2	14
		100.0%	41.4%	3.4%	6.9%	0.0%	65.5%	41.4%	96.5%	62.1%	55.2%	3.4%	6.9%	48.3%
	自営業者	79	35	9	4	0	19	12	28	18	16	1	2	14
		100.0%	44.3%	11.4%	5.1%	0.0%	24.1%	15.2%	35.4%	22.8%	20.3%	1.3%	2.5%	17.7%
	無職	65	22	9	2	1	27	4	15	19	27	0	2	2
		100.0%	33.8%	13.8%	3.1%	1.5%	41.5%	6.2%	23.1%	29.2%	41.5%	0.0%	3.1%	3.1%
	男性	28	7	8	4	0	8	1	5	11	9	0	2	1
		100.0%	25.0%	28.6%	14.3%	0.0%	28.6%	3.6%	17.9%	39.3%	32.1%	0.0%	7.1%	3.6%
	正規雇用者	16	3	1	3	0	8	1	2	6	7	0	1	0
		100.0%	18.8%	6.3%	18.8%	0.0%	50.0%	6.3%	12.5%	37.5%	43.8%	0.0%	6.3%	0.0%
	非正規雇用者	73	24	9	8	2	23	7	13	14	31	3	6	6
		100.0%	32.9%	12.3%	11.0%	2.7%	31.5%	9.6%	17.8%	19.2%	42.5%	4.1%	8.2%	8.2%
	自営業者	73	24	9	8	2	23	7	13	14	31	3	6	6
		100.0%	32.9%	12.3%	11.0%	2.7%	31.5%	9.6%	17.8%	19.2%	42.5%	4.1%	8.2%	8.2%
	無職	73	24	9	8	2	23	7	13	14	31	3	6	6
		100.0%	32.9%	12.3%	11.0%	2.7%	31.5%	9.6%	17.8%	19.2%	42.5%	4.1%	8.2%	8.2%

カ 性別による固定的な役割分担に対する考え方別（図表 2-(1)-8）

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という性別による固定的な役割分担に対する考え方について「どちらかといえば反対」と「反対」と回答した人の方が、「賛成」と「どちらかといえば賛成」と回答した人より、家事や育児、介護・看護、地域活動において「妻が多く分担」と回答した割合が高い傾向にある。

図表 2-(1)-8 家庭生活・地域活動における夫婦の役割分担【性別による固定的な役割分担に対する考え方別】

宇検村			妻が多く分担	夫が多く分担	半分ずつ分担	その他の方法で分担	該当なし	無回答
家事	賛成	(n=18)	44.4%	11.1%	22.2%	5.6%	0.0%	16.7%
	どちらかといえば賛成	(n=93)	65.6%	9.7%	16.1%	4.3%	0.0%	4.3%
	どちらかといえば反対	(n=138)	68.1%	13.8%	10.9%	3.6%	0.0%	3.6%
	反対	(n=103)	70.9%	9.7%	16.5%	2.9%	0.0%	0.0%
育児	賛成	(n=18)	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%	11.1%	22.2%
	どちらかといえば賛成	(n=93)	51.6%	6.5%	11.8%	4.3%	12.9%	12.9%
	どちらかといえば反対	(n=138)	55.1%	5.8%	14.5%	1.4%	15.2%	8.0%
	反対	(n=103)	59.2%	1.0%	13.6%	0.0%	20.4%	5.8%
介護・看護	賛成	(n=18)	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	44.4%	22.2%
	どちらかといえば賛成	(n=93)	37.6%	10.8%	17.2%	2.2%	24.7%	7.5%
	どちらかといえば反対	(n=138)	37.0%	9.4%	16.7%	1.4%	28.3%	7.2%
	反対	(n=103)	35.9%	1.9%	9.7%	0.0%	44.7%	7.8%
地域活動	賛成	(n=18)	16.7%	27.8%	16.7%	0.0%	5.6%	33.3%
	どちらかといえば賛成	(n=93)	24.7%	35.5%	26.9%	3.2%	4.3%	5.4%
	どちらかといえば反対	(n=138)	31.2%	34.1%	23.2%	1.4%	3.6%	6.5%
	反対	(n=103)	27.2%	35.0%	30.1%	0.0%	4.9%	2.9%

④の分担方法

■家事

- ・ ケースバイケース(20・50 代男性)
- ・ できる人ができることを行う。(20・40・50 代男性)
- ・ 単身赴任(40 代男性)
- ・ 得意分野で分担(50 代男性)

■育児

- ・ 0～1 歳は配偶者、後はケースバイケース(50 代男性)
- ・ ケースバイケース(70 代男性)

■介護・看護

- ・ ケースバイケース。決めることではない。(70 代男性)

■地域活動

- ・ それぞれの団体で活動している。(50 代女性)
- ・ 両方参加(50 代女性、70 代男性)
- ・ 各自の判断(70 代男性)
- ・ できる方ができることを行う。割合を考えたことがない。(50 代男性)

(2) 男性が家庭や地域活動に積極的に参加するために必要なこと

Q8 男性が家事や育児、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なこと（複数回答）【問7】

- | | |
|---|-----------------------------|
| ①男性が家事・育児に参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす | 『男性の家事・育児の抵抗感をなくす』 |
| ②男性が育児・家事に参加することに対する女性の抵抗感をなくす | 『男性が家事・育児をすることへの女性の抵抗感をなくす』 |
| ③夫婦や家族間のコミュニケーションをよくはかる | 『夫婦や家族間のコミュニケーション』 |
| ④年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重する | 『周囲が当事者の考え方を尊重』 |
| ⑤社会の中で、男性による家事・育児などの評価を高める | 『社会的評価を高める』 |
| ⑥男性による育児・家事などについて、職場における上司や周囲の理解を進める | 『職場の理解』 |
| ⑦労働時間の短縮や休暇制度、テレワークなどの多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること | 『多様な働き方の普及により仕事以外の時間を確保』 |
| ⑧男性の育児・家事などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行う | 『啓発や情報提供、相談、研修』 |
| ⑨男性が育児・家事などを行うための、仲間づくりやネットワークづくりをすすめる | 『男性の仲間づくり』 |
| ⑩その他 | |

ア 総計（図表 2-(2)-1)

男性が家事や育児、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なことについて訊いたところ、『夫婦や家族間のコミュニケーション(64.2%)』と回答した割合が最も高く、次いで『男性の家事・育児の抵抗感をなくす』(45.3%)、『職場の理解』(45.1%)、『周囲が当事者の考え方を尊重』(37.6%)、『社会的評価を高める』(37.2%)。

イ 性別（図表 2-(2)-1)

- ・ 女性は、ほとんどの項目で男性より回答した割合が高いが、男女の差は小さく、最も差があるのは『社会的評価を高める』の 10.6 ポイント。
- ・ 男女とも『夫婦や家族間のコミュニケーション』と回答した割合が最も高い(女性 65.3%、男性 63.3%)。次いで、女性は『職場の理解』(49.8%)『男性の家事・育児の抵抗感をなくす』(48.2%)、『社会的評価を高める』(43.3%)、男性は『男性の家事・育児の抵抗感をなくす』(43.0%)、『職場の理解』(42.2%)。

ウ 奄美大島 4 町村・県・内閣府調査との比較（図表 2-(2)-1)

- ・ 奄美大島 4 町村の調査と比較すると、同様の傾向にある。
- ・ 県調査と比較すると、『啓発や情報提供、相談、研修』以外の項目で回答した割合が高くなっている。特に、『周囲が当事者の考え方を尊重』(21.0 ポイント)、『社会的評価を高める』(16.9 ポイント)が高い。
- ・ 内閣府調査と比較すると、『職場の理解』や『多様な働き方の普及により仕事以外の時間を確保』(△21.6 ポイントと△18.5 ポイント)をはじめ『夫婦や家族間のコミュニケーション』以外のすべての項目で回答した割合が低い。

図表 2-(2)-1 男性の家事や地域活動への参加に必要なこと（複数回答）【総計、性別、奄美大島 4 町村、県・内閣府調査】

宇検村			男性の家事・育児の抵抗感をなくす	男性が家事・育児をすることへの女性の抵抗感をなくす	夫婦や家族間のコミュニケーション	周囲が当事者の考え方を尊重	社会的評価を高める	職場の理解	多様な働き方の普及により仕事以外の時間を確保	啓発や情報提供、相談、研修	男性の仲間づくり	その他	無回答
今回調査	総計	(n=508)	45.3%	18.1%	64.2%	37.6%	37.2%	45.1%	28.3%	18.1%	23.0%	1.6%	3.3%
	女性	(n=245)	48.2%	18.0%	65.3%	40.4%	43.3%	49.8%	30.2%	18.8%	26.1%	2.4%	3.7%
	男性	(n=251)	43.0%	18.3%	63.3%	35.9%	32.7%	42.2%	27.5%	18.3%	20.7%	0.8%	2.8%
奄美大島 4 町村	総計	(n=2,147)	47.0%	19.8%	63.5%	41.0%	39.9%	55.0%	34.4%	20.2%	22.0%	1.7%	2.7%
	女性	(n=1,109)	51.7%	22.6%	67.5%	46.6%	43.8%	61.1%	37.7%	20.8%	24.5%	2.2%	2.3%
	男性	(n=990)	42.9%	16.6%	59.5%	35.6%	36.4%	49.4%	31.7%	19.6%	19.5%	1.3%	2.4%
県調査	総計	(n=2,094)	31.6%	...	53.1%	16.6%	20.3%	...	23.3%	27.3%	7.4%	...	3.5%
	女性	(n=1,200)	32.9%	...	51.5%	18.7%	21.1%	...	22.8%	25.7%	7.3%	...	3.6%
	男性	(n=875)	29.8%	...	55.4%	13.9%	19.1%	...	24.0%	29.7%	7.4%	...	3.3%
内閣府調査	総計	(n=2,847)	60.7%	...	61.8%	44.5%	44.5%	66.7%	46.8%	24.1%	24.1%	...	1.8%
	女性	(n=1,534)	66.7%	...	65.1%	52.5%	44.5%	72.3%	48.3%	25.3%	26.5%	...	1.8%
	男性	(n=1,313)	53.7%	...	58.0%	35.1%	44.4%	60.2%	44.9%	22.7%	21.2%	...	1.9%

※割合＝当該項目選択者数／調査回答者数

※県調査、内閣府調査では選択項目がないものがある。

エ 性・年代別、性・職業別（図表 2-(2)-2）

- 『夫婦や家族間のコミュニケーション』と回答した割合は、ほとんどの年代及び職業で 6 割を超えており、特に「自営業」の男女と 29 歳以下の女性で高い。
- 『男性の家事・育児への抵抗感をなくす』と回答した割合は、40 代と 30 代の女性及び「自営業」の男女で 7 割を超えて突出して高い。
- 『職場の理解』と回答した割合は、50 代以下の女性、40 代と 50 代の男性、「正規雇用者」の女性、「自営業」の男女で 6 割を超え、特に 30 代と 40 代女性が高い(77.8%、77.3%)。
- 『男性が家事・育児をすることへの女性の抵抗感をなくす』と回答した割合は、40 代の女性と自営業の女性が高い。

図表 2-(2)-2 男性の家事や地域活動への参加に必要なこと（複数回答）【性・年代別、性・職業別】

		サンプル数	男性の家事・育児の抵抗感をなくす	男性の女性が家事・育児をすることへの抵抗感をなくす	夫婦や家族間のコミュニケーション	周囲が当事者の考え方を尊重	社会的評価を高める	職場の理解	多様な働き方の普及により仕事以外の時間を確保	啓発や情報提供、相談、研修	男性の仲間づくり	その他	無回答
総計		508	230	92	326	191	189	229	144	92	117	8	17
性・年代別	女性	-	45.3%	18.1%	64.2%	37.6%	37.2%	45.1%	28.3%	18.1%	23.0%	1.6%	3.3%
		245	118	44	160	99	106	122	74	46	64	6	9
		-	48.2%	18.0%	65.3%	40.4%	43.3%	49.8%	30.2%	18.8%	26.1%	2.4%	3.7%
		18～29歳	6	3	1	5	2	2	4	4	0	0	0
		-	50.0%	16.7%	83.3%	33.3%	33.3%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		30～39歳	9	7	2	4	4	7	7	2	2	0	0
		-	77.8%	22.2%	44.4%	44.4%	44.4%	77.8%	77.8%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%
		40～49歳	22	18	8	11	16	17	13	7	7	2	0
		-	81.8%	36.4%	50.0%	72.7%	72.7%	77.3%	59.1%	31.8%	31.8%	9.1%	0.0%
		50～59歳	35	19	8	23	13	19	22	8	7	3	1
		-	54.3%	22.9%	65.7%	37.1%	54.3%	62.9%	28.6%	22.9%	20.0%	8.6%	2.9%
		60～69歳	62	29	9	43	22	32	30	21	14	1	1
		-	46.8%	14.5%	69.4%	35.5%	51.6%	48.4%	33.9%	22.6%	27.4%	1.6%	1.6%
		70～79歳	68	27	7	47	25	20	23	13	16	0	4
		-	39.7%	10.3%	69.1%	36.8%	29.4%	33.8%	19.1%	16.2%	23.5%	0.0%	5.9%
		80歳以上	33	12	6	20	13	8	13	3	10	0	3
		-	36.4%	18.2%	60.6%	39.4%	24.2%	39.4%	9.1%	9.1%	30.3%	0.0%	9.1%
	男性	251	108	46	159	90	82	106	69	46	52	2	7
		-	43.0%	18.3%	63.3%	35.9%	32.7%	42.2%	27.5%	18.3%	20.7%	0.8%	2.8%
		18～29歳	8	3	1	3	1	1	4	1	1	0	2
		-	37.5%	12.5%	37.5%	12.5%	12.5%	50.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	25.0%
		30～39歳	6	0	0	4	0	3	0	0	1	0	0
		-	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	50.0%	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
		40～49歳	18	9	2	10	6	9	12	7	4	0	1
		-	50.0%	11.1%	55.6%	33.3%	50.0%	66.7%	38.9%	22.2%	22.2%	0.0%	5.6%
		50～59歳	40	16	8	26	12	13	24	9	11	0	1
性・職業別	女性	-	40.0%	20.0%	65.0%	30.0%	32.5%	60.0%	22.5%	17.5%	27.5%	0.0%	2.5%
		66	34	14	42	24	24	31	23	12	13	2	0
		-	51.5%	21.2%	63.6%	36.4%	36.4%	47.0%	34.8%	18.2%	19.7%	3.0%	0.0%
		74	29	9	50	33	19	23	20	14	14	0	3
	男性	-	39.2%	12.2%	67.6%	44.6%	25.7%	31.1%	27.0%	18.9%	18.9%	0.0%	4.1%
		28	12	7	17	9	9	8	4	7	6	0	0
		-	42.9%	25.0%	60.7%	32.1%	32.1%	28.6%	14.3%	25.0%	21.4%	0.0%	0.0%
		46	27	10	27	19	26	29	24	8	11	2	2
	女性	-	58.7%	21.7%	58.1%	41.3%	56.5%	63.0%	52.2%	17.4%	23.9%	4.3%	4.3%
		53	31	8	36	23	27	28	15	10	12	0	0
		-	58.5%	15.1%	67.9%	43.4%	50.9%	52.8%	28.3%	18.9%	22.6%	0.0%	0.0%
		11	11	6	10	8	9	9	8	4	3	3	1
	男性	-	100.0%	54.5%	90.9%	72.7%	81.8%	81.8%	72.7%	36.4%	27.3%	27.3%	9.1%
		114	43	17	75	43	39	48	23	22	31	1	6
		-	37.7%	14.9%	65.8%	37.7%	34.2%	42.1%	20.2%	19.3%	27.2%	0.9%	5.3%
		79	35	15	47	21	31	41	26	13	19	2	1
	女性	-	44.3%	19.0%	59.5%	26.6%	39.2%	51.9%	32.9%	16.5%	24.1%	2.5%	1.3%
		32	7	2	20	11	11	13	9	4	5	0	3
		-	21.9%	6.3%	62.5%	34.4%	34.4%	40.6%	28.1%	12.5%	15.6%	0.0%	9.4%
		20	15	3	14	10	6	12	5	3	3	0	1
	男性	-	75.0%	15.0%	70.0%	50.0%	30.0%	60.0%	25.0%	15.0%	15.0%	0.0%	5.0%
		97	43	21	66	42	29	33	25	23	23	0	2
		-	44.3%	21.6%	68.0%	43.3%	29.9%	34.0%	25.8%	23.7%	23.7%	0.0%	2.1%

「⑩その他」

- 子供世代に伝えていくこと(40 代女性)
- 小さい頃から家事をすることが当たり前という考えを持たせる。(40 代女性)
- 男性が家事や育児をしようという意識が薄い気がする。(50 代女性)
- 男性が仕事と両立することは今のところは大変であると思う。制度を変える必要がある。(60 代男性)
- 男性が子育てや家事をしている、または両性とも家事をせず、有償のサービスや無償のサポートを利用しても当たり前と思えるようにドラマやマンガなどで描いてほしい。(50 代女性)
- 男性は自分の子どもを育てることを第一に、妻と助け合うことを強く思い、しっかり話し合いをして、子育てを楽しんでほしい。(60 代女性)
- 家事ができないと都会で生活できないことを伝えておく。いつか街に出る子ども達が恥をかく。(50 代女性)
- 女性のリーダーを増やすこと(60 代男性)

3 子育てに関する考え方について

Q9 次のアからウの子育ての考え方についての賛否【問8】

ア 「男女ともに同等に経済的自立ができるよう職業人としての教育が必要」という考え方

『男女同等に経済的自立ができるための教育』

イ 「男女ともに炊事・掃除・洗濯など生活に必要な技術を身につけるほうがよい」という考え方

『男女ともに家事など生活に必要な技術の習得』

ウ 「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたほうがよい」という考え方

『男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる』

①賛成 ②どちらかという賛成 ③どちらかという反対 ④反対

ア 総計（図表 3-1～3）

- 子育ての考え方について訊いたところ、『男女同等に経済的自立ができるための教育』と『男女ともに家事など生活に必要な技術の習得』について、「賛成」又は「どちらかという賛成」（『賛成計』）と回答した割合は、それぞれ 90.9%と 91.7%となっている。
- 『男女同等に経済的自立ができるための教育』より『男女ともに家事など生活に必要な技術の習得』の方が、「賛成」と回答した割合が高い。
- 『男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる』考え方については、「賛成」又は「どちらかという賛成」と回答した割合は 53.9%、「反対」又は「どちらかという反対」と回答した割合は 39.0%。

イ 性別（図表 3-1～3）

- 『男女同等に経済的自立ができるための教育』と『男女ともに家事など生活に必要な技術の習得』について、「賛成」又は「どちらかという賛成」と回答した割合は、男女同程度でともに高い。
- 『男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる』考え方について、女性では「反対」又は「どちらかという反対」と回答した割合（49.8%）が「賛成」又は「どちらかという賛成」と回答した割合（42.0%）より高くなっているが、男性では逆転し「賛成」又は「どちらかという賛成」と回答した割合（65.3%）が高い。

ウ 前回調査との比較（図表 3-1～3）

- 『男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる』考え方について前回調査と比較すると、「反対」と「どちらかといえば反対」と回答した割合が上昇し、「賛成」と「どちらかといえば賛成」回答した割合が低下。特に、女性では「どちらかといえば反対」と回答した割合が大きく上昇し、男性では「賛成」と回答した割合が大きく低下した。

エ 奄美4町村調査との比較（図表 3-1～3）

- 『男女同等に経済的自立ができるための教育』と『男女ともに家事など生活に必要な技術の習得』についてはほぼ同様の傾向。
- 『男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる』考え方については、男女とも「賛成」と回答した割合が高く、「反対」及び「どちらかという反対」と回答した割合が低くなっている。

オ 全国調査との比較（図表 3-1～3）

- 『男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる』考え方について、「賛成」と回答した割合が高く、「反対」及び「どちらかという反対」と回答した割合が低くなっている。

図表 3-1 子育ての考え方（男女同等に経済的自立ができるための教育）【総計、性別、奄美大島4町村】

宇検村			賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	無回答	賛成計	反対計
今回調査	総計	(n=508)	48.4%	42.5%	2.6%	0.2%	6.3%	90.9%	2.8%
	女性	(n=245)	46.5%	44.9%	2.9%	0.0%	5.7%	91.4%	2.9%
	男性	(n=251)	51.0%	41.0%	2.0%	0.4%	5.6%	92.0%	2.4%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	51.1%	39.8%	2.9%	0.7%	5.4%	90.9%	3.6%
	女性	(n=1,109)	52.5%	39.3%	2.5%	0.3%	5.4%	91.8%	2.8%
	男性	(n=990)	50.4%	40.8%	3.3%	1.0%	4.4%	91.2%	4.3%

図表 3-2 子育ての考え方（男女ともに家事など生活に必要な技術の習得）【総計、性別、奄美大島 4 町村】

宇検村			賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	無回答	賛成計	反対計
今回調査	総計	(n=508)	56.9%	34.8%	3.1%	0.0%	5.1%	91.7%	3.1%
	女性	(n=245)	64.5%	29.8%	1.6%	0.0%	4.1%	94.3%	1.6%
	男性	(n=251)	51.0%	39.0%	4.8%	0.0%	5.2%	90.0%	4.8%
奄美大島 4 町村	総計	(n=2,147)	64.0%	29.5%	2.6%	0.3%	3.6%	93.5%	2.8%
	女性	(n=1,109)	68.0%	26.7%	1.7%	0.1%	3.5%	94.7%	1.8%
	男性	(n=990)	60.7%	32.7%	3.2%	0.4%	2.9%	93.4%	3.6%

図表 3-3 子育ての考え方（男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる）【総計、性別、前回調査、奄美大島 4 町村、全国調査】

宇検村			賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	無回答	賛成計	反対計
今回調査	総計	(n=508)	21.7%	32.3%	25.6%	13.4%	7.1%	53.9%	39.0%
	女性	(n=245)	15.9%	26.1%	33.5%	16.3%	8.2%	42.0%	49.8%
	男性	(n=251)	27.5%	37.8%	19.1%	10.8%	4.8%	65.3%	29.9%
前回調査	総計	(n=1,055)	38.1%	21.7%	2.2%	8.2%	29.9%	59.8%	10.4%
	女性	(n=444)	32.7%	23.0%	2.4%	9.9%	32.0%	55.7%	12.3%
	男性	(n=553)	48.4%	21.8%	2.3%	6.3%	21.2%	70.2%	8.6%
奄美大島 4 町村	総計	(n=2,147)	16.6%	33.6%	27.8%	16.9%	5.2%	50.2%	44.7%
	女性	(n=1,109)	9.9%	28.8%	33.8%	21.7%	5.8%	38.7%	55.5%
	男性	(n=990)	23.7%	39.0%	21.7%	11.8%	3.7%	62.7%	33.5%
全国調査	総計	(n=4,621)	6.4%	36.4%	35.1%	22.1%	0.0%	42.8%	57.2%

※前回調査の「無回答」には「どちらとも言えない」を含む。

※全国調査は、2022 年社会保障・人口問題基本調査「第 7 回全国家庭行動調査」（国立社会保障・人口問題研究所）

エ 性・年代別（図表 3-4）

- 『男女同等に経済的自立ができるための教育』について、「賛成」と回答した割合が最も高いのは 30 代の男性(83.3%)、次いで 40 代の男性(61.1%)となっている。
- 『男女ともに家事など生活に必要な技術の習得』について、「賛成」と回答した割合が最も高いのは 30 代の女性(88.9%)、次いで 40 代女性(72.7%)。50～70 代の女性と 30 代及び 40 代の男性で 6 割を超えている。
- 『男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる』考え方について、「賛成」と回答した割合は年代が高いほど高い傾向にある。
- 『男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる』考え方について、「反対」と回答した割合が最も高いのは 40 代の女性(40.9%)で、「どちらかという反対」を含めると 8 割を超える。次いで、30 代の男女が 6 割を超えている。

オ 中学生以下の子どもがいる人（図表 3-4）

- 中学生以下の子どもがいる人は、『男女同等に経済的自立ができるための教育』と『男女ともに家事など生活に必要な技術の習得』について、「賛成」と回答した割合が総計の割合より高くなっている。
- 『男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる』考え方については、「反対」と「どちらかといえば反対」と回答した割合(59.2%)が総計より 20.2 ポイント高くなっている。

図表 3-4 子育ての考え方【性・年代別、中学生以下の子どもがいる者】

		サ ン プ ル 数	男女同等に経済的自立ができるための教育					男女ともに家事など生活に必要な技術の習得					男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる				
			賛 成	い ど え ち ば ら 賛 か 成 と	い ど え ち ば ら 反 か 対 と	反 対	無 回 答	賛 成	い ど え ち ば ら 賛 か 成 と	い ど え ち ば ら 反 か 対 と	反 対	無 回 答	賛 成	い ど え ち ば ら 賛 か 成 と	い ど え ち ば ら 反 か 対 と	反 対	無 回 答
総計		508	246	216	13	1	32	289	177	16	0	26	110	164	130	68	36
		100.0%	48.4%	42.5%	2.6%	0.2%	6.3%	56.9%	34.8%	3.1%	0.0%	5.1%	21.7%	32.3%	25.6%	13.4%	7.1%
性・年代別	女性	245	114	110	7	0	14	158	73	4	0	10	39	64	82	40	20
		100.0%	46.5%	44.9%	2.9%	0.0%	5.7%	64.5%	29.8%	1.6%	0.0%	4.1%	15.9%	26.1%	33.5%	16.3%	8.2%
	18～29歳	6	3	2	0	0	1	3	2	0	0	1	0	2	1	2	1
		100.0%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%
	30～39歳	9	4	5	0	0	0	8	1	0	0	0	2	1	4	2	0
		100.0%	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	11.1%	44.4%	22.2%	0.0%
	40～49歳	22	13	7	2	0	0	16	5	0	0	1	0	2	10	9	1
		100.0%	59.1%	31.8%	9.1%	0.0%	0.0%	72.7%	22.7%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	9.1%	45.5%	40.9%	4.5%
	50～59歳	35	16	19	0	0	0	23	10	2	0	0	3	10	13	8	1
		100.0%	45.7%	54.3%	0.0%	0.0%	0.0%	65.7%	28.6%	5.7%	0.0%	0.0%	8.6%	28.6%	37.1%	22.9%	2.9%
	60～69歳	62	31	26	4	0	1	43	18	0	0	1	6	17	26	11	2
		100.0%	50.0%	41.9%	6.5%	0.0%	1.6%	69.4%	29.0%	0.0%	0.0%	1.6%	9.7%	27.4%	41.9%	17.7%	3.2%
	70～79歳	68	31	32	0	0	5	44	20	1	0	3	16	19	19	6	8
		100.0%	45.6%	47.1%	0.0%	0.0%	7.4%	64.7%	29.4%	1.5%	0.0%	4.4%	23.5%	27.9%	27.9%	8.8%	11.8%
	80歳以上	33	13	14	1	0	5	17	12	1	0	3	12	9	5	1	6
		100.0%	39.4%	42.4%	3.0%	0.0%	15.2%	51.5%	36.4%	3.0%	0.0%	9.1%	36.4%	27.3%	15.2%	3.0%	18.2%
	男性	251	128	103	5	1	14	128	98	12	0	13	69	95	48	27	12
		100.0%	51.0%	41.0%	2.0%	0.4%	5.6%	51.0%	39.0%	4.8%	0.0%	5.2%	27.5%	37.8%	19.1%	10.8%	4.8%
	18～29歳	8	2	5	0	0	1	2	5	0	0	1	2	3	2	0	1
		100.0%	25.0%	62.5%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	62.5%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	37.5%	25.0%	0.0%	12.5%
	30～39歳	6	5	1	0	0	0	4	2	0	0	0	0	2	1	3	0
		100.0%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	50.0%	0.0%
	40～49歳	18	11	5	0	1	1	12	5	0	0	1	5	6	2	4	1
		100.0%	61.1%	27.8%	0.0%	5.6%	5.6%	66.7%	27.8%	0.0%	0.0%	5.6%	27.8%	33.3%	11.1%	22.2%	5.6%
	50～59歳	40	23	16	1	0	0	23	15	2	0	0	6	18	10	6	0
		100.0%	57.5%	40.0%	2.5%	0.0%	0.0%	57.5%	37.5%	5.0%	0.0%	0.0%	15.0%	45.0%	25.0%	15.0%	0.0%
	60～69歳	66	35	26	3	0	2	39	23	2	0	2	16	26	15	7	2
		100.0%	53.0%	39.4%	4.5%	0.0%	3.0%	59.1%	34.8%	3.0%	0.0%	3.0%	24.2%	39.4%	22.7%	10.6%	3.0%
	70～79歳	74	33	34	1	0	6	28	34	6	0	6	19	29	14	5	7
		100.0%	44.6%	45.9%	1.4%	0.0%	8.1%	37.8%	45.9%	8.1%	0.0%	8.1%	25.7%	39.2%	18.9%	6.8%	9.5%
	80歳以上	28	13	12	0	0	3	13	11	2	0	2	16	8	3	1	0
		100.0%	46.4%	42.9%	0.0%	0.0%	10.7%	46.4%	39.3%	7.1%	0.0%	7.1%	57.1%	28.6%	10.7%	3.6%	0.0%
中学生以下の子どもあり		49	26	18	2	1	2	32	15	0	0	2	6	12	16	13	2
		100.0%	53.1%	36.7%	4.1%	2.0%	4.1%	65.3%	30.6%	0.0%	0.0%	4.1%	12.2%	24.5%	32.7%	26.5%	4.1%

※全国調査では、「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたほうがいい」という考え方について、「反対」と「どちらかといえば反対」の割合は、
29歳以下 70.0%、30代 72.9%、40代 67.1%、50代 58.3%、60代 54.6%、70歳以上 38.7%。

4 職場生活について

(1) 職場における性別による格差の状況

Q10 職場における性別による格差の状況（複数回答）【問 10】

①募集・採用の機会に男女で格差がある	『募集・採用の機会』
②賃金に男女で格差がある	『賃金』
③女性を補助的な業務や雑用に従事させる傾向にある	『女性に補助・雑用業務』
④昇進・昇格に男女で格差がある	『昇進・昇格』
⑤管理職の登用に男女で差がある	『管理職登用』
⑥女性に結婚や出産により退職する慣例や雰囲気がある	『女性の結婚・出産退職の慣行・雰囲気』
⑦中高年女性には退職を促すような雰囲気がある	『中年女性に退職を促す雰囲気』
⑧研修や教育訓練、出張・視察などの機会に男女で差がある	『研修、出張等の機会』
⑨男性は育児休業や介護休業を取りにくい雰囲気がある	『男性が育児・介護休業を取得しづらい』
⑩男女ともに育児休業や介護休業を取りにくい雰囲気がある	『男女とも育児・介護休業を取得しづらい』
⑪同じ職場に夫婦が働いている場合、どちらかは働き続けにくい雰囲気がある	『夫婦で同じ職場で働き続けにくい雰囲気』
⑫正規雇用と非正規雇用で処遇の格差が大きい	『正規と非正規による処遇格差』
⑬その他	
⑭性別による格差はない	『男女格差なし』

ア 総計（図表 4-(1)-1）

- ・雇用されて仕事をしている人に職場における性別による格差について聞いたところ、『男女格差なし』(30.5%)と回答した割合が最も高く、次いで『男性が育児・介護休業を取得しづらい』(21.9%)、『正規と非正規による処遇の格差』(19.0%)。
- ・『賃金』や『女性に補助・雑用業務』、『管理職登用』は 12～14%。

イ 性別・性・年代別（図表 4-(1)-1,2）

- ・『管理職登用』と『男女とも育児・介護休業を取得しづらい』で、女性が男性より回答した割合がそれぞれ 6.3 ポイント、7.5 ポイント高く、『募集・採用』では、男性が女性より回答した割合が 7.4 ポイント高くなっている。
- ・『男性が育児・介護休業を取得しづらい』と回答した割合は 30、50 代の女性(50.0%、32.0%)と 50 代男性(33.3%)で高く、『管理職登用』は 40 代以下の女性で高い。
- ・『正規と非正規による処遇の格差』と回答した割合が高いのは、40 代の女性(29.4%)。
- ・『男女格差なし』と回答した割合が高いのは、29 歳以下の女性と 40 代の男性(ともに 60.0%)。次いで、29 歳以下の男性(37.5%)、70 代男性(35.3%)。

ウ 奄美大島 4 町村・県調査との比較（図表 4-(1)-1）

- ・奄美大島 4 町村の調査と比較すると、ほぼ同様の傾向だが、『正規と非正規による処遇の格差』と回答した割合(19.0%)が 7.4 ポイント低い。
- ・県調査と比較すると、『男女格差なし』と回答した割合が特に女性で低くなっている(22.5 ポイント)。『管理職登用』については、女性が 6.3 ポイント高い一方、男性は 7.5 ポイント低い。また、『男性が育児・介護休業を取得しづらい』と回答した割合は、女性で 13.5 ポイント、男性で 5.6 ポイント高い。

図表 4-(1)-1 職場における性別による格差の状況（複数回答）【総計、性別、奄美大島4町村、県調査】

宇検村 今回調査		募集・採用	賃金	女性に補助・雑用業務	昇進・昇格	管理職登用	女性の結婚・出産退職の慣行・雰囲気	中年女性に退職を促す雰囲気	研修、出張等の機会	男性が育児・介護休業を取得しづらい	男女とも育児・介護休業を取得しづらい	夫婦で同じ職場で働き続けにくい雰囲気	正規と非正規による処遇格差	その他	男女格差なし	無回答	
		総計 (n=210)	10.0%	14.3%	13.3%	8.1%	12.9%	3.3%	1.9%	2.9%	21.9%	7.1%	2.9%	19.0%	1.4%	30.5%	18.1%
		女性 (n=99)	6.1%	14.1%	13.1%	9.1%	16.2%	2.0%	1.0%	5.1%	22.2%	11.1%	4.0%	20.2%	1.0%	28.3%	17.2%
		男性 (n=111)	13.5%	14.4%	13.5%	7.2%	9.9%	4.5%	2.7%	0.9%	21.6%	3.6%	1.8%	18.0%	1.8%	32.4%	18.9%
奄美大島 4町村	総計 (n=958)	9.4%	10.4%	15.3%	10.8%	15.1%	6.1%	2.0%	4.2%	23.7%	9.7%	4.3%	26.4%	1.6%	29.9%	12.5%	
	女性 (n=494)	8.7%	10.5%	17.0%	13.0%	16.0%	5.7%	2.8%	4.9%	22.1%	12.1%	5.1%	26.9%	1.8%	30.8%	12.1%	
	男性 (n=461)	10.2%	10.4%	13.4%	8.5%	14.1%	6.3%	1.1%	3.5%	25.2%	6.9%	3.5%	25.6%	1.3%	28.9%	13.0%	
県調査	総計 (n=1,023)	8.0%	15.1%	12.7%	12.4%	13.2%	6.2%	2.0%	3.6%	11.8%	...	3.6%	...	2.6%	45.7%	11.1%	
	女性 (n=585)	4.1%	13.2%	12.3%	10.8%	9.9%	6.0%	2.4%	3.2%	8.7%	...	3.9%	...	2.6%	50.8%	10.9%	
	男性 (n=431)	13.2%	17.6%	13.0%	14.4%	17.4%	6.3%	1.4%	3.9%	16.0%	...	3.0%	...	2.8%	39.2%	11.6%	

※各項目回答者数÷雇用者数

※県調査では、「男性が育児・介護休業を取得しづらい」「育児・介護休業で取りやすさに男女格差がある」、選択項目がないものもある。

図表 4-(1)-2 職場における性別による格差の状況（複数回答）【性・年代別】

		サ ン プ ル 数	差 寡 集 ・ 採 用 の 男 女 格	賃 金 の 男 女 格 差	務 女 性 に 補 助 ・ 雑 用 業	差 昇 進 ・ 昇 格 の 男 女 格	差 管 理 職 登 用 の 男 女 格	職 女 性 の 慣 ・ 婚 ・ 寡 ・ 出 産 退	中 年 女 性 に 退 職 を 促 す	に 研 修 女 、 出 張 等 の 機 会	業 男 性 が 育 児 ・ 介 護 休 を取 得 し づ ・ 介 護 休	休 男 女 と も 得 育 児 ・ 介 護 休	夫 妻 に と も く い 職 場 で 働 き 続 け に く い 雰 囲 で 気 働	処 正 規 と 非 正 規 に よ る 差	そ の 他	男 女 格 差 な し	無 回 答	
総計		210 -	21 10.0%	30 14.3%	28 13.3%	17 8.1%	27 12.9%	7 3.3%	4 1.9%	6 2.9%	46 21.9%	15 7.1%	6 2.9%	40 19.0%	3 1.4%	64 30.5%	38 18.1%	
性・年代別	女性	99 -	6 6.1%	14 14.1%	13 13.1%	9 9.1%	16 16.2%	2 2.0%	1 1.0%	5 5.1%	22 22.2%	11 11.1%	4 4.0%	20 20.2%	1 1.0%	28 28.3%	17 17.2%	
		18～29歳	5 -	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%
		30～39歳	8 -	0 0.0%	1 12.5%	2 25.0%	2 25.0%	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	4 50.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%
		40～49歳	17 -	2 11.8%	2 11.8%	1 5.9%	1 5.9%	5 29.4%	1 5.9%	0 0.0%	3 17.6%	3 17.6%	3 17.6%	1 5.9%	5 29.4%	0 0.0%	4 23.5%	0 0.0%
		50～59歳	25 -	2 8.0%	2 8.0%	5 20.0%	3 12.0%	2 8.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 32.0%	5 20.0%	1 4.0%	4 16.0%	0 0.0%	7 28.0%	4 16.0%
		60～69歳	35 -	0 0.0%	6 17.1%	3 8.6%	2 5.7%	3 8.6%	0 0.0%	1 2.9%	2 5.7%	4 11.4%	3 8.6%	1 2.9%	8 22.9%	0 0.0%	11 31.4%	8 22.9%
		70～79歳	9 -	2 22.2%	3 33.3%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	1 11.1%	4 44.4%
		80歳以上	0 -	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
		男性	111 -	15 13.5%	16 14.4%	15 13.5%	8 7.2%	11 9.9%	5 4.5%	3 2.7%	1 0.9%	24 21.6%	4 3.6%	2 1.8%	20 18.0%	2 1.8%	36 32.4%	21 18.9%
	18～29歳		8 -	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	3 37.5%	2 25.0%
	30～39歳		4 -	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%
	40～49歳		15 -	2 13.3%	0 0.0%	1 6.7%	1 6.7%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 13.3%	0 0.0%	9 60.0%	0 0.0%
	50～59歳		33 -	5 15.2%	7 21.2%	5 15.2%	2 6.1%	4 12.1%	1 3.0%	1 3.0%	0 0.0%	11 33.3%	3 9.1%	0 0.0%	7 21.2%	0 0.0%	10 30.3%	3 9.1%
	60～69歳		34 -	7 20.6%	9 26.5%	4 11.8%	4 11.8%	5 14.7%	2 5.9%	1 2.9%	0 0.0%	6 17.6%	1 2.9%	2 5.9%	8 23.5%	1 2.9%	8 23.5%	8 23.5%
	70～79歳		17 -	1 5.9%	0 0.0%	3 17.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.8%	1 5.9%	1 5.9%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	3 17.6%	0 0.0%	6 35.3%	6 35.3%
	80歳以上		0 -	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

「⑩その他」

- ・ 女性がお茶を出すなどの仕事をしている。(30代女性)
- ・ 正規と非正規での差別感が強い。(60代男性)
- ・ 男性は「作業、危険な現場」、女性は「お茶出し」みたいなものが慣例化している。(20代男性)

(2) 女性が職業生活で能力を発揮するために必要なこと

Q11 女性が職業生活で能力を発揮するために特に必要なこと（回答は1つ）【問11】

- | | |
|---|---------------------------|
| ①長時間労働の是正やテレワークに推進など、男女がともに育児や介護、家事などを担うことができる職場環境の整備 | 『男女が家事・育児・介護等を担える職場環境の整備』 |
| ②休業制度や短時間勤務制度など、仕事と育児や介護の両立を支援するための施策の整備 | 『仕事と育児・介護の両立支援施策の整備』 |
| ③保育所や放課後学童クラブ施設、介護施設など、育児や介護をサポートする施設やサービスの整備 | 『育児・介護の施設やサービスの整備』 |
| ④経営者や管理職の意識改革 | 『経営者や管理職の意識改革』 |
| ⑤男性の家事や育児、介護などへの参画を促進するための意識啓発 | 『男性の家事・育児・介護参加促進の意識啓発』 |
| ⑥女性のキャリアアップを図るための研修やネットワークづくり | 『女性の研修・ネットワークづくり』 |
| ⑦女性の就職・再就職の支援 | 『女性の就職・再就職支援』 |
| ⑧その他 | |

ア 総計（図表4-(2)-1)

女性が職業生活で能力を発揮するために特に必要なことについて訊いたところ、『育児・介護の施設やサービスの整備』(23.6%)と回答した割合が最も高く、次いで『仕事と育児・介護の両立支援施策の整備』(18.1%)、『男女が家事・育児・介護等を担える職場環境の整備』(11.4%)。なお、回答は1つのところを複数の項目を選択した人の回答は「その他」としたため、これらに含まれていない。

イ 性別・性・年代別（図表4-(2)-1,2)

- ・『育児・介護の施設やサービスの整備』と『仕事と育児・介護の両立支援施策の整備』と回答した割合は、女性より男性の方が高く、その他の項目は男女で同じ傾向。
- ・『育児・介護の施設やサービスの整備』と回答した割合が最も高いのは、40代の男性(44.4%)、次いで60代の男性(36.4%)。
- ・『仕事と育児・介護の両立支援施策の整備』と回答した割合が高いのは、30代の男性(50.0%)。
- ・『経営者や管理職の意識改革』と回答した割合が最も高いのは、50代の女性(17.1%)。

ウ 奄美大島4町村調査との比較（図表4-(2)-1)

奄美大島4町村の調査と比較すると、同様の傾向にある。

図表4-(2)-1 女性が職業生活で能力を発揮するために必要なこと（1つ回答）【総計、性別、奄美大島4町村】

宇検村			男女が家事・育児・介護等を担える職場環境の整備	仕事と育児・介護の両立支援施策の整備	育児・介護の施設やサービスの整備	経営者や管理職の意識改革	男性の家事・育児・介護参加促進の意識啓発	女性の研修・ネットワークづくり	女性の就職・再就職支援	その他	無回答
今回調査	総計	(n=508)	11.4%	18.1%	23.6%	9.1%	4.3%	0.8%	7.9%	11.0%	13.8%
	女性	(n=245)	13.1%	16.7%	20.8%	9.4%	5.3%	0.8%	9.0%	11.4%	13.5%
	男性	(n=251)	10.4%	20.3%	27.5%	8.8%	3.6%	0.8%	6.8%	11.2%	10.8%
奄美大島4町村	総計	(n=2,147)	13.9%	17.3%	19.5%	8.9%	4.2%	2.0%	6.5%	16.4%	11.2%
	女性	(n=1,109)	14.2%	18.7%	20.0%	7.2%	3.7%	1.6%	6.9%	17.2%	10.4%
	男性	(n=990)	13.9%	16.5%	19.7%	11.2%	5.1%	2.5%	6.1%	16.1%	9.0%

※「その他」には、1つのみ選択するところを2つ以上選択した者を含む。

図表 4-(2)-2 女性が職業生活で能力を発揮するために必要なこと【性・年代別】

		サ ン プ ル 数	る 児 男 職 ・ 女 場 介 が 環 護 家 境 等 事 の を ・ 整 担 育 備 え	整 の 仕 備 両 事 立 と 支 育 援 児 施 ・ 策 介 の 護	や 育 サ 児 ー ・ ビ 介 ス 護 の の 整 施 備 設	意 経 識 営 改 者 革 や 管 理 職 の	の 児 男 意 ・ 性 識 介 の 啓 護 家 発 参 事 加 ・ 促 育 進	ト 女 ワ 性 ー の ク 研 づ 修 く ・ リ ネ ッ	職 女 支 性 援 の 就 職 ・ 再 就	そ の 他	無 回 答
総計		508	58	92	120	46	22	4	40	56	70
		100.0%	11.4%	18.1%	23.6%	9.1%	4.3%	0.8%	7.9%	11.0%	13.8%
性・年代別	女性	245	32	41	51	23	13	2	22	28	33
		100.0%	13.1%	16.7%	20.8%	9.4%	5.3%	0.8%	9.0%	11.4%	13.5%
	18～29歳	6	2	2	0	0	0	0	0	2	0
		100.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	30～39歳	9	1	1	2	0	1	0	0	4	0
		100.0%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	44.4%	0.0%
	40～49歳	22	1	4	6	1	0	0	2	7	1
		100.0%	4.5%	18.2%	27.3%	4.5%	0.0%	0.0%	9.1%	31.8%	4.5%
	50～59歳	35	6	5	7	6	2	0	3	6	0
		100.0%	17.1%	14.3%	20.0%	17.1%	5.7%	0.0%	8.6%	17.1%	0.0%
	60～69歳	62	10	14	14	8	4	1	5	5	1
		100.0%	16.1%	22.6%	22.6%	12.9%	6.5%	1.6%	8.1%	8.1%	1.6%
	70～79歳	68	8	10	14	6	4	1	6	1	18
		100.0%	11.8%	14.7%	20.6%	8.8%	5.9%	1.5%	8.8%	1.5%	26.5%
	80歳以上	33	3	3	7	1	2	0	4	2	11
		100.0%	9.1%	9.1%	21.2%	3.0%	6.1%	0.0%	12.1%	6.1%	33.3%
	男性	251	26	51	69	22	9	2	17	28	27
		100.0%	10.4%	20.3%	27.5%	8.8%	3.6%	0.8%	6.8%	11.2%	10.8%
	18～29歳	8	0	2	1	0	1	0	0	1	3
		100.0%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	37.5%
	30～39歳	6	1	3	1	0	0	0	0	1	0
		100.0%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
	40～49歳	18	0	5	8	1	0	0	1	1	2
		100.0%	0.0%	27.8%	44.4%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	5.6%	11.1%
	50～59歳	40	2	6	9	5	4	0	4	9	1
		100.0%	5.0%	15.0%	22.5%	12.5%	10.0%	0.0%	10.0%	22.5%	2.5%
	60～69歳	66	11	13	24	4	1	1	1	8	3
		100.0%	16.7%	19.7%	36.4%	6.1%	1.5%	1.5%	1.5%	12.1%	4.5%
	70～79歳	74	5	16	21	8	1	0	8	4	11
		100.0%	6.8%	21.6%	28.4%	10.8%	1.4%	0.0%	10.8%	5.4%	14.9%
	80歳以上	28	5	6	4	3	1	1	2	3	3
		100.0%	17.9%	21.4%	14.3%	10.7%	3.6%	3.6%	7.1%	10.7%	10.7%

「⑧その他」

- ・ 男女共に仕事量を減らす。不要な業務をなくす。(20代男性)
- ・ 能力の向上(60代男性)

5 ジェンダーに起因する暴力について

(1) 交際相手や元交際相手から暴力を受けた経験

Q12 10代又は20代に交際相手や元交際相手から次のような暴力や嫌がらせを受けた経験【問12(1)】

- | | |
|---|---------|
| ① なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力 | 『身体的暴力』 |
| ② 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの嫌がらせ、あるいは、家族に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫をするなどの精神的な暴力 | 『精神的暴力』 |
| ③ 嫌がっているのに性的な行為を強要するなどの性的な暴力 | 『性的暴力』 |
| ④ ①～③のいずれもなかった | |
| ⑤ 10～20代の時に交際相手や元交際相手はいなかった(いない)。 | |

ア 性別 (図表5-(1)-1)

- 10代又は20代に交際相手や元交際相手から暴力や嫌がらせを受けた経験について聞いたところ、女性では『身体的暴力』、『精神的暴力』、『性的暴力』について「あった」と回答した割合は、それぞれ5.3%、8.2%、2.0%で、それらの暴力の『いずれかの暴力』を受けた経験は11.0%となっている。
- それらの暴力を受けた経験が「あった」と回答した男性の割合は、女性より低い。

イ 奄美大島4町村・県の調査との比較 (図表5-(1)-1)

- 奄美大島4町村及び県の調査と比較すると、傾向はほぼ同じだが、『いずれかの暴力』について「あった」と回答した割合は、男女とも低くなっている。

図表5-(1)-1 10代又は20代に交際相手や元交際相手からの暴力や嫌がらせを受けた経験【性別、奄美大島4町村、県調査】

				あった	なかった	交際相手がいなかった(いない)	無回答
宇検村	身体的暴力	女性	(n=245)	5.3%	65.3%	7.8%	21.6%
		男性	(n=251)	2.4%	66.9%	8.8%	21.9%
	精神的暴力	女性	(n=245)	8.2%	62.4%	7.8%	21.6%
		男性	(n=251)	2.0%	67.3%	8.8%	21.9%
	性的暴力	女性	(n=245)	2.0%	68.6%	7.8%	21.6%
		男性	(n=251)	0.8%	68.5%	8.8%	21.9%
	いずれかの暴力	女性	(n=245)	11.0%	59.6%	7.8%	21.6%
		男性	(n=251)	5.2%	64.1%	8.8%	21.9%
奄美大島4町村	身体的暴力	女性	(n=1,109)	8.7%	81.3%	5.8%	17.9%
		男性	(n=990)	3.1%	85.1%	8.7%	17.8%
	精神的暴力	女性	(n=1,109)	7.9%	82.9%	5.8%	17.9%
		男性	(n=990)	2.5%	85.8%	8.7%	17.8%
	性的暴力	女性	(n=1,109)	3.3%	88.5%	5.8%	17.9%
		男性	(n=990)	0.7%	88.1%	8.7%	17.8%
	いずれかの暴力	女性	(n=1,109)	14.6%	74.6%	5.8%	17.9%
		男性	(n=990)	6.2%	82.8%	8.7%	17.8%
県調査	身体的暴力	女性	(n=1,200)	6.1%	71.1%	22.8%	
		男性	(n=875)	2.2%	73.6%	24.2%	
	精神的暴力	女性	(n=1,200)	7.0%	68.6%	24.4%	
		男性	(n=875)	2.3%	72.3%	25.4%	
	性的暴力	女性	(n=1,200)	5.6%	69.4%	25.0%	
		男性	(n=875)	0.6%	74.3%	25.1%	
	いずれかの暴力	女性	(n=1,200)	12.2%	63.8%	24.0%	
		男性	(n=875)	3.7%	70.5%	25.8%	

※「いずれかの暴力」とは、身体的暴力、精神的暴力、性的暴力のいずれかの暴力や嫌がらせのこと。

ウ 性・年代別（図表 5-(1)-2）

- ・『いずれかの暴力』について、「あった」と回答した割合が最も高いのは 40 代の女性(27.3%)、次いで 30 代の女性(22.2%)。
- ・男性では、『いずれの暴力』を受けた経験が「あった」と回答した割合が高いのは、30 代(33.3%)。その他の年代は 7.1%以下。
- ・男女とも年代が高いと「無回答」の割合が高い傾向にある。

図表 5-(1)-2 10 代又は 20 代に交際相手や元交際相手から暴力や嫌がらせを受けた経験【性・年代別】

		サ ン プ ル 数	あ い ず れ か の 暴 力 が	な か っ た	か 交 際 相 手 （ い が い な ）	無 回 答
総計		508	40	309	42	117
		100.0%	7.9%	60.8%	8.3%	23.0%
性 ・ 年 代 別	女性	245	27	146	19	53
		100.0%	11.0%	59.6%	7.8%	21.6%
	18～29歳	6	0	6	0	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	30～39歳	9	2	7	0	0
		100.0%	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%
	40～49歳	22	6	14	0	2
		100.0%	27.3%	63.6%	0.0%	9.1%
	50～59歳	35	7	23	1	4
		100.0%	20.0%	65.7%	2.9%	11.4%
	60～69歳	62	8	43	4	7
		100.0%	12.9%	69.4%	6.5%	11.3%
	70～79歳	68	3	34	8	23
		100.0%	4.4%	50.0%	11.8%	33.8%
	80歳以上	33	1	13	5	14
		100.0%	3.0%	39.4%	15.2%	42.4%
	男性	251	13	161	22	55
		100.0%	5.2%	64.1%	8.8%	21.9%
	18～29歳	8	0	6	0	2
		100.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%
	30～39歳	6	2	4	0	0
		100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	40～49歳	18	1	16	0	1
		100.0%	5.6%	88.9%	0.0%	5.6%
	50～59歳	40	0	32	4	4
		100.0%	0.0%	80.0%	10.0%	10.0%
	60～69歳	66	3	44	6	13
		100.0%	4.5%	66.7%	9.1%	19.7%
	70～79歳	74	4	41	10	19
		100.0%	5.4%	55.4%	13.5%	25.7%
	80歳以上	28	2	15	0	11
		100.0%	7.1%	53.6%	0.0%	39.3%

(2) 配偶者や元配偶者からの暴力を受けた経験

Q13 配偶者や元配偶者（「配偶者」には、事実婚や別居中の配偶者を含む。）に『身体的暴力』、『精神的暴力』及び『性的暴力』を受けた経験【問 12(2)】

① 1, 2 度あった
 ② 何度もあった
 ③ まったくなかった

ア 性別（図表 5-(2)-1）

- ・ 配偶者や元配偶者から暴力を受けた経験について訊いたところ、「何度もあった」及び「1, 2 度あった」と回答した割合は、男女とも『身体的暴力』、『精神的暴力』、『性的暴力』の順に高い。それらの暴力の『いずれかの暴力』を受けた経験が「何度もあった」と回答した割合は女性で 7.7%、男性で 2.3%となっている。
- ・ 「何度もあった」と回答した割合は、いずれの暴力も女性の方が男性より高く、「1, 2 度あった」と回答した割合を合わせても、女性が男性より高くなっている。
- ・ いずれの暴力についても「無回答」の割合が高いことから、暴力を受けた経験のある割合は、この結果より高い可能性があると思われる。

図表 5-(2)-1 配偶者や元配偶者等から暴力を受けた経験【性別】

宇検村			何度もあった	1, 2 度あった	全くなかった	無回答
身体的暴力	女性	(n=221)	3.2%	8.6%	46.2%	42.1%
	男性	(n=216)	1.9%	7.9%	55.6%	34.7%
精神的暴力	女性	(n=221)	5.4%	5.4%	42.5%	46.6%
	男性	(n=216)	0.9%	5.6%	53.7%	39.8%
性的暴力	女性	(n=221)	3.2%	3.2%	42.5%	51.1%
	男性	(n=216)	0.0%	2.3%	54.2%	43.5%
いずれかの暴力	女性	(n=221)	7.7%	10.0%	46.6%	35.7%
	男性	(n=216)	2.3%	10.2%	56.0%	31.5%

※母数 n は、結婚経験者（未婚者を除く）。

※「いずれかの暴力」の「1, 2 度あった」は、『身体的暴力』、『精神的暴力』、『性的暴力』のうちいずれかで「1, 2 度あった」人（「何度もあった」人を除く。）

「何度もあった」は、『身体的暴力』、『精神的暴力』、『性的暴力』のうちいずれかで「何度もあった」人

「全くなかった」は、『身体的暴力』、『精神的暴力』、『性的暴力』のいずれもなかった人

イ 前回調査、奄美大島 4 町村・県・内閣府調査との比較（図表 5-(2)-2～5）

※「無回答」の割合が、前回調査より 20～30 ポイント上昇し、県・内閣府調査より 20～40% 高いことから、前回や県・内閣府の調査との比較が困難。

(ア) 身体的暴力

- ・ 前回調査から「何度もあった」と「1, 2 度あった」と回答した割合は低くなっている。
- ・ 奄美大島 4 町村の調査と比較すると、「何度もあった」と「1, 2 度あった」と回答した割合は低い。
- ・ 県及び内閣府の調査と比較すると、「何度もあった」と回答した割合は同程度で、「1, 2 度あった」は低い。

(イ) 精神的・性的暴力

- ・ 前回調査と比較すると、「何度もあった」と「1, 2 度あった」と回答した割合は同程度。
- ・ 奄美大島 4 町村、県及び内閣府の調査と比較すると、「何度もあった」と「1, 2 度あった」と回答した割合は同程度。

(ウ) いずれかの暴力や嫌がらせ

- ・ 奄美大島 4 町村、県及び内閣府の調査と比較すると、「何度もあった」と「1, 2 度あった」と回答した女性の割合が若干低い。

図表 5-(2)-2 配偶者や元配偶者等から身体的暴力を受けた経験【総計、性別、前回調査、奄美大島4町村、県・内閣府調査】

宇検村			何度もあった	1、2度あった	全くなかった	無回答
今回調査	総計	(n=438)	2.5%	8.2%	50.7%	38.6%
	女性	(n=221)	3.2%	8.6%	46.2%	42.1%
	男性	(n=216)	1.9%	7.9%	55.6%	34.7%
前回調査	総計	(n=1,055)	3.4%	11.2%	70.2%	15.2%
	女性	(n=444)	5.6%	13.7%	68.4%	12.3%
	男性	(n=553)	0.9%	9.0%	77.7%	12.4%
奄美大島 4町村	総計	(n=1,728)	4.7%	10.4%	51.0%	33.9%
	女性	(n=938)	7.1%	9.3%	49.0%	34.5%
	男性	(n=782)	1.9%	11.6%	53.6%	32.9%
県調査	総計	(n=1,718)	3.5%	9.5%	76.6%	10.3%
	女性	(n=1,015)	4.7%	13.9%	71.9%	9.5%
	男性	(n=761)	2.0%	3.7%	82.9%	11.4%
内閣府調査	総計	(n=2,591)	2.5%	12.1%	83.8%	1.5%
	女性	(n=1,400)	3.4%	13.6%	81.2%	1.8%
	男性	(n=1,191)	1.5%	10.6%	86.8%	1.1%

※前回調査には未婚者も含まれる。以下、同様。

図表 5-(2)-3 配偶者や元配偶者等から精神的暴力や嫌がらせを受けた経験【総計、性別、前回調査、奄美大島4町村、県・内閣府調査】

宇検村			何度もあった	1、2度あった	全くなかった	無回答
今回調査	総計	(n=438)	3.2%	5.5%	48.2%	43.2%
	女性	(n=221)	5.4%	5.4%	42.5%	46.6%
	男性	(n=216)	0.9%	5.6%	53.7%	39.8%
前回調査	総計	(n=1,055)	3.5%	4.5%	73.7%	18.3%
	女性	(n=444)	4.7%	5.6%	74.1%	15.6%
	男性	(n=553)	2.0%	3.6%	79.1%	15.3%
奄美大島 4町村	総計	(n=1,728)	4.0%	6.7%	47.9%	41.4%
	女性	(n=938)	6.3%	7.6%	42.9%	43.3%
	男性	(n=782)	1.3%	5.5%	54.2%	39.0%
県総計	総計	(n=1,718)	5.5%	6.9%	75.9%	11.7%
	女性	(n=1,015)	7.4%	8.7%	73.2%	10.7%
	男性	(n=761)	2.9%	4.5%	79.5%	13.1%
内閣府調査	総計	(n=2,591)	4.8%	7.8%	85.4%	2.0%
	女性	(n=1,400)	6.7%	7.9%	82.9%	2.5%
	男性	(n=1,191)	2.5%	7.6%	88.3%	1.1%

図表 5-(2)-4 配偶者や元配偶者等から性的暴力を受けた経験【総計、性別、前回調査、奄美大島4町村、県・内閣府調査】

宇検村			何度もあった	1、2度あった	全くなかった	無回答
今回調査	総計	(n=438)	1.6%	2.7%	48.4%	47.3%
	女性	(n=221)	3.2%	3.2%	42.5%	51.1%
	男性	(n=216)	0.0%	2.3%	54.2%	43.5%
前回調査	総計	(n=1,055)	1.6%	3.1%	75.5%	19.8%
	女性	(n=444)	2.5%	3.8%	76.5%	17.2%
	男性	(n=553)	0.5%	2.5%	80.2%	16.9%
奄美大島 4町村	総計	(n=1,728)	2.4%	3.1%	50.2%	44.3%
	女性	(n=938)	3.8%	3.8%	45.5%	46.8%
	男性	(n=782)	0.6%	2.3%	55.9%	41.2%
県調査	総計	(n=1,718)	3.6%	4.1%	79.7%	12.6%
	女性	(n=1,015)	6.3%	6.2%	75.4%	12.1%
	男性	(n=761)	0.1%	1.2%	85.4%	13.3%
内閣府調査	総計	(n=2,591)	1.9%	3.4%	92.6%	2.2%
	女性	(n=1,400)	3.1%	5.4%	88.7%	2.7%
	男性	(n=1,191)	0.4%	0.9%	97.1%	1.5%

図表 5-(2)-5 配偶者や元配偶者等からいずれかの暴力や嫌がらせを受けた経験【総計、性別、奄美大島4町村、県・内閣府調査】

宇検村			何度もあった	1、2度あった	全くなかった	無回答
今回調査	総計	(n=438)	5.0%	10.0%	51.4%	33.6%
	女性	(n=221)	7.7%	10.0%	46.6%	35.7%
	男性	(n=216)	2.3%	10.2%	56.0%	31.5%
奄美大島 4町村	総計	(n=1,728)	6.9%	12.5%	50.8%	29.9%
	女性	(n=938)	10.6%	10.8%	48.8%	29.9%
	男性	(n=782)	2.7%	14.5%	53.3%	29.7%
県調査	総計	(n=1,718)	8.6%	11.2%	68.4%	11.7%
	女性	(n=1,015)	12.1%	15.1%	62.8%	10.0%
	男性	(n=761)	3.8%	6.2%	76.0%	14.1%
内閣府調査	総計	(n=2,591)	7.4%	15.1%	76.3%	1.3%
	女性	(n=1,400)	10.3%	15.6%	72.5%	1.6%
	男性	(n=1,191)	4.0%	14.4%	80.7%	0.9%

ウ 性・年代別（図表 5-(2)-6）※サンプル数が一定数ある 40 代以上

(ア) 身体的暴力

- ・「無回答」の割合は、50 代、60 代、80 代の女性(48.4%、44.3%、48.3%)、40 代の男性(53.3%)が高い。
- ・「何度もあった」と回答した割合が最も高いのは 60 代の女性(4.9%)、次いで 40 代の女性(4.8%)。「1、2 度あった」を合わせると、それぞれ 14.7%と 9.6%。
- ・男性では「何度もあった」と回答した人はほとんどいない。「1、2 度あった」と回答した人を合わせると 80 歳以上と 70 代が高い(15.3%と 14.7%)。

(イ) 精神的暴力

- ・「無回答」の割合は、50 代と 60 代の女性(48.4%、55.7%)、40 代と 60 代の男性(53.3%、45.2%)が高い。
- ・「何度もあった」と回答した割合が高いのは 50 代の女性(9.7%)、40 代の女性(9.5%)。「1、2 度あった」を合わせると、それぞれ 19.4%、14.3%。
- ・男性では、「何度もあった」と回答した人はほとんどいない。「1、2 度あった」を合わせた割合が最も高いのは 60 代で 6.4%。

(ウ) 性的暴力

- ・「無回答」の割合は、40～70 代の女性(47.6%、54.8%、59.0%、46.2%)、40 代と 60 代の男性(53.3%、46.8%)が高い。
- ・「何度もあった」と回答した割合が高いのは 50 代の女性(6.5%)、40 代の女性(4.8%)。「1、2 度あった」を合わせると、それぞれ 9.7%、4.8%。
- ・男性では、「何度もあった」及び「1、2 度あった」と回答した人はほとんどいない。

(エ) いずれかの暴力

- ・いずれかの暴力を受けた経験が「何度もあった」と回答した割合が高いのは 50 代の女性(12.9%)。「1、2 度あった」を合わせると 22.6%。
- ・男性では、「何度もあった」と回答した人はほとんどない。「1、2 度あった」を合わせた割合は 40 代と 60 代以上は 2 割超。

図表 5-(2)-6 配偶者や元配偶者等から暴力や嫌がらせを受けた経験【性・年代別】

		サ ン プ ル 数	いずれかの暴力				身体的暴力				精神的暴力				性的暴力			
			あ 何 っ た も	あ 1 っ た 2 度	か 全 っ く た な	無 回 答	あ 何 っ た も	あ 1 っ た 2 度	か 全 っ く た な	無 回 答	あ 何 っ た も	あ 1 っ た 2 度	か 全 っ く た な	無 回 答	あ 何 っ た も	あ 1 っ た 2 度	か 全 っ く た な	無 回 答
総計		438	22	44	225	147	11	36	222	169	14	24	211	189	7	12	212	207
		100.0%	5.0%	10.0%	51.4%	33.6%	2.5%	8.2%	50.7%	38.6%	3.2%	5.5%	48.2%	43.2%	1.6%	2.7%	48.4%	47.3%
性・年代別	女性	221	17	22	103	79	7	19	102	93	12	12	94	103	7	7	94	113
		100.0%	7.7%	10.0%	46.6%	35.7%	3.2%	8.6%	46.2%	42.1%	5.4%	5.4%	42.5%	46.6%	3.2%	3.2%	42.5%	51.1%
	18～29歳	4	0	0	3	1	0	0	3	1	0	0	3	1	0	0	3	1
		100.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%
	30～39歳	9	2	1	1	5	0	1	2	6	1	0	2	6	1	1	0	7
		100.0%	22.2%	11.1%	11.1%	55.6%	0.0%	11.1%	22.2%	66.7%	11.1%	0.0%	22.2%	66.7%	11.1%	11.1%	0.0%	77.8%
	40～49歳	21	2	1	13	5	1	1	13	6	2	1	10	8	1	0	10	10
		100.0%	9.5%	4.8%	61.9%	23.8%	4.8%	4.8%	61.9%	28.6%	9.5%	4.8%	47.6%	38.1%	4.8%	0.0%	47.6%	47.6%
	50～59歳	31	4	3	9	15	1	3	12	15	3	3	10	15	2	1	11	17
		100.0%	12.9%	9.7%	29.0%	48.4%	3.2%	9.7%	38.7%	48.4%	9.7%	9.7%	32.3%	48.4%	6.5%	3.2%	35.5%	54.8%
	60～69歳	61	6	7	24	24	3	6	25	27	5	1	21	34	1	4	20	36
		100.0%	9.8%	11.5%	39.3%	39.3%	4.9%	9.8%	41.0%	44.3%	8.2%	1.6%	34.4%	55.7%	1.6%	6.6%	32.8%	59.0%
	70～79歳	65	3	6	38	18	2	4	35	24	1	6	31	27	2	1	32	30
		100.0%	4.6%	9.2%	58.5%	27.7%	3.1%	6.2%	53.8%	36.9%	1.5%	9.2%	47.7%	41.5%	3.1%	1.5%	49.2%	46.2%
	80歳以上	29	0	4	14	11	0	4	11	14	0	1	16	12	0	0	17	12
		100.0%	0.0%	13.8%	48.3%	37.9%	0.0%	13.8%	37.9%	48.3%	0.0%	3.4%	55.2%	41.4%	0.0%	0.0%	58.6%	41.4%
	男性	216	5	22	121	68	4	17	120	75	2	12	116	86	0	5	117	94
		100.0%	2.3%	10.2%	56.0%	31.5%	1.9%	7.9%	55.6%	34.7%	0.9%	5.6%	53.7%	39.8%	0.0%	2.3%	54.2%	43.5%
	18～29歳	6	0	0	1	5	0	0	1	5	0	0	1	5	0	0	1	5
		100.0%	0.0%	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	16.7%	83.3%
	30～39歳	3	0	0	1	2	0	0	1	2	0	0	1	2	0	0	1	2
		100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%
	40～49歳	15	0	0	7	8	0	0	7	8	0	0	7	8	0	0	7	8
		100.0%	0.0%	0.0%	46.7%	53.3%	0.0%	0.0%	46.7%	53.3%	0.0%	0.0%	46.7%	53.3%	0.0%	0.0%	46.7%	53.3%
	50～59歳	34	1	1	22	10	0	2	20	12	1	0	21	12	0	0	22	12
		100.0%	2.9%	2.9%	64.7%	29.4%	0.0%	5.9%	58.8%	35.3%	2.9%	0.0%	61.8%	35.3%	0.0%	0.0%	64.7%	35.3%
	60～69歳	62	1	6	34	21	1	4	35	22	1	3	30	28	0	1	32	29
		100.0%	1.6%	9.7%	54.8%	33.9%	1.6%	6.5%	56.5%	35.5%	1.6%	4.8%	48.4%	45.2%	0.0%	1.6%	51.6%	46.8%
	70～79歳	68	2	11	38	17	2	8	39	19	0	6	39	23	0	4	36	28
		100.0%	2.9%	16.2%	55.9%	25.0%	2.9%	11.8%	57.4%	27.9%	0.0%	8.8%	57.4%	33.8%	0.0%	5.9%	52.9%	41.2%
	80歳以上	26	1	4	16	5	1	3	16	6	0	3	16	7	0	0	17	9
		100.0%	3.8%	15.4%	61.5%	19.2%	3.8%	11.5%	61.5%	23.1%	0.0%	11.5%	61.5%	26.9%	0.0%	0.0%	65.4%	34.6%

(3) 暴力を受けたときの相談先

- Q14 交際相手や元交際相手、配偶者や元配偶者から暴力を受けたことがある人の打ち明けたり、相談した先（複数回答）【問 13】
- ① 家族や親戚
 - ② 友人、知人
 - ③ 学校関係者（教員、養護教員、スクールカウンセラーなど）
 - ④ 医療関係者（医師、看護師、助産師など）
 - ⑤ 民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー、カウンセリング機関、民間シェルターなど）
 - ⑥ 犯罪被害者支援センターや配偶者暴力相談支援センター（県女性相談センター、県男女共同参画センター、大島支庁福祉課など）
 - ⑦ 警察（連絡を含む）
 - ⑧ 法務局や人権擁護委員
 - ⑨ 村の相談窓口（住民相談など）
 - ⑩ 他の市町村の相談窓口（婦人相談員など）
 - ⑪ 上記 6～10 以外の公的な機関
 - ⑫ その他
 - ⑬ どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)

ア 総計（図表 5-(3)-1）

- ・ Q12 又は 13 で暴力や嫌がらせを受けた経験があると回答した人の相談先について訊いたところ、「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」と回答した割合が最も高く、全体の 4 割を占めている。次いで「家族や親戚」(29.4%)、「友人、知人」(27.1%)。
- ・ 村の相談窓口相談したと回答した人はいなかった。

イ 性別、性・年代別（図表 5-(3)-1,2）

- ・ 男性では、「どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）」と回答した割合(52.9%) が最も高く、次いで「家族や親戚」(14.7%)。
- ・ 女性では、「友人、知人」と「家族や親戚」と回答した割合(それぞれ 39.2%)が最も高く、次いで「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」(35.3%)。
- ・ 女性では、40 代は「友人、知人」と「家族や親戚」と回答した割合がともに 62.5%、50 代がそれぞれ 50.0%と 37.5%。60 代と 70 代は「どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）」が 4 割を超える。
- ・ 男性では、ほとんどの年代で「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」と回答した割合が最も高い。

ウ 奄美大島 4 町村、県・内閣府調査との比較（図表 5-(3)-1）

- ・ 奄美大島 4 町村の調査と比較すると、ほぼ同様の傾向だが、女性では「家族や親戚」と回答した割合が高く、男性では「友人、知人」が低く、「どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）」が高い。
- ・ 県及び内閣府の調査と比較すると、男女とも「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」と回答した割合は低い。女性では、「友人、知人」と「家族や親戚」と回答した割合が高く、男性では、「家族や親戚」「友人、知人」と回答した割合が低い。

図表 5-(3)-1 暴力や嫌がらせを受けたときの相談先（複数回答）【総計、性別、奄美大島4町村、県・内閣府調査】

字検村			家族や 親戚	友人、知 人	学校関 係者	医療関 係者	民間の 専門家 や専門 機関	犯罪被害者支援セ ンターや配偶者暴力 相談支援センター	警察	法務局や 人権擁 護委員	自町村 の相談 窓口	他市町 村の相 談窓口	その他 公的機 関	その他	どこにも相 談しな かった	無回答
今回調査	総計	(n=85)	29.4%	27.1%	1.2%	3.5%	4.7%	1.2%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.4%	15.3%
	女性	(n=51)	39.2%	39.2%	2.0%	3.9%	7.8%	2.0%	7.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	35.3%	7.8%
	男性	(n=34)	14.7%	8.8%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	52.9%	26.5%
奄美大島 4町村	総計	(n=430)	25.3%	28.6%	1.4%	1.9%	4.7%	0.5%	4.9%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	39.8%	14.4%
	女性	(n=262)	32.1%	38.2%	0.8%	2.7%	6.5%	0.8%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	35.9%	7.6%
	男性	(n=164)	15.2%	14.0%	2.4%	0.6%	1.8%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	46.3%	24.4%
県調査	総計	(n=454)	21.8%	24.4%	0.7%	2.9%	1.8%	1.5%	2.0%	0.2%	1.5%	0.0%	0.0%	2.0%	53.1%	8.6%
	女性	(n=358)	22.1%	27.7%	0.6%	3.1%	2.0%	1.7%	2.5%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	2.0%	50.6%	8.1%
	男性	(n=92)	20.7%	12.0%	1.1%	2.2%	1.1%	1.1%	0.0%	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%	2.2%	63.0%	10.9%
内閣府 DV調査	総計	(n=582)	25.3%	24.7%	0.3%	2.2%	2.9%	2.1%	2.9%	0.2%	1.2%			1.0%	47.4%	7.2%
	女性	(n=363)	31.1%	28.9%	0.6%	1.9%	4.1%	2.8%	4.7%	0.0%	1.7%			0.8%	41.6%	4.7%
	男性	(n=219)	15.5%	17.8%	0.0%	2.7%	0.9%	0.9%	0.0%	0.5%	0.5%			1.4%	57.1%	11.4%

※内閣府 DV 調査の当該設問対象者は DV 被害経験者で、「犯罪被害者支援センターや配偶者暴力相談支援センター」に犯罪被害者支援センターは含まない。

図表 5-(3)-2 暴力や嫌がらせを受けたときの相談先（複数回答）【性・年代別】

		サ ン プ ル 数	家 族 や 親 戚	友 人 、 知 人	学 校 関 係 者	医 療 関 係 者	民 間 の 専 門 家 や 専 門 機 関	偶 犯 罪 被 害 者 相 談 支 援 セ ン ター ー や 配 偶 者 暴 力 相 談 支 援 セ ン ター ー や 配	警 察	法 務 局 や 人 権 擁 護 委 員	村 の 相 談 窓 口	他 の 市 町 村 の 相 談 窓 口	そ の 他 公 的 機 関	そ の 他	ど こ に も 相 談 し な か っ た	無 回 答
総計		85	25	23	1	3	4	1	4	0	0	2	0	0	36	13
		—	29.4%	27.1%	1.2%	3.5%	4.7%	1.2%	4.7%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	42.4%	15.3%
性・年代別	女性	51	20	20	1	2	4	1	4	0	0	1	0	0	18	4
		—	39.2%	39.2%	2.0%	3.9%	7.8%	2.0%	7.8%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	35.3%	7.8%
	18～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～39歳	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		—	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	40～49歳	8	5	5	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0
		—	62.5%	62.5%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	50～59歳	8	3	4	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	1	1
		—	37.5%	50.0%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%
	60～69歳	16	5	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7	3
		—	31.3%	18.8%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	43.8%	18.8%
	70～79歳	11	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0
		—	27.3%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	54.5%	0.0%
	80歳以上	4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		—	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	男性	34	5	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	18	9
		—	14.7%	8.8%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	52.9%	26.5%
	18～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～39歳	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		—	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	40～49歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
		—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50～59歳	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
	60～69歳	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3
		—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	62.5%	37.5%
	70～79歳	13	4	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	3
		—	30.8%	15.4%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	46.2%	23.1%
	80歳以上	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2
		—	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	33.3%

6 男性の生きづらさや不便さについて

(1) 男性としての生きづらさや不便さの有無

Q15 職場や学校、家庭などの場で、「男だから」という固定観念やプレッシャーにより生きづらさや不便さを感じるものの有無【問 15】
 ①頻繁に感じる ②たまに感じる ③あまり感じない ④まったく感じない

ア 総計（図表 6-(1)-1）

- ・ 男性に、職場や学校、家庭などの場で、「男だから」という固定観念やプレッシャーにより生きづらさや不便さを感じるかについて聞いたところ、「あまり感じない」と回答した割合は 43.4%。次いで、「まったく感じない」25.9%、「たまに感じる」21.5%、「頻繁に感じる」2.8%となっている。

イ 年代別、結婚の状況別、夫婦の就労状況別、職業別（図表 6-(1)-1,2）

- ・ 若い年代は「頻繁に感じる」及び「たまに感じる」と回答した割合が高い傾向にあり、「頻繁に感じる」と回答した割合が最も高いのは 30 代で 16.7%。「たまに感じる」を合わせると 66.7%で、40 代は 38.9%、29 歳以下は 37.5%となっている。
- ・ 「まったく感じない」と回答した割合が最も高いのは 60 代で、34.8%。
- ・ 結婚の状況別では、「頻繁に感じる」と「たまに感じる」を合わせた『感じる』と回答した割合は「未婚者」が最も高い(45.8%)。
- ・ 夫婦の就労状況別では、『感じる』と回答した割合は「配偶者(妻)のみ仕事がある」が最も高い。(30.8%)
- ・ 職業別では、『感じる』と回答した割合は「正規雇用者」が最も高い(31.7%)。
- ・ 性別による固定的な役割分担の考え方の賛成・反対別では大きな差はない。

ウ 奄美大島 4 町村、民間全国調査との比較（図表 6-(1)-1）

- ・ 奄美大島 4 町村の調査と比較すると、『感じる』と回答した割合が突出して高い 30 代を除き、ほぼ同様の傾向になっている。
- ・ 民間の調査結果と比較すると、30 代を除く年代で『感じる』と回答した割合が低い。

図表 6-(1)-1 男性としての生きづらさや不便さ【総計、年代別、奄美大島 4 町村、全国調査】

宇検村			頻繁に感じる	たまに感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答
今回調査	18～29歳	(n=8)	0.0%	37.5%	25.0%	25.0%	12.5%
	30～39歳	(n=6)	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	40～49歳	(n=18)	5.6%	33.3%	38.9%	22.2%	0.0%
	50～59歳	(n=40)	5.0%	25.0%	42.5%	22.5%	5.0%
	60～69歳	(n=66)	3.0%	18.2%	40.9%	34.8%	3.0%
	70～79歳	(n=74)	1.4%	14.9%	52.7%	21.6%	9.5%
	80歳以上	(n=28)	0.0%	17.9%	42.9%	25.0%	14.3%
	総計	(n=251)	2.8%	21.5%	43.4%	25.9%	6.4%
奄美大島 4 町村	18～29歳	(n=64)	7.8%	25.0%	32.8%	29.7%	4.7%
	30～39歳	(n=90)	5.6%	38.9%	33.3%	22.2%	0.0%
	40～49歳	(n=141)	7.1%	31.2%	38.3%	20.6%	2.8%
	50～59歳	(n=193)	2.1%	25.9%	40.4%	26.9%	4.7%
	60～69歳	(n=269)	1.9%	18.2%	44.2%	31.6%	4.1%
	70～79歳	(n=270)	0.7%	17.0%	40.7%	34.1%	7.4%
	80歳以上	(n=128)	1.6%	13.3%	28.9%	38.3%	18.0%
	総計	(n=1,199)	2.9%	22.0%	38.4%	30.6%	6.0%
民 間 全国調査	～19歳		50%	50%	0%	0%	0%
	20～29歳		17%	36%	19%	27%	0%
	30～39歳		23%	29%	30%	18%	0%
	40～49歳		25%	31%	31%	13%	0%
	50～59歳		2%	39%	44%	15%	0%
	60歳～		8%	30%	27%	35%	0%
	総計	(n=309)	17%	34%	27%	22%	0%

※全国調査は、「男性が職場や学校、家庭で感じる生きづらさに関する調査」（一般社団法人 Lean in Tokyo 2019 年）

図表 6-(1)-2 男性としての生きづらさや不便さ【結婚の状況別、夫婦の就労状況別、職業別、固定的性別役割分担意識別】

		ル サ 数 ン ブ	感 頻 じ 繁 る に	感 た じ ま る に	い 感 あ じ ま な り	な く ま い 感 っ じ た	無 回 答
結 婚 の 状 況	結婚している(事実婚を含む)	188	5	34	89	50	10
		100.0%	2.7%	18.1%	47.3%	26.6%	5.3%
	離別・死別	28	0	8	10	7	3
		100.0%	0.0%	28.6%	35.7%	25.0%	10.7%
夫 婦 の 就 労 状 況	どちらも仕事がある	24	2	9	8	4	1
		100.0%	8.3%	37.5%	33.3%	16.7%	4.2%
	自分のみ仕事がある	86	2	21	41	19	3
		100.0%	2.3%	24.4%	47.7%	22.1%	3.5%
職 業 別	配偶者のみ仕事がある	29	1	2	14	12	0
		100.0%	3.4%	6.9%	48.3%	41.4%	0.0%
	どちらか仕事がない	13	2	2	4	3	2
		100.0%	15.4%	15.4%	30.8%	23.1%	15.4%
担 別 固 意 役 定 識 割 的 別 分 性	賛成	52	0	7	28	12	5
		100.0%	0.0%	13.5%	53.8%	23.1%	9.6%
	反対	79	4	21	35	18	1
		100.0%	5.1%	26.6%	44.3%	22.8%	1.3%
職 業 別	正規雇用者	32	0	5	15	11	1
		100.0%	0.0%	15.6%	46.9%	34.4%	3.1%
	非正規雇用者	24	0	5	10	8	1
		100.0%	0.0%	20.8%	41.7%	33.3%	4.2%
自 営 業 者	無職	97	3	18	41	23	12
		100.0%	3.1%	18.6%	42.3%	23.7%	12.4%
	賛成	93	1	21	44	23	4
		100.0%	1.1%	22.6%	47.3%	24.7%	4.3%
反 対	賛成	153	6	32	64	41	10
		100.0%	3.9%	20.9%	41.8%	26.8%	6.5%

(2) 男性として生きづらさや不便さを感じる事

Q16 Q15 で生きづらさや不便さを「頻繁に感じる」又は「たまに感じる」と回答した人が、そう感じる事（最大3つまで）【問16(1)】	
①デートで、男性がお金を多く負担したり女性をリードすべきという風潮	『デートでの金銭的負担や女性をリード』
②男性は定年までフルタイムの正社員で働べきという考え	『定年まで正社員』
③力仕事や危険な仕事は男の仕事という考え	『力仕事や危険な仕事』
④高収入でなければならないというプレッシャー	『高収入』
⑤「一家の大黒柱」でいなければならないというプレッシャー	『一家の大黒柱』
⑥男性は弱音を吐いたり、悩みを打ち明けることは恥ずかしいと考え	『弱音を吐いたり悩みを打ち明けられない』
⑦職場で出世したり、活躍しなければならないというプレッシャー	『職場での出世や活躍』
⑧職場や地域や活動等でリーダーは男性という考え	『職場や地域でのリーダー』
⑨働きながらも、家事や育児、介護など家庭の事をすることが求められること	『働きながら家庭のことも求められる』
⑩仕事中心の生活で、家事や育児、介護など家庭のことに十分関われないこと	『仕事中心で家庭のことに関われない』
⑪家庭のことに関わりにくい周囲の意識（家庭のことは女性の仕事という意識など）や環境（男性用トイレにおむつ交換台がないなど）	『家庭のことに関わりにくい環境』
⑫その他	

ア 総計（図表6-(2)-1）

- Q15 で職場や学校、家庭などの場で、「男だから」という固定観念やプレッシャーにより生きづらさや不便さを「頻繁に感じる」又は「たまに感じる」（『感じる』）と回答した男性に、そう感じることを3つまで訊いたところ、『力仕事や危険な仕事』と回答した割合が最も高く（34.4%）、次いで『職場や地域でのリーダー』（23.0%）、『一家の大黒柱』（21.3%）。

イ 奄美大島4町村・民間調査との比較（図表6-(2)-1）

- 奄美大島4町村の調査と比較すると、『力仕事や危険な仕事』と回答した人の割合は同程度で、『職場や地域でのリーダー』と『一家の大黒柱』と回答した人の割合は高い。（7.9ポイントと5.6ポイント）
- 民間の全国調査と比較すると、『力仕事や危険な仕事』と回答した割合は同程度だが、『デートでの金銭的負担や女性をリード』と回答した割合は大きく下回り（25.5ポイント）、『弱音を吐いたり悩みを打ち明けられない』、『高収入』、『定年まで正社員』も低くなっている。

図表6-(2)-1 男性として生きづらさや不便さを感じる事（3つまでの複数回答）【総計、奄美大島4町村、全国調査】

	今回調査 (n=61)	奄美大島4町村 (n=299)	民間全国調査 (n=240)
デートでの金銭的負担や女性をリード	4.9%	5.7%	30.4%
定年まで正社員	18.0%	16.1%	29.6%
力仕事や危険な仕事	34.4%	31.1%	32.1%
高収入	11.5%	10.0%	25.4%
一家の大黒柱	21.3%	15.7%	27.5%
弱音を吐いたり悩みを打ち明けられない	13.1%	14.0%	27.1%
職場での出世や活躍	6.6%	8.7%	...
職場や地域でのリーダー	23.0%	15.1%	...
働きながら家庭のことも求められる	11.5%	8.7%	9.6%
仕事中心で家庭のことに関われない	9.8%	8.4%	7.1%
家庭のことに関わりにくい環境	4.9%	3.7%	3.8%
その他	0.0%	3.0%	...
無回答	11.5%	5.0%	1.7%

※各項目選択者数÷Q15①②（ただし、全国調査は③を含む。）

※全国調査は、「男性が職場や学校、家庭で感じる生きづらさに関する調査」（一般社団法人 Lean in Tokyo 2019 年）

ウ 年代別（図表6-(2)-2）

- 年代別では、29 歳以下は『働きながら家庭のことも求められる』、30 代は『弱音を吐いたり悩みを打ち明けられない』と『一家の大黒柱』、50 代は『職場や地域でのリーダー』、60 代は『力仕事や危険な仕事』、70 代以上はそれに加えて『一家の大黒柱』と回答した割合が他の年代より高い。

エ 結婚の状況別、夫婦の就労状況別、職業別（図表 6-(2)-2）

- 結婚の状況別では、「結婚している」人は『力仕事や危険な仕事』と回答した割合が最も高いが、「離別・死別」者は『一家の大黒柱』と『職場や地域でのリーダー』、「未婚」者は『力仕事や危険な仕事』のほか『弱音を吐いたり悩みを打ち明けられない』と『職場や地域でのリーダー』と回答した割合が高くなっている。
- 夫婦の就労状況別では、「自分のみ仕事がある」人は『一家の大黒柱』と『定年まで正社員』、「配偶者のみ仕事がある」人は『定年まで正社員』と回答した割合が高くなっている。
- 職業別では、雇用者は『力仕事や危険な仕事』と『職場や地域でのリーダー』、「自営業者」は『弱音を吐いたり悩みを打ち明けられない』と『高収入』と回答した割合が高くなっている。

図表 6-(2)-2 男性として生きづらさや不便さを感じる（複数回答）【年代別、結婚の状況別、夫婦の就労状況別、職業別】

		サ ン プ ル 数	担 デ ヤ ー ト 性 で の 金 銭 的 負	定 年 ま で 正 社 員	力 仕 事 や 危 険 な 仕 事	高 収 入	一 家 の 大 黒 柱	を 弱 打 音 を 吐 け ら れ な い 悩 み	職 場 で の 出 世 や 活 躍	ダ 職 場 や 地 域 で の リ ー	と 働 も き な め ら れ 家 庭 の こ	と 仕 事 関 心 で な い 家 庭 の こ	に 家 庭 の 環 境 に 関 わ り	そ の 他	無 回 答
総計		61	3	11	21	7	13	8	4	14	7	6	3	0	7
		-	4.9%	18.0%	34.4%	11.5%	21.3%	13.1%	6.6%	23.0%	11.5%	9.8%	4.9%	0.0%	11.5%
年 代 別	18～29歳	3	0	1	1	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0
		-	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～39歳	4	0	2	0	1	2	3	1	1	0	0	0	0	0
		-	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	50.0%	75.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40～49歳	7	0	2	3	2	2	0	1	2	1	1	1	0	0
		-	0.0%	28.6%	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
	50～59歳	12	1	0	4	2	0	2	1	5	0	1	0	0	1
結 婚 の 状 況		-	8.3%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	8.3%	41.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%
	60～69歳	14	1	2	5	1	2	1	0	2	2	2	0	0	4
		-	7.1%	14.3%	35.7%	7.1%	14.3%	7.1%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%
	70～79歳	12	1	1	4	1	4	1	0	2	1	0	2	0	1
		-	8.3%	8.3%	33.3%	8.3%	33.3%	8.3%	0.0%	16.7%	8.3%	0.0%	16.7%	0.0%	8.3%
	80歳以上	5	0	1	3	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1
		-	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
夫 婦 の 就 労 状 況	結婚している(事実婚を含む)	39	3	7	16	4	8	3	4	8	5	3	1	0	5
		-	7.7%	17.9%	41.0%	10.3%	20.5%	7.7%	10.3%	20.5%	12.8%	7.7%	2.6%	0.0%	12.8%
	離別・死別	8	0	0	0	1	2	1	0	2	1	1	0	0	1
		-	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%
夫 婦 の 就 労 状 況	未婚	11	0	3	4	2	3	3	0	3	0	0	2	0	1
		-	0.0%	27.3%	36.4%	18.2%	27.3%	27.3%	0.0%	27.3%	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	9.1%
	どちらも仕事がある	23	1	1	9	3	2	2	3	7	5	3	1	0	1
		-	4.3%	4.3%	39.1%	13.0%	8.7%	8.7%	13.0%	30.4%	21.7%	13.0%	4.3%	0.0%	4.3%
夫 婦 の 就 労 状 況	自分のみ仕事がある	3	1	2	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0
		-	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	配偶者のみ仕事がある	4	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
		-	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
職 業 別	どちらも仕事がない	7	1	1	5	0	3	0	1	0	0	0	0	0	1
		-	14.3%	14.3%	71.4%	0.0%	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
	正規雇用者	25	2	5	10	2	6	3	2	8	2	3	2	0	2
		-	8.0%	20.0%	40.0%	8.0%	24.0%	12.0%	8.0%	32.0%	8.0%	12.0%	8.0%	0.0%	8.0%
職 業 別	非正規雇用者	5	0	0	2	1	0	1	0	2	1	0	0	0	0
		-	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	自営業者	5	0	1	1	2	2	1	1	0	1	0	0	0	1
		-	0.0%	20.0%	20.0%	40.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
職 業 別	無職	21	1	3	7	1	5	1	1	2	2	1	1	0	4
		-	4.8%	14.3%	33.3%	4.8%	23.8%	4.8%	4.8%	9.5%	9.5%	4.8%	4.8%	0.0%	19.0%

(3) 男性として生きづらさや不便さを感じたエピソード

Q17 男性として「生きづらさ」や「不便さ」を感じた具体的なエピソード【問 16(2)】

- 故郷がここから、故郷が遠うからで差別心が強く、閉鎖的である。仲良しグループのような子供じみたグループを作り、他を入れない雰囲気がある。(60代男性)
- 職場＝収入＝家庭＝普通人(70代男性)

7 生活上の困難について

(1) 相談窓口に必要な配慮

Q18 性別に起因する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などに求める配慮（複数回答）【問 14】

①DV やストーカー、セクシュアルハラスメント、性暴力など性別に起因する暴力に関する専門相談員がいる	『ジェンダーに起因する暴力の専門相談員』
②メールによる相談ができる	『メールで相談可能』
③チャット、SNS（フェイスブックやツイッター、ラインなど）による相談ができる	『チャットや SNS で相談可能』
④電話による相談ができる	『電話による相談可能』
⑤通話料が無料	『通話料が無料』
⑥24 時間相談ができる	『24 時間相談』
⑦医療費、カウンセリング費用、弁護士費用などが無料で支援が受けられる	『医療、カウンセリング、弁護士の費用が無料』
⑧相談内容に応じて関連する他の相談窓口との連携が行われる	『関連相談窓口で連携して対応』
⑨同性の相談員がいる	『同性の相談員』
⑩匿名で相談ができる	『匿名で相談可能』
⑪弁護士など法的知識のある相談員がいる	『法的知識のある相談員』
⑫臨床心理士や公認心理士など、心理専門職の相談員がいる	『心理専門職の相談員』
⑬その他	

ア 総計（図表 7-(1)-1）

- 性別に起因する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などで配慮してもらいたいことについて聞いたところ、『電話による相談可能』(40.6%)と回答した割合が最も高く、次いで、『ジェンダーに起因する暴力の専門相談員』(33.1%)、『匿名で相談可能』(31.3%)、『医療、カウンセリング、弁護士の費用が無料』(24.8%)。

イ 性別（図表 7-(1)-1）

- 性別でみると、女性の方が男性より回答した割合が高い項目が多い。
- 男女とも回答した割合が高い項目は、総計とほぼ同じ傾向。女性は他に『24 時間相談』(25.7%)も高くなっている。
- 男女で差が大きいのは『通話料が無料』、『心理専門職の相談員』、『匿名で相談可能』で、女性が約 7 ポイント高い。

ウ 奄美大島 4 町村・内閣府調査との比較（図表 7-(1)-1）

- 奄美大島 4 町村の調査と比較すると、ほぼすべての項目で回答した割合が低くなっている。
- 内閣府調査と比較すると、すべての項目で回答した割合が大きく下回っている。

図表 7-(1)-1 性別に起因する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などに求める配慮（複数回答）

【総計、性別、奄美大島 4 町村、内閣府調査】

	今回調査			奄美大島 4 町村			内閣府調査		
	総計	女性	男性	総計	女性	男性	総計	女性	男性
	(n=508)	(n=245)	(n=251)	(n=2,147)	(n=1,109)	(n=990)	(n=2,847)	(n=1,534)	(n=1,313)
ジェンダーに起因する暴力の専門相談員	33.1%	32.2%	35.5%	38.8%	40.0%	39.1%	43.7%	44.3%	43.0%
メールで相談可能	20.7%	22.9%	19.5%	24.1%	25.6%	23.5%	34.5%	31.8%	37.7%
チャットや SNS で相談可能	14.8%	15.5%	14.7%	18.7%	20.5%	17.4%	30.7%	28.7%	33.0%
電話による相談可能	40.6%	40.4%	42.2%	40.3%	40.6%	41.8%	50.2%	47.8%	52.9%
通話料が無料	18.5%	22.4%	15.5%	25.9%	29.7%	22.8%	55.2%	58.0%	51.9%
24 時間相談	22.6%	25.7%	20.3%	33.0%	37.2%	29.5%	65.8%	66.1%	65.3%
医療、カウンセリング、弁護士の費用が無料	24.8%	27.3%	23.5%	31.1%	33.2%	30.3%	60.4%	63.0%	57.5%
関連相談窓口で連携して対応	16.7%	15.9%	17.9%	21.3%	23.4%	19.7%	37.0%	39.2%	34.4%
同性の相談員	17.7%	19.6%	16.3%	24.0%	28.1%	20.2%	49.4%	51.3%	47.2%
匿名で相談可能	31.3%	35.5%	28.7%	38.4%	41.6%	36.3%	57.3%	59.3%	54.8%
法的知識のある相談員	21.9%	22.9%	21.9%	27.9%	28.0%	28.8%	50.3%	48.9%	51.9%
心理専門職の相談員	15.7%	19.6%	12.7%	22.5%	26.1%	19.3%	37.8%	40.5%	34.6%
その他	0.6%	0.4%	0.8%	1.1%	1.2%	1.1%	—	—	—
無回答	22.8%	20.8%	21.5%	17.3%	15.8%	15.9%	4.3%	3.9%	4.6%

※各項目回答者数÷調査回答者数

エ 年代別（図表 7-(1)-2）

- ・ 40 代では、ほとんどの項目で回答した割合が他の年代より高い。特に『匿名で相談可能』(55.0%)、『チャットや SNS で相談可能』(50.0%)、『ジェンダーに起因する暴力の専門相談員』と『24 時間相談』(ともに 45.0%)が高い。
- ・ 40 代以外では、50 代でも『匿名で相談可能』と回答した割合は 5 割を超え、30 代及び 50 代では『ジェンダーに起因する暴力の専門相談員』と回答した割合(ともに 46.7%)、29 歳以下では『24 時間相談』でも回答した割合が高い。(42.9%)
- ・ 60 代と 80 歳以上では、『電話による相談』と回答した割合が高い。

オ 配偶者等からの暴力を受けた経験のある者人（図表 7-(1)-2）

- ・ 配偶者等からの暴力を受けたことがあると Q13 で回答した人は、ほとんどの項目で総計より回答した割合が高く、最も大きな差は『心理専門職の相談員』の 14.6 ポイント。

図表 7-(1)-2 性別に起因する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などに求める配慮（複数回答）

【年代別、暴力を受けた経験のある人】

	該当者数	ジェンダーに起因する暴力の専門相談員	メールで相談可能	チャットや SNS で相談可能	電話による相談可能	通話料が無料	24 時間相談	医療、カウンセリング、弁護士費用が無料	関連相談窓口で連携して対応	同様の相談員	匿名で相談可能	法的知識のある相談員	心理専門職の相談員	その他	無回答	M.T
総計	508	33.1	20.7	14.8	40.6	18.5	22.6	24.8	16.7	17.7	31.3	21.9	15.7	0.6	22.8	301.8
[性別]																
女	245	32.2	22.9	15.5	40.4	22.4	25.7	27.3	15.9	19.6	35.5	22.9	19.6	0.4	20.8	321.2
男	251	35.5	19.5	14.7	42.2	15.5	20.3	23.5	17.9	16.3	28.7	21.9	12.7	0.8	21.5	291.2
[年代]																
18 ～ 29 歳	14	28.6	28.6	35.7	35.7	35.7	42.9	35.7	21.4	21.4	42.9	21.4	28.6	7.1	21.4	407.1
30 ～ 39 歳	15	46.7	33.3	40.0	33.3	0.0	40.0	26.7	13.3	26.7	33.3	20.0	13.3	0.0	0.0	326.7
40 ～ 49 歳	40	45.0	42.5	50.0	42.5	37.5	45.0	42.5	35.0	42.5	55.0	35.0	35.0	2.5	5.0	515.0
50 ～ 59 歳	75	46.7	40.0	28.0	37.3	26.7	30.7	30.7	25.3	28.0	52.0	33.3	25.3	1.3	8.0	413.3
60 ～ 69 歳	128	41.4	20.3	11.7	48.4	16.4	20.3	25.8	20.3	20.3	33.6	25.0	17.2	0.0	14.8	315.6
70 ～ 79 歳	142	24.6	12.7	2.8	36.6	14.1	17.6	19.0	10.6	9.9	23.9	16.2	7.0	0.0	33.1	228.2
80 歳以上	62	16.1	3.2	1.6	48.4	12.9	9.7	16.1	4.8	3.2	9.7	9.7	3.2	0.0	37.1	175.8
[DV 経験あり]	66	37.9	25.8	10.6	43.9	19.7	18.2	24.2	21.2	25.8	37.9	24.2	30.3	1.5	16.7	337.9

※「DV 経験あり」とは、Q13 で DV を受けた経験があると回答した人

(2) 生活上の不安や困難

Q19 最近の生活で、次のアからキについて感じる不安や困難【問 17】

ア 生活に困窮している	『生活の困窮』
イ 十分働けていない、働く場や機会がない	『働く場や機会』
ウ 健康に不安を感じる	『健康』
エ 近くに頼れる人がいないなど、自分は孤独であると感じる	『孤独』
オ 困っていても、支援が受けられないと感じる	『困ったときの支援』
カ 家族との関係が難しいと感じる	『家族関係』
キ 災害や事件・事故の不安がある	『災害や事件・事故』
① とても感じる	② ある程度感じる（どちらかというと感じる）
③ あまり感じない（どちらかというと感じない）	④ まったく感じない

ア 総計・性別（図表 7-(2)-1～7）

- ・生活の場面での 7 項目の様々な不安や困難について訊いたところ、『健康』への不安を「とても感じる」と回答した割合が最も高く（15.0%）、次いで『災害や事件・事故』（11.0%）、『生活の困窮』と『働く場や機会』（ともに 5.3%）。それぞれ、「ある程度感じる」と回答した割合を合わせると、60.0%、54.1%、28.5%、20.1%となっている。
- ・不安や困難を「まったく感じない」と回答した割合が高い項目は、『家族関係』（37.4%）と『困ったときの支援』（34.3%）。
- ・困難や不安を「とても感じる」と「ある程度感じる」と回答した割合は、『困ったときの支援』と『家族関係』は女性より男性、それ以外の項目では男性より女性のほうが高い。

イ 奄美大島 4 町村調査との比較（図表 7-(2)-1～7）

- ・奄美大島 4 町村の調査と比較すると、ほぼ同様の傾向にある。

ウ 生活の困窮（図表 7-(2)-1、8）

（ア）性別、性・年代別

- ・生活の困窮の不安・困難を「とても感じる」と回答した割合は、女性は 5.7%、男性は 5.2%、「ある程度感じる」と回答した割合を合わせると、女性は 31.8%、男性は 26.7%。
- ・性・年代別では、「とても感じる」と「ある程度感じる」と回答した割合を合わせると、40 代女性（40.9%）と 80 歳以上の男性（39.3%）、50 代の男性（37.5%）が高くなっている。

（イ）性・世帯の状況別、性・結婚の状況別

- ・「とても感じる」と「ある程度感じる」と回答した割合が高いのは、世帯の状況別では男女とも「単身世帯」と「三世帯世帯」、結婚の状況別では未婚の男性（41.7%）。

エ 働く場や機会（図表 7-(2)-2、8）

（ア）性別、性・年代別

- ・働く場や機会がない・十分に働けていないことに不安・困難を「とても感じる」と「ある程度感じる」と回答した割合を合わせると、男女とも約 20%。
- ・性・年代別では、「とても感じる」と回答した割合が最も高いのは 40 代女性で 13.6%、「ある程度感じる」を合わせると 31.8%。

（イ）性・世帯の状況別、性・結婚の状況別

- ・「とても感じる」と「ある程度感じる」と回答した割合が最も高いのは、世帯の状況別では三世帯世帯の女性（50.0%）と単身の男性（26.5%）、結婚状況別では「未婚」の男性（29.1%）。

オ 健康（図表 7-(2)-3、9）

（ア）性別、性・年代別

- ・健康への不安を「とても感じる」と回答した割合は、女性が 17.1%、男性が 13.1%で、「ある程度感じる」を合わせると、それぞれ 64.1%と 58.2%。
- ・性・年代別では、年代が高いほど不安を感じる割合が高い傾向にあり、「とても感じる」と回答した割合が高いのは、女性では 70 代（25.0%）、80 歳以上（24.2%）、男性では 80 代（21.4%）。「ある程度感じる」を合わせた割合が高いのは、女性は 60 代（77.4%）、男性は 80 代（67.9%）で、70 代以上の女性も約 7 割。

（イ）性・世帯の状況別、性・結婚の状況別

- ・世帯の状況による差はほとんどみられない。
- ・結婚の状況別では、「とても感じる」と回答した割合は「未婚」の女性(33.3%)が最も高いが、「ある程度感じる」を合わせると、「離別・死別」の男性(75.0%)と女性(70.0%)が高い。

カ 孤独 (図表 7-(2)-4、9)

(ア) 性別、性・年代別

- ・孤独への不安を「とても感じる」と回答した割合は、女性は3.3%、男性は4.4%で、「ある程度感じる」を合わせると、女性は20.4%、男性は17.9%。
- ・性・年代別では、「とても感じる」と「ある程度感じる」と回答した割合を合わせると、最も高いのは30代男性で50.0%。次いで、女性の40代と70代、男性の40代が約27%。

(イ) 性・世帯の状況別、性・結婚の状況別

- ・世帯の状況別では「単身世帯」の男性が、結婚の状況別では「未婚」の男女が、他より不安や困難を感じる割合が高い傾向。

キ 困ったときの支援 (図表 7-(2)-5、10)

(ア) 性別、性・年代別

- ・困っていても、支援が受けられないことへの不安や困難について、「とても感じている」と回答した割合は、女性は4.9%、男性は3.6%で、「ある程度感じる」を合わせると、女性は19.6%、男性は24.3%。
- ・性・年代別では、「とても感じている」と「ある程度感じる」と回答した割合を合わせると、80代と50代の男性、50代の女性(35.7%、30.0%、28.6%)が高い。

(イ) 性・世帯の状況別、性・結婚の状況別

- ・「とても感じる」と「ある程度感じる」と回答した割合を合わせると、世帯の状況別では「単身世帯」の男性(38.2%)、結婚の状況別では「未婚」の男性(41.7%)が高い。

ク 家族関係 (図表 7-(2)-6、10)

(ア) 性別、性・年代別

- ・家族との関係が難しいと感じると回答した割合は、男女とも他の項目に比べて低く、「とても感じる」又は「ある程度感じる」と回答した割合は、女性は16.7%、男性は18.3%。
- ・性・年代別では、「とても感じる」又は「ある程度感じる」と回答した割合は、30代の男性(33.3%)と40代の女性(31.8%)が高くなっている。

(イ) 世帯の状況別・結婚の状況別

- ・世帯の状況別では、「とても感じる」又は「ある程度感じる」と回答した割合が高いのは、「三世帯世帯」の女性(50.0%)と「単身世帯」の男性(23.5%)、結婚の状況別では「離別・死別」の男性と「未婚」の女性(ともに25.0%)。

ケ 災害や事件・事故 (図表 7-(2)-7、11)

(ア) 性別、性・年代別

- ・災害や事件・事故の不安について、「とても感じる」と回答した割合は、女性では14.7%、男性では7.6%。「ある程度感じる」と回答した割合を合わせると、女性は58.8%、男性は51.8%。
- ・性・年代別では、「とても感じる」と回答した割合が高いのは、40、70代の女性と80歳以上の男性が2割を超え、「ある程度感じる」と回答した割合を合わせると、60代以上の女性が高く、70代で67.6%。

(イ) 世帯の状況別・結婚の状況別

- ・世帯の状況ではほとんど差がみられないが、結婚の状況別では、「とても感じる」又は「ある程度感じる」と回答した割合は、「離別・死別」の女性が高い(66.0%)。

図表 7-(2)-1 生活上の不安や困難 (生活の困窮) 【総計、性別、奄美大島4町村】

宇検村			とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答
今回調査	総計	(n=508)	5.3%	23.2%	44.5%	18.9%	8.1%
	女性	(n=245)	5.7%	26.1%	43.7%	16.7%	7.8%
	男性	(n=251)	5.2%	21.5%	46.6%	21.9%	4.8%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	7.7%	25.6%	42.1%	17.4%	7.2%
	女性	(n=1,109)	7.3%	28.7%	41.4%	15.6%	7.0%
	男性	(n=990)	8.2%	23.1%	44.0%	20.3%	4.3%

図表 7-(2)-2 生活上の不安や困難（働く場や機会）【総計、性別、奄美大島4町村】

宇検村			とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答
今回調査	総計	(n=508)	5.3%	14.8%	37.0%	26.4%	16.5%
	女性	(n=245)	6.5%	14.7%	33.5%	26.1%	19.2%
	男性	(n=251)	4.4%	15.5%	42.2%	27.5%	10.4%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	6.4%	15.6%	37.4%	26.1%	14.3%
	女性	(n=1,109)	6.3%	15.6%	37.2%	23.8%	17.0%
	男性	(n=990)	6.7%	16.1%	38.9%	29.9%	8.5%

図表 7-(2)-3 生活上の不安や困難（健康）【総計、性別、奄美大島4町村】

宇検村			とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答
今回調査	総計	(n=508)	15.0%	45.1%	25.4%	7.5%	7.1%
	女性	(n=245)	17.1%	46.9%	22.9%	6.5%	6.5%
	男性	(n=251)	13.1%	45.0%	29.1%	8.8%	4.0%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	15.5%	44.6%	25.4%	8.4%	6.1%
	女性	(n=1,109)	16.2%	46.5%	24.0%	7.4%	5.9%
	男性	(n=990)	14.8%	43.8%	28.1%	10.0%	3.2%

図表 7-(2)-4 生活上の不安や困難（孤独）【総計、性別、奄美大島4町村】

宇検村			とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答
今回調査	総計	(n=508)	3.7%	15.0%	45.9%	28.5%	6.9%
	女性	(n=245)	3.3%	17.1%	44.5%	28.2%	6.9%
	男性	(n=251)	4.4%	13.5%	49.0%	29.9%	3.2%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	3.8%	17.3%	44.5%	28.1%	6.3%
	女性	(n=1,109)	3.2%	19.0%	43.8%	27.3%	6.6%
	男性	(n=990)	4.3%	16.0%	46.4%	30.3%	3.0%

図表 7-(2)-5 生活上の不安や困難（困ったときの支援）【総計、性別、奄美大島4町村】

宇検村			とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答
今回調査	総計	(n=508)	4.1%	17.3%	35.4%	34.3%	8.9%
	女性	(n=245)	4.9%	14.7%	34.7%	35.5%	10.2%
	男性	(n=251)	3.6%	20.7%	37.5%	34.3%	4.0%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	5.8%	21.5%	34.2%	30.3%	8.2%
	女性	(n=1,109)	6.1%	20.6%	33.6%	30.5%	9.2%
	男性	(n=990)	5.7%	23.0%	36.0%	31.3%	4.0%

図表 7-(2)-6 生活上の不安や困難（家族関係）【総計、性別、奄美大島4町村】

宇検村			とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答
今回調査	総計	(n=508)	2.6%	14.6%	37.4%	37.4%	8.1%
	女性	(n=245)	3.7%	13.1%	36.3%	40.0%	6.9%
	男性	(n=251)	1.6%	16.7%	39.8%	36.3%	5.6%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	3.8%	15.7%	36.1%	36.7%	7.7%
	女性	(n=1,109)	3.8%	16.0%	36.1%	36.7%	7.5%
	男性	(n=990)	3.8%	16.0%	37.0%	38.2%	5.1%

図表 7-(2)-7 生活上の不安や困難（災害や事件・事故）【総計、性別、奄美大島4町村】

宇検村			とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答
今回調査	総計	(n=508)	11.0%	43.1%	29.1%	9.8%	6.9%
	女性	(n=245)	14.7%	44.1%	24.5%	10.6%	6.1%
	男性	(n=251)	7.6%	44.2%	34.7%	9.6%	4.0%
奄美大島 4町村	総計	(n=2,147)	11.6%	39.8%	31.5%	10.6%	6.5%
	女性	(n=1,109)	14.1%	43.0%	26.9%	9.6%	6.4%
	男性	(n=990)	8.9%	37.8%	37.9%	12.1%	3.3%

図表 7-(2)-8 生活上の不安や困難（生活の困窮、働く場や機会）【性・年代別、性・世帯の状況別、性・結婚の状況別】

		サンプル数	生活の困窮					働く場や機会					
			とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答	とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答	
総計		508	27	118	226	96	41	27	75	188	134	84	
		100.0%	5.3%	23.2%	44.5%	18.9%	8.1%	5.3%	14.8%	37.0%	26.4%	16.5%	
性・年代別	女性	245	14	64	107	41	19	16	36	82	64	47	
		100.0%	5.7%	26.1%	43.7%	16.7%	7.8%	6.5%	14.7%	33.5%	26.1%	19.2%	
		18～29歳	6	0	1	3	2	0	0	1	0	5	0
		100.0%	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	83.3%	0.0%	
		30～39歳	9	1	1	3	4	0	0	2	1	6	0
		100.0%	11.1%	11.1%	33.3%	44.4%	0.0%	0.0%	22.2%	11.1%	66.7%	0.0%	
		40～49歳	22	0	9	9	4	0	3	4	10	5	0
		100.0%	0.0%	40.9%	40.9%	18.2%	0.0%	13.6%	18.2%	45.5%	22.7%	0.0%	
		50～59歳	35	1	11	14	6	3	1	6	15	10	3
		100.0%	2.9%	31.4%	40.0%	17.1%	8.6%	2.9%	17.1%	42.9%	28.6%	8.6%	
	60～69歳	62	4	14	30	11	3	3	14	23	16	6	
	100.0%	6.5%	22.6%	48.4%	17.7%	4.8%	4.8%	22.6%	37.1%	25.8%	9.7%		
	70～79歳	68	6	16	32	9	5	6	8	24	13	17	
	100.0%	8.8%	23.5%	47.1%	13.2%	7.4%	8.8%	11.8%	35.3%	19.1%	25.0%		
	80歳以上	33	2	7	14	5	5	1	0	8	8	16	
	100.0%	6.1%	21.2%	42.4%	15.2%	15.2%	3.0%	0.0%	24.2%	24.2%	48.5%		
	男性	251	13	54	117	55	12	11	39	106	69	26	
		100.0%	5.2%	21.5%	46.6%	21.9%	4.8%	4.4%	15.5%	42.2%	27.5%	10.4%	
		18～29歳	8	1	2	2	2	1	0	1	3	4	0
		100.0%	12.5%	25.0%	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%	12.5%	37.5%	50.0%	0.0%	
		30～39歳	6	0	1	4	1	0	0	1	4	1	0
		100.0%	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	
		40～49歳	18	1	2	9	6	0	0	0	4	14	0
		100.0%	5.6%	11.1%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	77.8%	0.0%	
50～59歳		40	3	12	14	10	1	2	6	17	14	1	
100.0%		7.5%	30.0%	35.0%	25.0%	2.5%	5.0%	15.0%	42.5%	35.0%	2.5%		
60～69歳		66	2	8	39	16	1	2	14	30	17	3	
100.0%		3.0%	12.1%	59.1%	24.2%	1.5%	3.0%	21.2%	45.5%	25.8%	4.5%		
70～79歳		74	2	20	31	18	3	6	12	36	12	8	
100.0%		2.7%	27.0%	41.9%	24.3%	4.1%	8.1%	16.2%	48.6%	16.2%	10.8%		
80歳以上	28	3	8	13	1	3	1	3	8	5	11		
100.0%	10.7%	28.6%	46.4%	3.6%	10.7%	3.6%	10.7%	28.6%	17.9%	39.3%			
性・世帯状況別	女性	単身世帯	39	1	14	13	7	4	3	5	11	10	10
		100.0%	2.6%	35.9%	33.3%	17.9%	10.3%	7.7%	12.8%	28.2%	25.6%	25.6%	
		夫婦世帯	119	6	25	57	24	7	5	18	42	34	20
		100.0%	5.0%	21.0%	47.9%	20.2%	5.9%	4.2%	15.1%	35.3%	28.6%	16.8%	
		二世帯世帯	55	5	15	24	8	3	4	7	20	15	9
	100.0%	9.1%	27.3%	43.6%	14.5%	5.5%	7.3%	12.7%	36.4%	27.3%	16.4%		
	三世帯世帯	4	1	1	2	0	0	0	2	2	0	0	
	100.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
	男性	単身世帯	34	5	7	12	8	2	2	7	12	11	2
		100.0%	14.7%	20.6%	35.3%	23.5%	5.9%	5.9%	20.6%	35.3%	32.4%	5.9%	
夫婦世帯		135	3	31	66	30	5	5	21	61	34	14	
100.0%		2.2%	23.0%	48.9%	22.2%	3.7%	3.7%	15.6%	45.2%	25.2%	10.4%		
二世帯世帯		46	4	9	20	13	0	3	5	17	19	2	
100.0%	8.7%	19.6%	43.5%	28.3%	0.0%	6.5%	10.9%	37.0%	41.3%	4.3%			
三世帯世帯	3	0	2	1	0	0	0	0	2	1	0		
100.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%			
性・結婚の状況別	女性	結婚している(事実婚を含む)	171	9	43	80	30	9	9	26	65	46	25
		100.0%	5.3%	25.1%	46.8%	17.5%	5.3%	5.3%	15.2%	38.0%	26.9%	14.6%	
		離別・死別	50	4	12	22	8	4	5	7	14	12	12
		100.0%	8.0%	24.0%	44.0%	16.0%	8.0%	10.0%	14.0%	28.0%	24.0%	24.0%	
		未婚	12	1	3	4	3	1	0	2	2	5	3
		100.0%	8.3%	25.0%	33.3%	25.0%	8.3%	0.0%	16.7%	16.7%	41.7%	25.0%	
	男性	結婚している(事実婚を含む)	188	6	42	90	43	7	7	26	84	52	19
		100.0%	3.2%	22.3%	47.9%	22.9%	3.7%	3.7%	13.8%	44.7%	27.7%	10.1%	
		離別・死別	28	3	4	12	8	1	1	6	9	10	2
		100.0%	10.7%	14.3%	42.9%	28.6%	3.6%	3.6%	21.4%	32.1%	35.7%	7.1%	
未婚	24	3	7	10	3	1	2	5	10	6	1		
100.0%	12.5%	29.2%	41.7%	12.5%	4.2%	8.3%	20.8%	41.7%	25.0%	4.2%			

図表 7-(2)-9 生活上の不安や困難（健康、孤独）【性・年代別、性・世帯の状況別、性・結婚の状況別】

		サンプル数	健康					孤独				
			とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答	とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答
総計		508	76	229	129	38	36	19	76	233	145	35
		100.0%	15.0%	45.1%	25.4%	7.5%	7.1%	3.7%	15.0%	45.9%	28.5%	6.9%
性・年代別	女性	245	42	115	56	16	16	8	42	109	69	17
		100.0%	17.1%	46.9%	22.9%	6.5%	6.5%	3.3%	17.1%	44.5%	28.2%	6.9%
		6	1	0	3	2	0	0	2	1	3	0
		100.0%	16.7%	0.0%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	50.0%	0.0%
		9	0	3	3	3	0	0	2	4	3	0
		100.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	22.2%	44.4%	33.3%	0.0%
		22	3	10	6	3	0	2	4	9	7	0
		100.0%	13.6%	45.5%	27.3%	13.6%	0.0%	9.1%	18.2%	40.9%	31.8%	0.0%
	男性	35	4	15	12	2	2	0	5	19	9	2
		100.0%	11.4%	42.9%	34.3%	5.7%	5.7%	0.0%	14.3%	54.3%	25.7%	5.7%
		62	8	40	10	2	2	1	9	32	18	2
		100.0%	12.9%	64.5%	16.1%	3.2%	3.2%	1.6%	14.5%	51.6%	29.0%	3.2%
		68	17	28	17	2	4	3	16	28	17	4
		100.0%	25.0%	41.2%	25.0%	2.9%	5.9%	4.4%	23.5%	41.2%	25.0%	5.9%
		33	8	15	3	2	5	1	2	12	12	6
		100.0%	24.2%	45.5%	9.1%	6.1%	15.2%	3.0%	6.1%	36.4%	36.4%	18.2%
	女性	251	33	113	73	22	10	11	34	123	75	8
		100.0%	13.1%	45.0%	29.1%	8.8%	4.0%	4.4%	13.5%	49.0%	29.9%	3.2%
		8	0	1	3	3	1	1	1	2	4	0
		100.0%	0.0%	12.5%	37.5%	37.5%	12.5%	12.5%	12.5%	25.0%	50.0%	0.0%
		6	1	2	2	1	0	1	2	2	1	0
		100.0%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%
		18	3	8	2	5	0	0	5	6	7	0
		100.0%	16.7%	44.4%	11.1%	27.8%	0.0%	0.0%	27.8%	33.3%	38.9%	0.0%
	男性	40	7	13	15	4	1	2	7	16	14	1
		100.0%	17.5%	32.5%	37.5%	10.0%	2.5%	5.0%	17.5%	40.0%	35.0%	2.5%
		66	4	34	22	4	2	1	10	34	19	2
		100.0%	6.1%	51.5%	33.3%	6.1%	3.0%	1.5%	15.2%	51.5%	28.8%	3.0%
		74	11	37	22	3	1	2	5	48	18	1
		100.0%	14.9%	50.0%	29.7%	4.1%	1.4%	2.7%	6.8%	64.9%	24.3%	1.4%
		28	6	13	6	1	2	3	3	11	10	1
		100.0%	21.4%	46.4%	21.4%	3.6%	7.1%	10.7%	10.7%	39.3%	35.7%	3.6%
性・世帯状況別	女性	39	6	18	9	2	4	0	8	16	10	5
		100.0%	15.4%	46.2%	23.1%	5.1%	10.3%	0.0%	20.5%	41.0%	25.6%	12.8%
		119	19	55	32	7	6	1	18	62	32	6
		100.0%	16.0%	46.2%	26.9%	5.9%	5.0%	0.8%	15.1%	52.1%	26.9%	5.0%
	男性	55	9	28	11	6	1	3	10	21	20	1
		100.0%	16.4%	50.9%	20.0%	10.9%	1.8%	5.5%	18.2%	38.2%	36.4%	1.8%
		4	0	2	1	1	0	0	1	2	1	0
		100.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
		34	5	16	7	4	2	3	7	17	6	1
		100.0%	14.7%	47.1%	20.6%	11.8%	5.9%	8.8%	20.6%	50.0%	17.6%	2.9%
		135	18	56	49	9	3	3	13	71	45	3
		100.0%	13.3%	41.5%	36.3%	6.7%	2.2%	2.2%	9.6%	52.6%	33.3%	2.2%
		46	5	25	11	5	0	1	7	21	17	0
		100.0%	10.9%	54.3%	23.9%	10.9%	0.0%	2.2%	15.2%	45.7%	37.0%	0.0%
		3	0	2	1	0	0	0	1	2	0	0
		100.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
性・結婚の状況別	女性	171	26	84	42	12	7	3	31	81	49	7
		100.0%	15.2%	49.1%	24.6%	7.0%	4.1%	1.8%	18.1%	47.4%	28.7%	4.1%
		50	10	25	9	2	4	3	5	22	16	4
		100.0%	20.0%	50.0%	18.0%	4.0%	8.0%	6.0%	10.0%	44.0%	32.0%	8.0%
	男性	12	4	3	3	2	0	1	4	3	4	0
		100.0%	33.3%	25.0%	25.0%	16.7%	0.0%	8.3%	33.3%	25.0%	33.3%	0.0%
		188	21	83	63	16	5	5	21	96	62	4
		100.0%	11.2%	44.1%	33.5%	8.5%	2.7%	2.7%	11.2%	51.1%	33.0%	2.1%
	女性	28	6	15	4	2	1	2	6	12	8	0
		100.0%	21.4%	53.6%	14.3%	7.1%	3.6%	7.1%	21.4%	42.9%	28.6%	0.0%
		24	5	11	4	3	1	2	6	12	3	1
		100.0%	20.8%	45.8%	16.7%	12.5%	4.2%	8.3%	25.0%	50.0%	12.5%	4.2%

図表 7-(2)-10 生活上の不安や困難（困ったときの支援、家族関係）【性・年代別、性・世帯の状況別、性・結婚の状況別】

			サ ン プ ル 数	困ったときの支援					家族関係				
				と と も 感 じ る	あ る 程 度 感 じ る	あ ま り 感 じ な い	ま っ た く 感 じ な い	無 回 答	と と も 感 じ る	あ る 程 度 感 じ る	あ ま り 感 じ な い	ま っ た く 感 じ な い	無 回 答
総計			508	21	88	180	174	45	13	74	190	190	41
			100.0%	4.1%	17.3%	35.4%	34.3%	8.9%	2.6%	14.6%	37.4%	37.4%	8.1%
性・年代別	女性		245	12	36	85	87	25	9	32	89	98	17
			100.0%	4.9%	14.7%	34.7%	35.5%	10.2%	3.7%	13.1%	36.3%	40.0%	6.9%
		18～29歳	6	0	0	2	4	0	0	1	2	3	0
			100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%
		30～39歳	9	1	1	2	5	0	0	2	1	6	0
			100.0%	11.1%	11.1%	22.2%	55.6%	0.0%	0.0%	22.2%	11.1%	66.7%	0.0%
		40～49歳	22	2	3	10	7	0	0	7	4	11	0
			100.0%	9.1%	13.6%	45.5%	31.8%	0.0%	0.0%	31.8%	18.2%	50.0%	0.0%
		50～59歳	35	0	10	10	13	2	2	2	16	13	2
			100.0%	0.0%	28.6%	28.6%	37.1%	5.7%	5.7%	5.7%	45.7%	37.1%	5.7%
	60～69歳	62	3	8	21	26	4	0	11	26	23	2	
		100.0%	4.8%	12.9%	33.9%	41.9%	6.5%	0.0%	17.7%	41.9%	37.1%	3.2%	
	70～79歳	68	3	12	27	20	6	4	5	30	25	4	
		100.0%	4.4%	17.6%	39.7%	29.4%	8.8%	5.9%	7.4%	44.1%	36.8%	5.9%	
	80歳以上	33	2	1	9	11	10	1	2	8	15	7	
		100.0%	6.1%	3.0%	27.3%	33.3%	30.3%	3.0%	6.1%	24.2%	45.5%	21.2%	
男性		251	9	52	94	86	10	4	42	100	91	14	
		100.0%	3.6%	20.7%	37.5%	34.3%	4.0%	1.6%	16.7%	39.8%	36.3%	5.6%	
	18～29歳	8	0	2	2	4	0	0	2	2	4	0	
		100.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	
	30～39歳	6	1	0	2	3	0	1	1	3	1	0	
		100.0%	16.7%	0.0%	33.3%	50.0%	0.0%	16.7%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	
	40～49歳	18	1	2	7	8	0	1	0	7	10	0	
		100.0%	5.6%	11.1%	38.9%	44.4%	0.0%	5.6%	0.0%	38.9%	55.6%	0.0%	
	50～59歳	40	3	9	14	13	1	2	9	11	17	1	
		100.0%	7.5%	22.5%	35.0%	32.5%	2.5%	5.0%	22.5%	27.5%	42.5%	2.5%	
60～69歳	66	2	8	31	23	2	0	14	23	24	5		
	100.0%	3.0%	12.1%	47.0%	34.8%	3.0%	0.0%	21.2%	34.8%	36.4%	7.6%		
70～79歳	74	2	19	27	24	2	0	8	37	26	3		
	100.0%	2.7%	25.7%	36.5%	32.4%	2.7%	0.0%	10.8%	50.0%	35.1%	4.1%		
80歳以上	28	0	10	8	8	2	0	6	11	9	2		
	100.0%	0.0%	35.7%	28.6%	28.6%	7.1%	0.0%	21.4%	39.3%	32.1%	7.1%		
性・世帯状況別	女性	単身世帯	39	0	6	13	14	6	0	5	14	14	6
			100.0%	0.0%	15.4%	33.3%	35.9%	15.4%	0.0%	12.8%	35.9%	35.9%	15.4%
		夫婦世帯	119	3	21	37	47	11	1	12	44	56	6
			100.0%	2.5%	17.6%	31.1%	39.5%	9.2%	0.8%	10.1%	37.0%	47.1%	5.0%
		二世帯世帯	55	5	6	26	16	2	1	8	22	23	1
		100.0%	9.1%	10.9%	47.3%	29.1%	3.6%	1.8%	14.5%	40.0%	41.8%	1.8%	
	三世帯世帯	4	0	0	3	1	0	0	2	2	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
	男性	単身世帯	34	3	10	12	8	1	1	7	8	12	6
	100.0%	8.8%	29.4%	35.3%	23.5%	2.9%	2.9%	20.6%	23.5%	35.3%	17.6%		
夫婦世帯	135	4	26	49	52	4	2	22	57	51	3		
	100.0%	3.0%	19.3%	36.3%	38.5%	3.0%	1.5%	16.3%	42.2%	37.8%	2.2%		
二世帯世帯	46	2	10	16	17	1	1	6	18	21	0		
	100.0%	4.3%	21.7%	34.8%	37.0%	2.2%	2.2%	13.0%	39.1%	45.7%	0.0%		
三世帯世帯	3	0	1	2	0	0	0	0	2	1	0		
	100.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%		
性・結婚の状況別	女性	結婚している(事実婚を含む)	171	6	29	59	63	14	5	22	62	74	8
			100.0%	3.5%	17.0%	34.5%	36.8%	8.2%	2.9%	12.9%	36.3%	43.3%	4.7%
		離別・死別	50	5	4	17	19	5	2	5	23	16	4
		100.0%	10.0%	8.0%	34.0%	38.0%	10.0%	4.0%	10.0%	46.0%	32.0%	8.0%	
	未婚	12	0	2	6	4	0	0	3	2	7	0	
		100.0%	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	25.0%	16.7%	58.3%	0.0%	
	男性	結婚している(事実婚を含む)	188	4	35	71	72	6	2	32	80	70	4
	100.0%	2.1%	18.6%	37.8%	38.3%	3.2%	1.1%	17.0%	42.6%	37.2%	2.1%		
離別・死別	28	2	7	10	9	0	1	6	7	12	2		
	100.0%	7.1%	25.0%	35.7%	32.1%	0.0%	3.6%	21.4%	25.0%	42.9%	7.1%		
未婚	24	3	7	9	4	1	1	3	8	9	3		
	100.0%	12.5%	29.2%	37.5%	16.7%	4.2%	4.2%	12.5%	33.3%	37.5%	12.5%		

図表 7-(2)-11 生活上の不安や困難（災害や事件・事故）【性・年代別、性・世帯の状況別、性・結婚の状況別】

		サンプル数	災害や事件・事故				
			とても感じる	ある程度感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答
総計		508 100.0%	56 11.0%	219 43.1%	148 29.1%	50 9.8%	35 6.9%
性・年代別	女性	245 100.0%	36 14.7%	108 44.1%	60 24.5%	26 10.6%	15 6.1%
		6 100.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	4 66.7%	0 0.0%
	18～29歳	9 100.0%	0 0.0%	2 22.2%	5 55.6%	2 22.2%	0 0.0%
	30～39歳	22 100.0%	5 22.7%	8 36.4%	6 27.3%	3 13.6%	0 0.0%
	40～49歳	35 100.0%	4 11.4%	11 31.4%	13 37.1%	5 14.3%	2 5.7%
	50～59歳	62 100.0%	5 8.1%	35 56.5%	16 25.8%	4 6.5%	2 3.2%
	60～69歳	68 100.0%	15 22.1%	31 45.6%	12 17.6%	6 8.8%	4 5.9%
	70～79歳	33 100.0%	6 18.2%	16 48.5%	5 15.2%	2 6.1%	4 12.1%
	80歳以上	251 100.0%	19 7.6%	111 44.2%	87 34.7%	24 9.6%	10 4.0%
	男性	8 100.0%	1 12.5%	1 12.5%	3 37.5%	3 37.5%	0 0.0%
		6 100.0%	1 16.7%	1 16.7%	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%
	18～29歳	18 100.0%	1 5.6%	8 44.4%	5 27.8%	4 22.2%	0 0.0%
	30～39歳	40 100.0%	1 2.5%	20 50.0%	14 35.0%	4 10.0%	1 2.5%
	40～49歳	66 100.0%	3 4.5%	32 48.5%	22 33.3%	8 12.1%	1 1.5%
	50～59歳	74 100.0%	5 6.8%	38 51.4%	27 36.5%	2 2.7%	2 2.7%
	60～69歳	28 100.0%	7 25.0%	8 28.6%	11 39.3%	1 3.6%	1 3.6%
	70～79歳	39 100.0%	4 10.3%	20 51.3%	9 23.1%	3 7.7%	3 7.7%
	80歳以上	119 100.0%	15 12.6%	52 43.7%	31 26.1%	15 12.6%	6 5.0%
性・世帯状況別	女性	55 100.0%	10 18.2%	23 41.8%	15 27.3%	6 10.9%	1 1.8%
		4 100.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%
		34 100.0%	0 0.0%	17 50.0%	13 38.2%	4 11.8%	0 0.0%
		135 100.0%	14 10.4%	60 44.4%	45 33.3%	12 8.9%	4 3.0%
	男性	46 100.0%	2 4.3%	20 43.5%	17 37.0%	6 13.0%	1 2.2%
		3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
性・結婚の状況別	女性	171 100.0%	24 14.0%	75 43.9%	44 25.7%	21 12.3%	7 4.1%
		50 100.0%	9 18.0%	24 48.0%	11 22.0%	3 6.0%	3 6.0%
		12 100.0%	2 16.7%	5 41.7%	3 25.0%	2 16.7%	0 0.0%
	男性	188 100.0%	18 9.6%	82 43.6%	66 35.1%	17 9.0%	5 2.7%
		28 100.0%	0 0.0%	15 53.6%	10 35.7%	2 7.1%	1 3.6%
		24 100.0%	1 4.2%	12 50.0%	7 29.2%	4 16.7%	0 0.0%

8 役場の男女共同参画施策について

男女共同参画社会を実現するために役場が力を入れていくべきこと

Q20 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、役場が力を入れていくべきだと思うこと（複数回答）【問 18】	
①地域が男女平等になるよう制度や事業の見直しを行う	『制度や事業の見直し』
②役場の管理職や審議会委員など、政策決定の場に女性を積極的に登用する	『政策決定の場への女性登用』
③民間企業や団体などの管理職に女性の登用が進むように支援する	『企業等管理職への女性登用』
④女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する	『相談の場の提供』
⑤女性が少ない分野への女性の参加、男性が少ない分野への男性の参加を支援する	『男女のそれぞれ少ない分野への参加支援』
⑥保育の施設やサービス、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する	『保育・介護サービスの充実』
⑦子どもたちへの男女平等や人権についての学習機会を充実する	『子どもの学習機会の充実』
⑧労働時間の短縮や在宅勤務制度の導入など働き方の見直しを事業所に働きかける	『働き方の見直しの事業所への働きかけ』
⑨仕事と育児・介護等との両立支援制度の充実を事業所に働きかける	『仕事と育児・介護等の両立支援制度の事業所への働きかけ』
⑩育児や介護などで一旦仕事を辞めた人の再就職や就労に困難を抱えている人の就職を支援する	『再就職や就労支援』
⑪住民への男女平等や人権についての生涯学習や啓発活動を進める	『住民への生涯学習・啓発活動』
⑫女性に対する暴力を根絶するための取組を進める	『女性に対する暴力根絶の取組』
⑬男女共同参画に関する行政・教育関係者の研修を充実する	『行政・教育関係者の研修充実』
⑭その他	

ア 総計（図表 8-1）

- 男女共同参画社会の実現のために役場が力を入れるべきことについて訊いたところ、『保育・介護サービスの充実』と回答した割合が最も高く(44.5%)、次いで『再就職や就労支援』(34.4%)、『政策決定の場への女性登用』(30.9%)、『仕事と育児・介護等の両立支援制度の事業所への働きかけ』(29.7%)。

イ 性別・性・年代別（図表 8-1,2）

- 男女とも『保育・介護サービスの充実』(45.7%と45.0%)、『再就職や就労支援』(38.0%と32.3%)、『仕事と育児・介護等の両立支援制度の事業所への働きかけ』(31.4%と29.5%)と回答した割合が高く、その他男性では『政策決定の場への女性登用』(36.7%)が高くなっている。
- 女性は、『働き方の見直しの事業所への働きかけ』及び『仕事と育児・介護等の両立支援制度の事業所への働きかけ』と回答した割合が40代以下で高く、特に後者は40代が高い(63.6%)。30～70代では、『保育・介護サービスの充実』と回答した割合が高く、30代と40代で5割を超えている(55.6%と54.5%)。その他、30代は『子どもの学習機会の充実』、40代は『再就職や就労支援』で5割を超えている。40代の女性は、『政策決定の場や企業等管理職への女性登用』、『女性に対する暴力根絶の取組』と回答した割合も他の年代に比べて高い。
- 男性では、30代の『仕事と育児・介護等の両立支援制度の事業所への働きかけ』、50代以上の『保育・介護サービスの充実』、60代と70代の『政策決定の場への女性登用』で回答した割合が4割を超えているものの、女性に比べて低い。なお、年代が高い方が割合が高い傾向にある。

ウ 奄美大島4町村・県・内閣府調査との比較（図表 8-1）

- 奄美大島4町村の調査と比較すると、総計及び男女とも、ほぼ全ての項目で回答した割合が低い。特に女性の『企業等管理職への女性登用』と『政策決定の場への女性の登用』の割合は低く、それぞれ10.2ポイント、8.3ポイントの差がある。
- 県調査と比較すると、選択項目が異なり、「3つ以内で選択する」となっているため単純に比較はできないが、本村の方が『保育・介護サービスの充実』、『政策決定の場への女性の登用』及び『再就職や就職支援』と回答した割合が高く、『子どもの学習機会の充実』が下回っている。
- 内閣府調査と比較すると、全ての項目で本村の方が総計及び男女とも回答した割合が低い。特に、『仕事と育児・介護等の両立支援制度の事業所への働きかけ』と『働き方の見直しの事業所への働きかけ』、『再就職や就労支援』の差が大きい。

エ 職業別・中学生以下の子どもの有無別（図表 8-2）

- ・ 職業別でみると、男女とも職業にかかわらず『保育・介護サービスの充実』と回答した割合が高く、「非正規雇用者」では『再就職や就労支援』と回答した割合が高い。また、雇用者より「自営業者」の方が、男女とも『政策決定の場への女性登用』や『企業等管理職への女性登用』と回答した割合が高い。
- ・ 「中学校以下の子どものいる」人は、「いない」人に比べて総じて回答した割合が低い。

図表 8-1 男女共同参画社会を実現するために役場が力を入れていくべきこと（複数回答）

【総計、性別、奄美大島4町村、県・内閣府調査】

	今回調査			奄美大島4町村			県調査			内閣府調査		
	総計	女性	男性	総計	女性	男性	総計	女性	男性	総計	女性	男性
	(n=508)	(n=245)	(n=251)	(n=2,147)	(n=1,109)	(n=990)	(n=2,094)	(n=1,200)	(n=875)	(n=2,847)	(n=1,534)	(n=1,313)
制度や事業の見直し	27.8%	25.3%	31.5%	32.1%	30.3%	35.5%	...	...	...	47.9%	46.8%	49.1%
政策決定の場への女性登用	30.9%	26.1%	36.7%	36.7%	34.4%	40.8%	6.6%	4.4%	6.1%	44.9%	45.8%	43.7%
企業等管理職への女性登用	17.1%	11.4%	23.5%	23.5%	21.6%	26.4%	...	...	...	38.6%	37.3%	39.6%
相談の場の提供	18.5%	18.0%	19.5%	21.1%	20.6%	22.3%	...	...	...	26.6%	27.6%	25.4%
男女のそれぞれ少ない分野への参加支援	24.8%	25.3%	25.5%	28.1%	28.5%	28.7%	...	...	...	30.4%	32.5%	28.0%
保育・介護サービスの充実	44.5%	45.7%	45.0%	47.6%	51.2%	45.3%	25.0%	32.1%	30.0%	59.3%	64.6%	53.0%
子どもの学習機会の充実	23.4%	23.3%	24.7%	28.5%	28.4%	29.7%	51.0%	43.0%	49.4%	...	...	...
働き方の見直しの事業所への働きかけ	20.5%	20.4%	21.5%	24.9%	25.2%	25.5%	29.4%	32.8%	33.9%	50.2%	50.3%	50.1%
仕事と育児・介護等の両立支援制度の事業所への働きかけ	29.7%	31.4%	29.5%	33.2%	36.7%	30.5%				63.5%	66.6%	59.9%
再就職や就労支援	34.4%	38.0%	32.3%	38.8%	40.8%	38.0%	6.8%	6.8%	8.3%	62.7%	65.3%	59.3%
住民への生涯学習・啓発活動	17.7%	18.4%	17.9%	20.3%	20.0%	21.5%	12.9%	12.1%	15.1%	25.5%	24.6%	26.6%
女性に対する暴力根絶の取組	9.8%	8.2%	12.0%	13.6%	13.1%	14.6%	17.3%	15.3%	18.5%	28.5%	28.9%	28.0%
行政・教育関係者の研修充実	17.1%	13.9%	21.1%	22.0%	21.7%	23.1%	...	...	...	...	...	...
その他	1.2%	1.2%	1.2%	1.1%	0.8%	1.4%	...	...	...	...	...	...
無回答	13.8%	13.1%	10.8%	10.1%	9.9%	7.1%	18.1%	15.8%	18.6%	1.1%	1.1%	1.0%

※県及び内閣府の調査では選択項目がないものがある。

※県調査では、県が力を入れていくべきことを訊いている。その調査での「女性の就業支援」は「再就職や就労支援」と読み替え、「無回答」には「特になし」「わからない」を含む。

※内閣府調査では、行政が力を入れていくべきことを訊いている。その調査での「女性の少ない分野への進出支援」は「男女のそれぞれ少ない分野の参加支援」、「住民の学習機会」は「住民への生涯学習・啓発活動」、「育児や介護などでいったん仕事を辞めた人の再就職を支援」は「再就職や就労支援」にそれぞれ読み替える。

図表 8-2 男女共同参画社会を実現するために役場が力を入れていくべきこと（複数回答）

【性・年代別、性・職業別、中学生以下の子どもの有無別】

		サ ン プ ル 数	制 度 や 事 業 の 見 直 し	政 策 決 定 の 場 へ の 女 性 登 用	企 業 等 管 理 職 へ の 女 性 登 用	相 談 の 場 の 提 供	男 女 の そ れ ぞ れ 少 な い 分 野 へ	保 育 ・ 介 護 サ ー ビ ス の 充 実	子 ど も の 学 習 機 会 の 充 実	働 き か け の 見 直 し の 事 業 所 へ	仕 事 と 育 児 ・ 介 護 等 の 両 立 け 支 援 制 度 の 事 業 所 へ	再 就 職 や 就 労 支 援	住 民 へ の 生 涯 学 習 ・ 啓 発 活 動	女 性 に 対 する 暴 力 根 絶 の 取 組	行 政 ・ 教 育 関 係 者 の 研 修 充 実	そ の 他	無 回 答
総計		508	141 27.8%	157 30.9%	87 17.1%	94 18.5%	126 24.8%	226 44.5%	119 23.4%	104 20.5%	151 29.7%	175 34.4%	90 17.7%	50 9.8%	87 17.1%	6 1.2%	70 13.8%
性・年代別	女性	245	62 25.3%	64 26.1%	28 11.4%	44 18.0%	62 25.3%	112 45.7%	57 23.3%	50 20.4%	77 31.4%	93 38.0%	45 18.4%	20 8.2%	34 13.9%	3 1.2%	32 13.1%
	18～29歳	6	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	3 50.0%	3 50.0%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
	30～39歳	9	1 11.1%	3 33.3%	1 11.1%	2 22.2%	2 22.2%	5 55.6%	6 66.7%	3 33.3%	5 55.6%	4 44.4%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40～49歳	22	7 31.8%	8 36.4%	6 27.3%	4 18.2%	6 27.3%	12 54.5%	8 36.4%	11 50.0%	14 63.6%	12 54.5%	3 13.6%	5 22.7%	4 18.2%	1 4.5%	0 0.0%
	50～59歳	35	10 28.6%	7 20.0%	2 5.7%	5 14.3%	8 22.9%	17 48.6%	6 17.1%	6 17.1%	13 37.1%	12 34.3%	5 14.3%	2 5.7%	4 11.4%	2 5.7%	3 8.6%
	60～69歳	62	23 37.1%	18 29.0%	9 14.5%	10 16.1%	19 30.6%	27 43.5%	16 25.8%	10 16.1%	12 19.4%	27 43.5%	11 17.7%	4 6.5%	9 14.5%	0 0.0%	5 8.1%
	70～79歳	68	14 20.6%	19 27.9%	5 7.4%	18 26.5%	20 29.4%	33 48.5%	12 17.6%	10 14.7%	18 26.5%	23 33.8%	14 20.6%	4 5.9%	6 8.8%	0 0.0%	10 14.7%
	80歳以上	33	4 12.1%	7 21.2%	4 12.1%	2 6.1%	5 15.2%	13 39.4%	7 21.2%	6 18.2%	8 24.2%	9 27.3%	10 30.3%	3 9.1%	9 27.3%	0 0.0%	11 33.3%
	男性	251	79 32.2%	92 37.6%	59 24.1%	49 20.0%	64 26.1%	113 46.1%	62 25.3%	54 22.0%	74 30.2%	81 33.1%	45 18.4%	30 12.2%	53 21.6%	3 1.2%	27 11.0%
	18～29歳	8	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	2 25.0%
	30～39歳	6	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%
	40～49歳	18	5 27.8%	6 33.3%	4 22.2%	4 22.2%	3 16.7%	7 38.9%	4 22.2%	7 38.9%	6 33.3%	4 22.2%	2 11.1%	3 16.7%	2 11.1%	1 5.6%	2 11.1%
	50～59歳	40	13 32.5%	10 25.0%	9 22.5%	8 20.0%	8 20.0%	18 45.0%	12 30.0%	9 22.5%	13 32.5%	14 35.0%	8 20.0%	7 17.5%	9 22.5%	0 0.0%	3 7.5%
	60～69歳	66	19 28.8%	27 40.9%	11 16.7%	16 24.2%	22 33.3%	37 56.1%	17 25.8%	12 18.2%	22 33.3%	24 36.4%	12 18.2%	10 15.2%	16 24.2%	1 1.5%	6 9.1%
	70～79歳	74	29 39.2%	34 45.9%	23 31.1%	12 16.2%	21 28.4%	32 43.2%	21 28.4%	20 27.0%	18 24.3%	25 33.8%	19 25.7%	5 6.8%	18 24.3%	0 0.0%	5 6.8%
	80歳以上	28	7 25.0%	11 39.3%	8 28.6%	5 17.9%	6 21.4%	15 53.6%	4 14.3%	3 10.7%	9 32.1%	11 39.3%	3 10.7%	4 14.3%	5 17.9%	0 0.0%	5 17.9%
性・職業別	女性	46	9 19.6%	11 23.9%	5 10.9%	8 17.4%	10 21.7%	26 56.5%	11 23.9%	10 21.7%	19 41.3%	18 39.1%	4 8.7%	3 6.5%	4 8.7%	0 0.0%	2 4.3%
	非正規雇用者	53	16 30.2%	11 20.8%	4 7.5%	8 15.1%	18 34.0%	24 45.3%	16 30.2%	12 22.6%	20 37.7%	27 50.9%	9 17.0%	4 7.5%	5 9.4%	0 0.0%	3 5.7%
	自営業者	16	7 43.8%	7 43.8%	3 18.8%	4 25.0%	2 12.5%	8 50.0%	5 31.3%	7 43.8%	7 43.8%	6 25.0%	3 37.5%	3 18.8%	3 18.8%	3 18.8%	0 0.0%
	無職	114	28 24.6%	32 28.1%	14 12.3%	22 19.3%	29 25.4%	48 42.1%	22 19.3%	19 16.7%	26 22.8%	38 33.3%	24 21.1%	9 7.9%	20 17.5%	0 0.0%	22 19.3%
	男性	79	26 32.9%	21 26.6%	14 17.7%	13 16.5%	18 22.8%	32 40.5%	20 25.3%	20 25.3%	26 32.9%	21 26.6%	13 16.5%	9 11.4%	16 20.3%	1 1.3%	7 8.9%
	非正規雇用者	32	8 25.0%	13 40.6%	5 15.6%	5 15.6%	7 21.9%	16 50.0%	7 21.9%	5 15.6%	5 15.6%	17 53.1%	4 12.5%	2 6.3%	5 15.6%	2 6.3%	2 6.3%
	自営業者	24	5 20.8%	11 45.8%	9 37.5%	4 16.7%	5 20.8%	12 50.0%	6 25.0%	4 16.7%	10 41.7%	7 29.2%	4 16.7%	3 12.5%	7 29.2%	0 0.0%	5 20.8%
	無職	97	35 36.1%	42 43.3%	26 26.8%	18 18.6%	28 28.9%	47 48.5%	23 23.7%	22 22.7%	29 29.9%	31 32.0%	22 22.7%	13 13.4%	20 20.6%	0 0.0%	7 7.2%
中学生以下 の子ども	いる	71	17 23.9%	14 19.7%	8 11.3%	10 14.1%	10 14.1%	21 29.6%	18 25.4%	18 25.4%	27 38.0%	22 31.0%	4 5.6%	9 12.7%	4 5.6%	2 2.8%	3 4.2%
	いない	437	124 28.4%	143 32.7%	79 18.1%	84 19.2%	116 26.5%	205 46.9%	101 23.1%	86 19.7%	124 28.4%	153 35.0%	86 19.7%	41 9.4%	83 19.0%	4 0.9%	67 15.3%

※中学生以下の子どもが「いない」は、総計から「いる」を削除した人数

「⑩その他」

- ・「男女」と性を二分する考え方がかなり古い表現であることを伝える。(50代女性)
- ・まずは職員がジェンダーフリーについて学ぶ。(50代女性)
- ・現状維持で良いと思います。(30代男性)
- ・村民が主体となって学んだり、考えたりする場を作る。(40代女性)
- ・誰もが互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、これが無い。(60代男性)
- ・力を入れる必要なし。(40代男性)

9 男女共同参画社会の実現に向けての意見・要望

Q21 男女共同参画社会の実現に向けての意見・要望【問 19】

■男女共同参画に関する考え方（意識・風潮）（12 件）

- ・ 自由な発言ができるような地づくりを目指すことが必要。チャレンジすることの意味を考えること。何もしないのは衰退だけ。(60 代男性)
- ・ 男女共同参画社会実現のために問 18 の選択肢の内容が実現できたら良いことだと思う。(80 歳以上男性)
- ・ 男女平等の世の中、社会であること。(80 歳以上男性)
- ・ 社会的場面においては、意欲・能力があれば性別に関係なく出番の機会を確保すべきだと考える。家庭内においては、構成メンバー間の話し合いで役割等を決めれば良いと考える。(60 代男性)
- ・ 「男女」の表現（二分のみ）は、そろそろ時代遅れと感じる。(50 代女性)
- ・ 家庭≒男女共有の者≒共同責任(70 代男性)
- ・ 簡単に言うと、男が仕事、女が家庭（逆でも）で良く、それに対して感謝をし、互いに尊重すれば良いと思う。この政策が少子化推進しているように思う。(40 代男性)
- ・ 男女の違いを平等で表現するのは大変難しい。ただ、お互いの違いを理解、尊重し合える環境を整える努力を常にすることが平等への精進だと考える。(60 代男性)
- ・ 今の平和な世の中なので、あえて男女共同参画社会づくりに頭を使うことはないと思う。今は女性の方々も強く言うが、たくましくなってきた心配ないので、世の中なるようにまっすぐ波に乗りたいと思う。あまり難しく考えずにね。(80 歳以上男性)
- ・ 男のいいところ、女のいいところがあるはず。それを男女平等にする必要はないと思う。(60 代男性)
- ・ 自分のことを棚に上げて、他人の文句や噂話を楽しんでいる人が多いすぎる。本当に気持ち悪い。そんなことして許されるのは中学生まで。30 歳過ぎたいい大人がそんなことを普通にしているのは却ておかしい。見てられない。恥を知った方がいい。そんな低レベルなことをしていることにみんな気づいていないので、まず気づいた方がいい。一人一人が人間的に成長していかなければ、村民の個性と能力を尊重することなんてできない。村の成長もない。危機感を持った方がいい。(年代・性別無回答)
- ・ 村の各種団体のメンバーに役場経験者（教員、JA 職員含む）がなんと多いのか！男女共同参画社会という以前に男性の中でも上・下を決めていることを是正すべき！（70 代男性）

■子育て・介護（1 件）

- ・ 子どもを育てる世代が住みやすい村にさらになってほしい。(40 代女性)

■職場・労働（6 件）

- ・ 男性が育児に積極的に参加できるようになるには職場・上司の理解が必須。役場が積極的にモデルとなるべき。(30 代女性)
- ・ 差別はあってはならないが、身体的な区別が必要な場面はあると思う。男性の育休取得は賛成だが、それに伴い他の職員への負担が大きいかということもわかってほしい。(50 代男性)
- ・ 子育て中の母親が働きやすい場があるといいと思う。(年代不明女性)
- ・ 人手不足、経費高騰の中、(中小) 企業は大きな苦戦を強いられている。男性社員の育児休暇等を理解しているものの業務が滞る不安が付きまとい、人員補充や休業補償等の行政からの支援がなくては進められない現状。(50 代男性)
- ・ 男女ともに働くべきである。(60 代男性)
- ・ 病児保育施設があればいい。(40 代男性)

■教育・学習・啓発（2 件）

- ・ 講演会等を開催し、男女共同参画社会への理解を深める。(70 代男性)
- ・ 20 代で県外の自治体の男女共同参画推進委員を務め、たくさん勉強させていただいた。町民に向けての広報誌の発行や会議への参加、セミナーや講演会の開催等を行った。世代を超えて会を立ち上げ（役場の担当の方も一生懸命頑張っていました）一緒に学びながら活動できたことは、一生の宝です。また、社会人として、家庭人として、次の世代にどのような社会を残していきたいか私自身の考えに大きな影響を与えてくれた。色々な世代の人が主体となって自分事として考えること、学ぶことがとても大切だと思う。(40 代女性)

■地域活動（1 件）

- ・ マスゲームを廃止して八月踊りにしては？(20 代男性)

■調査について（2 件）

- ・ こういうアンケートはいつもあるが、役場の職員の意見が何も見えてこない。(70 代男性)
- ・ 年配者が多く、理解が難しいのでしょうか。なぜこれを企画観光課がアンケートするかも不可解。(60 代男性)

**奄美大島4町村（大和村/宇検村/瀬戸内町/龍郷町）合同実施
男女共同参画に関する住民意識調査 調査票**

問1 あなたは、次の(1)から(8)の分野及び村全体で見た場合に、男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものに○をつけてください。（それぞれ○は1つ）

(1) 家庭生活

選択肢番号	選択肢の内容
1	男性の方が非常に優遇されている
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている
3	平等である
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている
5	女性の方が非常に優遇されている

(2) 職場

選択肢番号	選択肢の内容
1	男性の方が非常に優遇されている
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている
3	平等である
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている
5	女性の方が非常に優遇されている

(3) 学校教育の場

選択肢番号	選択肢の内容
1	男性の方が非常に優遇されている
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている
3	平等である
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている
5	女性の方が非常に優遇されている

(4) 政治の場

選択肢番号	選択肢の内容
1	男性の方が非常に優遇されている
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている
3	平等である
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている
5	女性の方が非常に優遇されている

(5) 法律や制度の上

選択肢番号	選択肢の内容
1	男性の方が非常に優遇されている
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている
3	平等である
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている
5	女性の方が非常に優遇されている

(6) 社会通念・慣習・しきたりなど

選択肢番号	選択肢の内容
1	男性の方が非常に優遇されている
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている
3	平等である
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている
5	女性の方が非常に優遇されている

(7) 自治会やPTAなどの地域活動の場

選択肢番号	選択肢の内容
1	男性の方が非常に優遇されている
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている
3	平等である
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている
5	女性の方が非常に優遇されている

(8) 村全体で見た場合

選択肢番号	選択肢の内容
1	男性の方が非常に優遇されている
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている
3	平等である
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている
5	女性の方が非常に優遇されている

問2 あなたが男女の地位が不平等と感じていることがありましたら、教えてください。

問3 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)

選択肢番号	選択肢の内容
1	女性は職業をもたないほうがよい
2	結婚するまでは職業をもつ方がよい
3	子どもができるまでは、職業をもつ方がよい
4	子どもができて、ずっと職業をもち続ける方がよい
5	子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら職業をもつ方がよい

問4 「男性(夫)は外で働き、女性(妻)は家庭を守るべきである」といった性別を理由に役割を固定的にわける考え方について、あなたの気持ちに最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)

選択肢番号	選択肢の内容	次に回答する問
1	賛成	→問5へ
2	どちらかといえば賛成	→問5へ
3	どちらかといえば反対	→問6へ
4	反対	→問6へ

問5 問4で「1. 賛成」又は「2. どちらかといえば賛成」と答えた方にお聞きます。賛成と思うのはなぜですか。(○はいくつでも)

選択肢番号	選択肢の内容
1	日本の伝統的な考え方や男女・夫婦の在り方だと思うから
2	自分の父親は外で働き、母親は家を守っているから・いたから
3	男性が外で働いた方が、多くの収入が得られると思うから
4	女性が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから
5	育児・介護・家事と両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから
6	性別によって特性や能力、向き・不向きが違うと思うから
7	その他(具体的に)

問6 問4で「3. どちらかといえば反対」又は「4. 反対」と答えた方にお聞きます。反対と思うのはなぜですか(○はいくつでも)

選択肢番号	選択肢の内容から
1	男女平等に反すると思うから
2	自分の両親は共働きだから・だったから
3	共働きする方が、多くの収入が得られると思うから
4	女性が働いて能力を発揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから
5	育児・介護・家事を男女で分担したり、職場環境や社会制度の整備などにより、女性が働き続けることは可能だと思うから
6	個性や能力、向き・不向きは性別では決まらないと思うから
7	その他(具体的に)

問7 あなたは、今後、男性が育児や介護、家事、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

選択肢番号	選択肢の内容
1	男性が育児・家事に参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
2	男性が育児・家事に参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
3	夫婦や家族間のコミュニケーション(お互いの気持ちなどを言葉で伝え合い、お互いにわかり合おう

	とすること)をよくはかること
4	年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること
5	社会の中で、男性による育児・家事などについても、その評価を高めること
6	男性による育児・家事などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること
7	労働時間の短縮や休暇制度、テレワーク（情報通信技術を活用し時間や場所の制約を受けずに、柔軟に働く形態）などの多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
8	男性の育児・家事などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと
9	男性が育児・家事などを行うための、仲間づくりやネットワークづくりをすすめること
10	その他（具体的に

問8 次の(1)から(3)の子育ての考え方について、あなたの気持ちに最も近いものに○をつけてください。（それぞれ○は1つ）

(1)「男女ともに同等に経済的自立ができるよう職業人としての教育が必要」という考え方

選択肢番号	選択肢の内容
1	賛成
2	どちらかといえば賛成
3	どちらかといえば反対
4	反対

(2)「男女ともに炊事・掃除・洗濯など生活に必要な技術を身につけるほうがよい」という考え方

選択肢番号	選択肢の内容
1	賛成
2	どちらかといえば賛成
3	どちらかといえば反対
4	反対

(3)「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたほうがよい」という考え方

選択肢番号	選択肢の内容
1	賛成
2	どちらかといえば賛成
3	どちらかといえば反対
4	反対

問9 現在、結婚している方（事実婚を含む。）にお聞きます。あなたの家庭では、次の(1)から(4)について、どのように分担していますか。（育児と介護・看護については、現在行っていないなくても過去の経験があれば、それをもとに選んでください。）（○は1つ）

(1) 家事

選択肢番号	選択肢の内容
1	自分と配偶者(パートナー)で半分ずつ分担
2	自分の方が配偶者(パートナー)より多く分担
3	配偶者(パートナー)の方が自分より多く分担
4	1 から 3 以外の方法で分担（具体的に

(2) 育児

選択肢番号	選択肢の内容
1	自分と配偶者(パートナー)で半分ずつ分担
2	自分の方が配偶者(パートナー)より多く分担
3	配偶者(パートナー)の方が自分より多く分担
4	1 から 3 以外の方法で分担（具体的に
5	該当しない（子どもがいないなど）

(3) 介護・看護

選択肢番号	選択肢の内容
1	自分と配偶者(パートナー)で半分ずつ分担
2	自分の方が配偶者(パートナー)より多く分担
3	配偶者(パートナー)の方が自分より多く分担
4	1 から 3 以外の方法で分担（具体的に
5	該当しない（介護・看護が必要な家族が配偶者以外にいないなど）

(4) 自治会やPTA など地域活動への参加

選択肢番号	選択肢の内容
1	自分と配偶者(パートナー)で半分ずつ分担
2	自分の方が配偶者(パートナー)より多く分担
3	配偶者(パートナー)の方が自分より多く分担
4	1 から3 以外の方法で分担 (具体的に)
5	該当しない (具体的に)

問 10 雇用されて仕事をされている方にお聞きます。あなたの職場では、次のようなことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

選択肢番号	選択肢の内容
1	募集・採用の機会に男女で格差がある
2	賃金に男女で格差がある
3	女性を補助的な業務や雑用に従事させる傾向にある
4	昇進・昇格に男女で格差がある
5	管理職の登用に男女で差がある
6	女性は結婚や出産により退職する慣例や雰囲気がある
7	中高年女性には退職を促すような雰囲気がある
8	研修や教育訓練、出張・視察などの機会に男女で差がある
9	男性は育児休業や介護休業を取りにくい雰囲気がある
10	男女ともに育児休業や介護休業を取りにくい雰囲気がある
11	同じ職場に夫婦が働いている場合、どちらかは働き続けにくい雰囲気がある
12	正規雇用と非正規雇用で処遇の格差が大きい
13	その他 (具体的に)
14	性別による格差はない

問 11 女性が職業生活で能力を発揮するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

選択肢番号	選択肢の内容
1	長時間労働の是正やテレワークの推進など、男女がともに育児や介護、家事などを担うことができる職場環境の整備
2	休業制度や短時間勤務制度など、仕事と育児や介護の両立を支援するための施策の整備
3	保育所や放課後学童クラブ施設、介護施設など、育児や介護をサポートする施設やサービスの整備
4	経営者や管理職の意識改革
5	男性の家事や育児、介護などへの参画を促進するための意識啓発
6	女性のキャリアアップを図るための研修やネットワークづくり
7	女性の就職・再就職の支援
8	その他 (具体的に)

問 12 あなたはこれまでに、交際相手や元交際相手、配偶者や元配偶者(「配偶者」には、事実婚や別居中の配偶者を含む。)から次のようなことをされたことがありますか。

(1) 10代または20代の時の交際相手や元交際相手について、あてはまるものに○をつけてください。

選択肢番号	選択肢の内容	次に回答する問
1	なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなど、身体に対する暴力があった	→問 13 へ
2	人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの嫌がらせ、あるいは、あなたやあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫をするなど、精神的な暴力があった	→問 13 へ
3	嫌がっているのに性的な行為を強要するなど、性的な暴力があった	→問 13 へ
4	1～3のいずれもなかった	→問 14 へ
5	10～20代の時に交際相手や元交際相手はいなかった	→問 14 へ

(2) 配偶者が現在いる方、又は過去にいた方に、お聞きます。配偶者や元配偶者について、あてはまるものに○をつけてください。

ア なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりなどの身体に対する暴力

選択肢番号	選択肢の内容	次に回答する問
1	1、2度あった	→問 13 へ
2	何度もあった	→問 13 へ
3	まったくなかった	→問 14 へ

イ 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの嫌がらせ、あるいは、あなたやあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫などの精神的な暴力

選択肢番号	選択肢の内容	次に回答する問
1	1、2度あった	→問 13 へ
2	何度もあった	→問 13 へ
3	まったくなかった	→問 14 へ

ウ 嫌がっているのに性的な行為を強要するなどの性的な暴力

選択肢番号	選択肢の内容	次に回答する問
1	1、2度あった	→問 13 へ
2	何度もあった	→問 13 へ
3	まったくなかった	→問 14 へ

問 13 問 12 の(1)で1～3のいずれかを答えた方、あるいは(2)のア～ウのいずれかで1又は2と答えた方にお聞きます。あなたは、そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

選択肢番号	選択肢の内容
1	家族や親戚に相談した
2	友人、知人に相談した
3	学校関係者（教員、養護教員、スクールカウンセラーなど）に相談した
4	医療関係者（医師、看護師、助産師など）に相談した
5	民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー、カウンセリング機関、民間シェルターなど）に相談した
6	犯罪被害者支援センターや配偶者暴力相談支援センター（県女性相談センター、県男女共同参画センター、大島支庁福祉課など）に相談した
7	警察に連絡・相談した
8	法務局や人権擁護委員に相談した
9	村の相談窓口（住民相談など）に相談した
10	他の市町村の相談窓口（婦人相談員など）に相談した
11	上記6～10 以外の公的な機関に相談した
12	その他（具体的に ）
13	どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）

問 14 すべての方にお聞きます。あなたは、性別に起因する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などで配慮してほしいと思うことは何ですか。(○はいくつでも)

選択肢番号	選択肢の内容
1	DV（配偶者等からの暴力）やストーカー行為、セクシュアルハラスメント、性暴力など性別に起因する暴力に関する専門の相談員がいる
2	メールによる相談ができる
3	チャット（インターネットを介したリアルタイムの会話）、SNS（インターネット上で利用者同士がつながれるような場所を提供するサービスで、フェイスブックやツイッター、ラインなど）による相談ができる
4	電話による相談ができる
5	通話料が無料
6	24 時間相談ができる
7	医療費、カウンセリング費用、弁護士費用などが、無料で支援が受けられる
8	相談内容に応じて、関連する他の相談窓口との連携が行われる
9	同性の相談員がいる
10	匿名で相談ができる
11	弁護士など、法的知識のある相談員がいる
12	臨床心理士や公認心理士など、心理専門職の相談員がいる
13	その他（具体的に ）

問 15 男性の方にお聞きます。職場や学校、家庭などの場で、「男だから」という固定観念やプレッシャーにより生きづらさや不便さを感じることはありますか。(○は1つ)

選択肢番号	選択肢の内容	次に回答する問
1	頻繁に感じる	→問 16 へ
2	たまに感じる	→問 16 へ
3	あまり感じない	→問 17 へ
4	まったく感じない	→問 17 へ

問16 問15で「1. 頻繁に感じる」又は「2. たまに感じる」と答えた方にお聞きます。

(1) どのようなことに対して「生きづらさ」や「不便さ」を感じますか。あてはまるものに最大3つまで○をつけてください。

選択肢番号	選択肢の内容
1	デートで、男性がお金を多く負担したり女性をリードすべきという風潮
2	男性は定年までフルタイムの正社員で働くべきという考え
3	力仕事や危険な仕事は男の仕事という考え
4	高収入でなければならないというプレッシャー
5	「一家の大黒柱」でいなければならないというプレッシャー
6	男性は弱音を吐いたり、悩みを打ち明けることは恥ずかしいという考え
7	職場で出世したり、活躍しなければならないというプレッシャー
8	職場や地域活動等でリーダーは男性という考え
9	働きながらも、家事や育児、介護など家庭のことをすることが求められること
10	仕事中心の生活で、家事や育児、介護など家庭のことに十分関われないこと
11	家庭のことに関わりにくくする周囲の意識（家庭のことは女性の仕事という意識など）や環境（男性用トイレにおむつ交換台がないなど）
12	その他（具体的に ）

(2) 「生きづらさ」や「不便さ」の具体的なエピソードがありましたら、教えてください。

問17 あなたの最近の生活で、次の(1)～(7)について感じることはありませんか。あてはまるものに○をつけてください。（それぞれ○は1つ）

(1) 生活に困窮している

選択肢番号	選択肢の内容
1	とても感じる
2	ある程度感じる
3	あまり感じない
4	まったく感じない

(2) 十分に働けていない、働く場や機会がない

選択肢番号	選択肢の内容
1	とても感じる
2	ある程度感じる
3	あまり感じない
4	まったく感じない

(3) 健康に不安を感じる

選択肢番号	選択肢の内容
1	とても感じる
2	ある程度感じる
3	あまり感じない
4	まったく感じない

(4) 近くに頼れる人がいないなど、自分は孤独であると感じる

選択肢番号	選択肢の内容
1	とても感じる
2	ある程度感じる
3	あまり感じない
4	まったく感じない

(5) 困っていても、支援が受けられないと感じる

選択肢番号	選択肢の内容
1	非常にそうである
2	どちらかというとそうである
3	どちらかというとそうではない
4	そうではない

(6) 家族との関係が難しいと感じる

選択肢番号	選択肢の内容
1	とても感じる
2	ある程度感じる
3	あまり感じない
4	まったく感じない

(7) 災害や事件・事故の不安がある

選択肢番号	選択肢の内容
1	とても感じる
2	ある程度感じる
3	あまり感じない
4	まったく感じない

問 18 あなたは「男女共同参画社会」(※)を実現するために、今後、役場はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

(※)「男女共同参画社会」とは、誰もが互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会

選択肢番号	選択肢の内容
1	地域が男女平等になるよう制度や事業の見直しを行う
2	役場の管理職や審議会委員など、政策決定の場に女性を積極的に登用する
3	民間企業や団体などの管理職に女性の登用が進むように支援する
4	女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する
5	女性が少ない分野への女性の参加、男性が少ない分野への男性の参加を支援する
6	保育の施設やサービス、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する
7	子どもたちへの男女平等や人権についての学習機会を充実する
8	労働時間の短縮や在宅勤務制度の導入など働き方の見直しを事業所に働きかける
9	仕事と育児・介護などとの両立支援制度の充実を事業所に働きかける
10	育児や介護などで一旦仕事を辞めた人の再就職や就労に困難を抱えている人の就職を支援する
11	住民への男女平等や人権についての生涯学習や啓発活動を進める
12	女性に対する暴力を根絶するための取組を進める
13	男女共同参画に関する行政・教育関係者の研修を充実する
14	その他(具体的に)

問 19 男女共同参画社会の実現に向けて、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

--

町民の皆様からご回答いただいたものを統計的に集計・分析するために、あなたご自身のことをおうかがいします。

F 1 あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)

選択肢番号	選択肢の内容
1	女性
2	男性
3	()

F 2 あなたの年齢は、2023(令和5)年7月1日現在で満何歳ですか。(〇は1つ)

選択肢番号	選択肢の内容
1	18～19歳
2	20～29歳
3	30～39歳
4	40～49歳
5	50～59歳
6	60～69歳
7	70～79歳
8	80歳以上

F3 あなたのお仕事は、次のどれに当たりますか（○は1つ）

選択肢番号	選択肢の内容
1	役員、正規の社員・職員・従業員
2	期間従業員や契約社員、派遣社員を含む非正規の職員・社員・従業員
3	自分で、または共同で事業を営んでいる自営業主、自由業
4	家族従業者・家族が営んでいる事業を手伝っている者
5	主婦・主夫
6	学生
7	無職
8	その他（具体的に

F4 あなたは結婚していますか（○は1つ）

選択肢番号	選択肢の内容	次に回答する問
1	結婚している	→F5へ
2	婚姻届出をしていないが、事実上の婚姻関係にある	→F5へ
3	離別・死別	→F6へ
4	未婚	→F6へ

F5 F4で1又は2と答えた方に、お二人の仕事の有無についてお聞きます。なお、仕事とは、F3の1～4などのことをいいます。（○は1つ）

選択肢番号	選択肢の内容
1	二人とも仕事がある
2	自分のみ仕事がある
3	配偶者(パートナー)のみ仕事がある
4	どちらも仕事がない
5	その他（具体的に

F6 あなたの世帯の状況は、次のどれにあてはまりますか。（○は1つ）

選択肢番号	選択肢の内容
1	単身世帯
2	夫婦世帯
3	二世帯世帯（親と子など）
4	三世帯世帯（親と子と孫など）
5	その他（具体的に

F7 お子さんがいらっしゃる方に、お子さんについてお聞きます。あてはまるものすべてに○をつけてください。

選択肢番号	選択肢の内容
1	乳幼児
2	小学生（2011(平成23)年4月2日～2017(平成29)年4月1日生まれ）
3	中学生（2008(平成20)年4月2日～2011(平成23)年4月1日生まれ）
4	高校・高専生、専門学校・短大・大学生
5	上記4以外の未婚の子ども（2008(平成20)年4月1日以前生まれ）
6	上記4以外の結婚している子ども（2008(平成20)年4月1日以前生まれ）

男女共同参画の関する住民意識調査報告書

2023 年 3 月

宇検村

〒894-3301 鹿児島県大島郡宇検村湯湾 915

TEL 0997-62-2211